

## 第2章

### 健康を取り巻く市の現状と課題

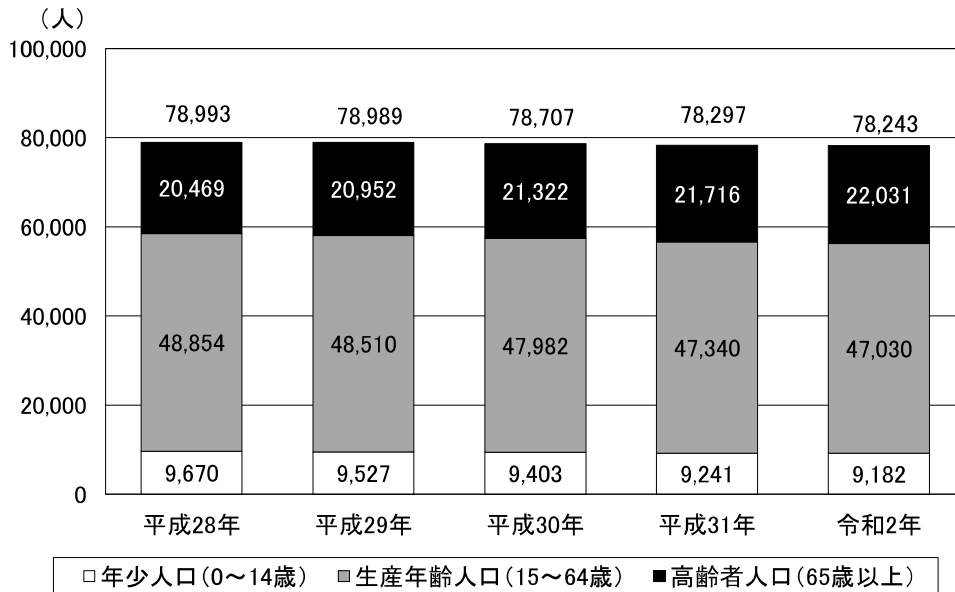


## 第2章 健康を取り巻く市の現状と課題

### 第1節 市の概況

#### (1) 人口の推移

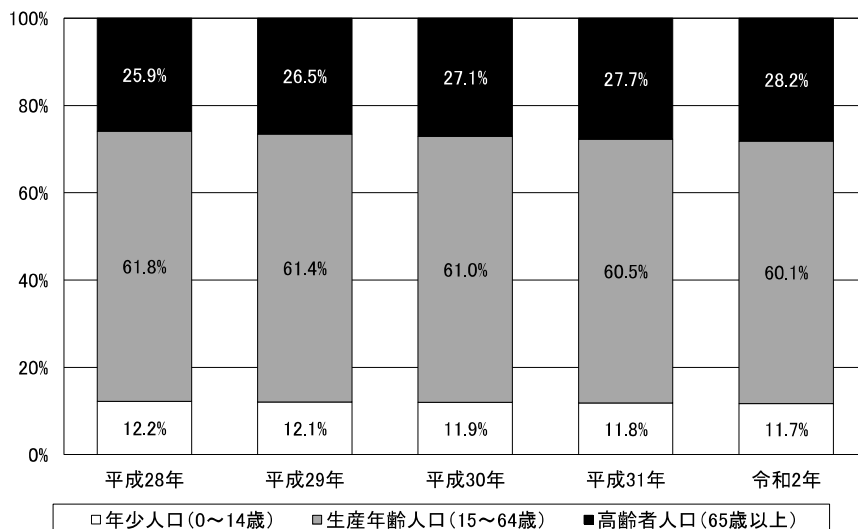
本市の人口は、近年減少傾向となっており、令和2年では78,243人と平成28年と比べ750人の減少となっています。



資料：住民基本台帳（各年1月1日現在）

#### (2) 人口構成の推移

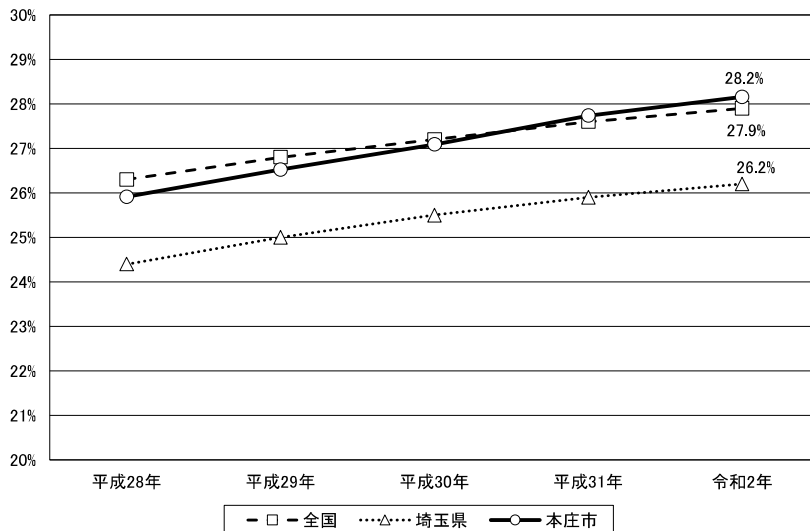
人口構成を見ると、年々少子高齢化の傾向が強くなり、平成28年と令和2年を比べると生産年齢人口（15～64歳）は1.7ポイント減少し、高齢者人口（65歳以上）は2.3ポイント増加となっています。



資料：住民基本台帳（各年1月1日現在）

### (3) 高齢化率の推移

高齢化率は、本庄市、埼玉県、全国ともに上昇傾向となっています。令和2年では、本市の高齢化率は28.2%となっており、埼玉県、国に比べ高くなっています。

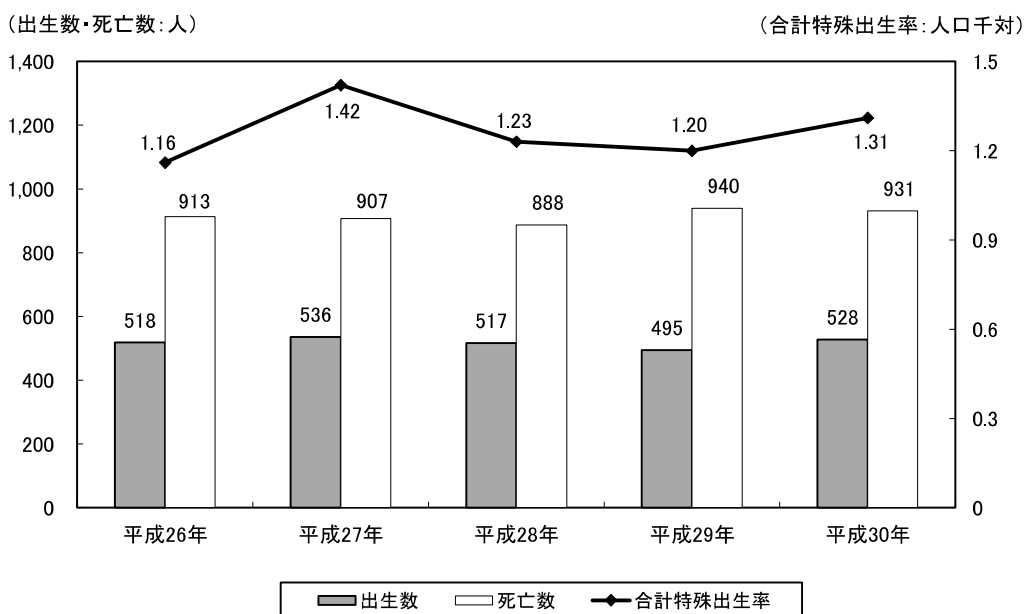


資料：住民基本台帳（各年1月1日現在）

### (4) 自然増減の推移と合計特殊出生率

出生数は、近年増減を繰り返し、平成30年では528人となっています。死亡数は、平成26年から概ね900人前後で推移しています。

また、合計特殊出生率（1人の女性が一生の間で生む子どもの数）は、平成30年では1.31となっており、出生数と同様の傾向となっています。



資料：埼玉県保健統計年報

(5) 健康寿命

本市の平均寿命は、男性が80.05年、女性が85.86年と、女性の方が約6年長くなっています。埼玉県と比較すると、男性、女性ともに約1年短くなっています。

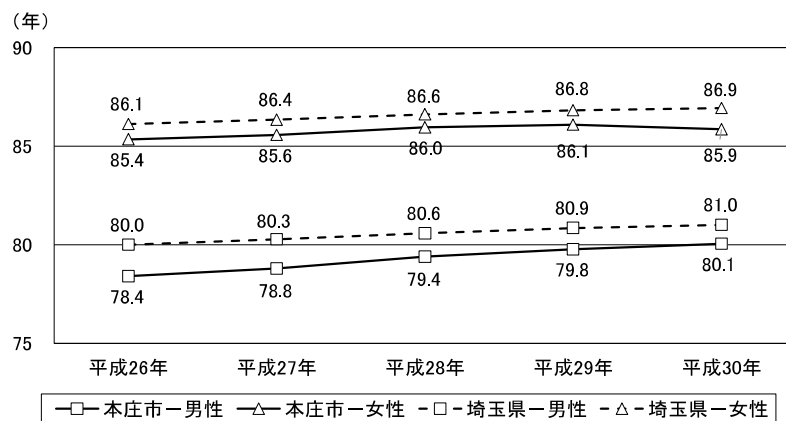
また、65歳健康寿命は、男性が17.16年、女性が20.29年となっており、女性の健康寿命は男性よりも約3年長くなっています。

なお、本市は高齢化率が高いこともあり、要介護認定率が16.0%と埼玉県より高く、性別で見ると女性は19.4%、男性は11.8%と女性の要介護認定率が高くなっています。

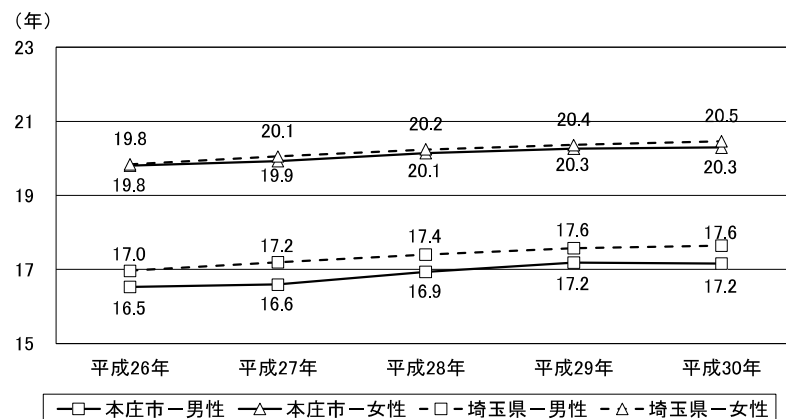
	総数		男性		女性	
	本庄市	埼玉県	本庄市	埼玉県	本庄市	埼玉県
平均寿命(0歳平均余命)	—	—	80.05	81.01	85.86	86.94
65歳平均余命	—	—	18.70	19.41	23.42	24.16
65歳健康寿命	—	—	17.16	17.64	20.29	20.46
65歳要介護期間	—	—	1.55	1.78	3.13	3.70
要介護認定率(65歳以上)	16.0%	14.9%	11.8%	11.2%	19.4%	18.0%

資料：埼玉県地域別健康情報（データは平成30年）

■本庄市の平均寿命の推移



■本庄市の65歳健康寿命の推移



(6) 死亡の状況

本市の死因は「悪性新生物（がん）」、「心疾患（高血圧性を除く）」、「肺炎」の順に多くなっており、生活習慣病関連の疾病が5割を占めています。

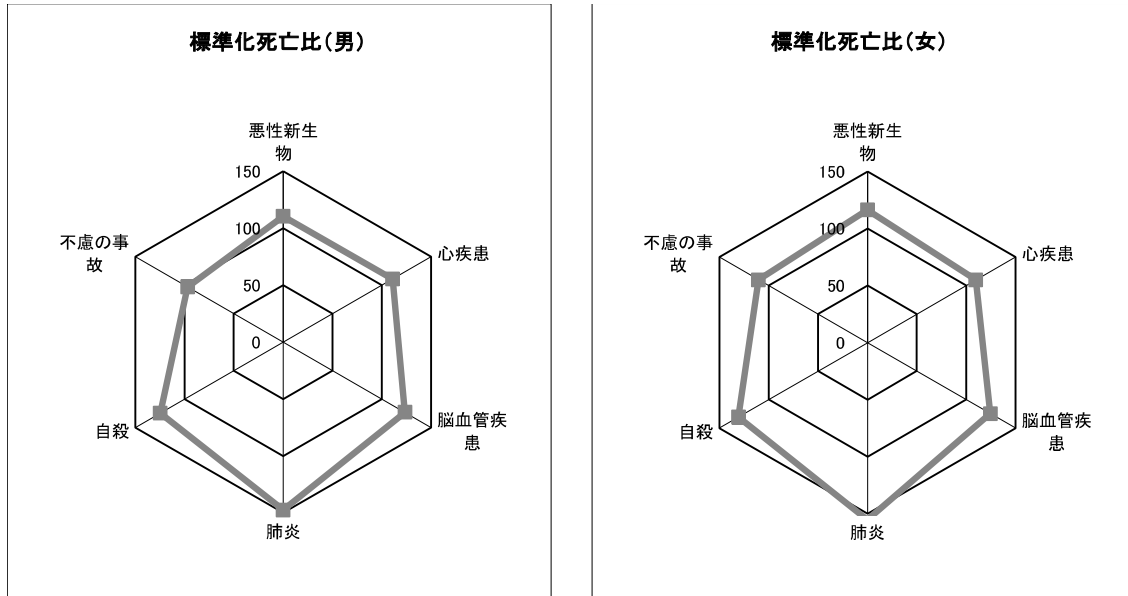
ライフステージ別に見ると、15～44歳では「自殺」が第1位となり、特に青年期（15～24歳）では、死因の半数以上を占めています。また、壮年期以上では「悪性新生物」の順位が高く、特に中年期（45～64歳）では、死因の4割以上を占めています。

	幼年期 (0～4歳)	少年期 (5～14歳)	青年期 (15～24歳)	壮年期 (25～44歳)	中年期 (45～64歳)	高齢期 (65歳以上)	総数
第1位	敗血症 20.0%	悪性新生物 25.0%	自殺 60.0%	自殺 25.6%	悪性新生物 42.3%	悪性新生物 26.7%	悪性新生物 28.0%
第2位	悪性新生物 20.0%	インフルエンザ 25.0%	不慮の事故 20.0%	悪性新生物 23.3%	心疾患（高血圧性を除く） 15.1%	心疾患（高血圧性を除く） 16.7%	心疾患（高血圧性を除く） 16.4%
第3位	不慮の事故 20.0%		悪性新生物 10.0%	心疾患（高血圧性を除く） 16.3%	自殺 9.5%	肺炎 15.4%	肺炎 14.0%
第4位			慢性閉塞性肺疾患 10.0%	脳血管疾患 9.3%	脳血管疾患 5.9%	脳血管疾患 9.3%	脳血管疾患 9.0%
第5位				不慮の事故 8.1%	肝疾患 5.1%	老衰 4.0%	老衰 3.6%
第6位				肝疾患 3.4%	肺炎 3.3%	不慮の事故 2.0%	不慮の事故 2.2%
第7位				肝疾患 3.5%	不慮の事故 2.8%	腎不全 1.9%	自殺 2.1%
第8位				肺炎 1.2%	その他の新生物 1.3%	敗血症 1.8%	腎不全 1.7%
	その他 40.0%	その他 50.0%		その他 11.6%	その他 14.6%	その他 22.3%	その他 23.0%

資料：埼玉県地域別健康情報（データは平成26～30年）

(7) 標準化死亡比

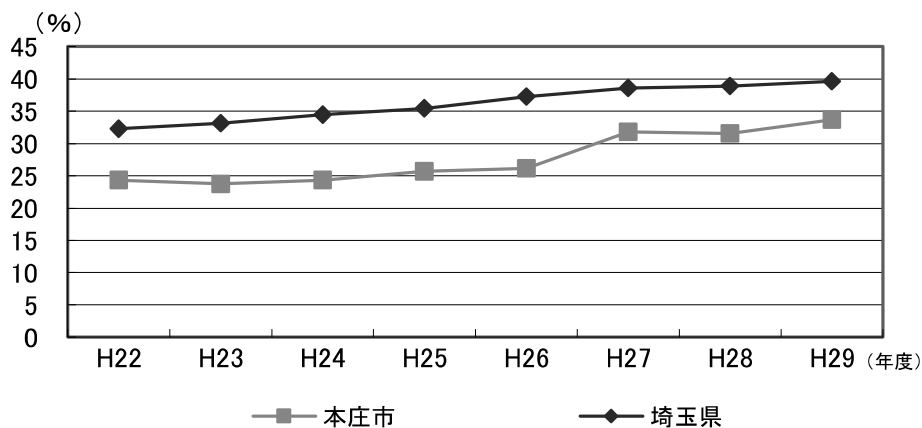
埼玉県を基準集団（県を 100 とした数値）とした男女別の標準化死亡比を見ると、男性の「不慮の事故」以外では全ての項目で埼玉県平均を上回っています。特に、「脳血管疾患」、「肺炎」、「自殺」では男女とも県平均を大きく上回っており、「肺炎」は県平均の約 1.5 倍となっています。



資料：埼玉県地域別健康情報（データは平成 29 年）

(8) 特定健康診査受診率

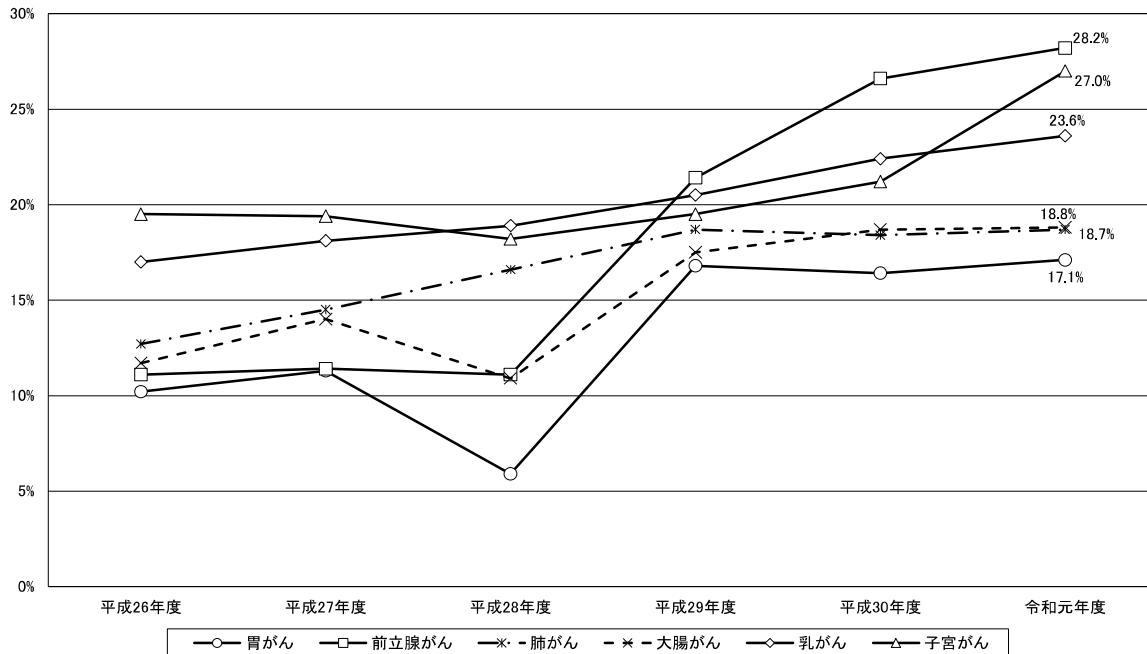
特定健康診査受診率は、年々増加傾向にあり、平成 29 年度では、33.9%となっていますが、埼玉県平均（39.6%）より低い状況にあります。



資料：埼玉県地域別健康情報

(9) がん検診受診率の推移

各種がん検診の受診率は、近年は概ね上昇傾向にあります。特に、前立腺がん検診は令和元年度で28.2%の受診率となっています。

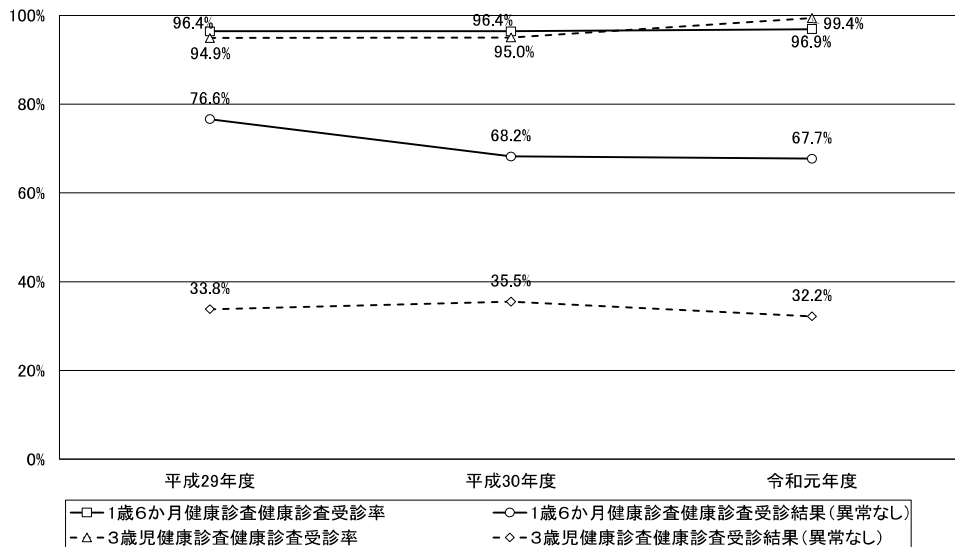


(10) 子どもの健康状況

【乳幼児健康診査の状況】

1歳6か月児健診の受診率は、近年は90%以上で推移しており、令和元年度96.9%で、過去3年間で最も高い受診率となっています。なお、診断結果が「異常なし」の割合は年々減少しています。

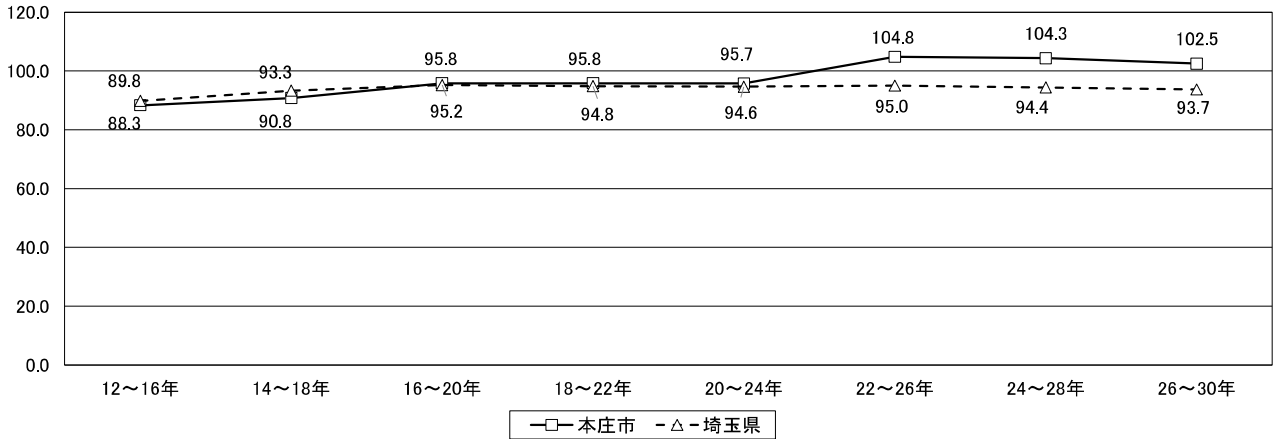
また、3歳児健診の受診率も高水準を保っており、令和元年度では99.4%となっています。なお、「異常なし」の割合は約3割強で推移しています。





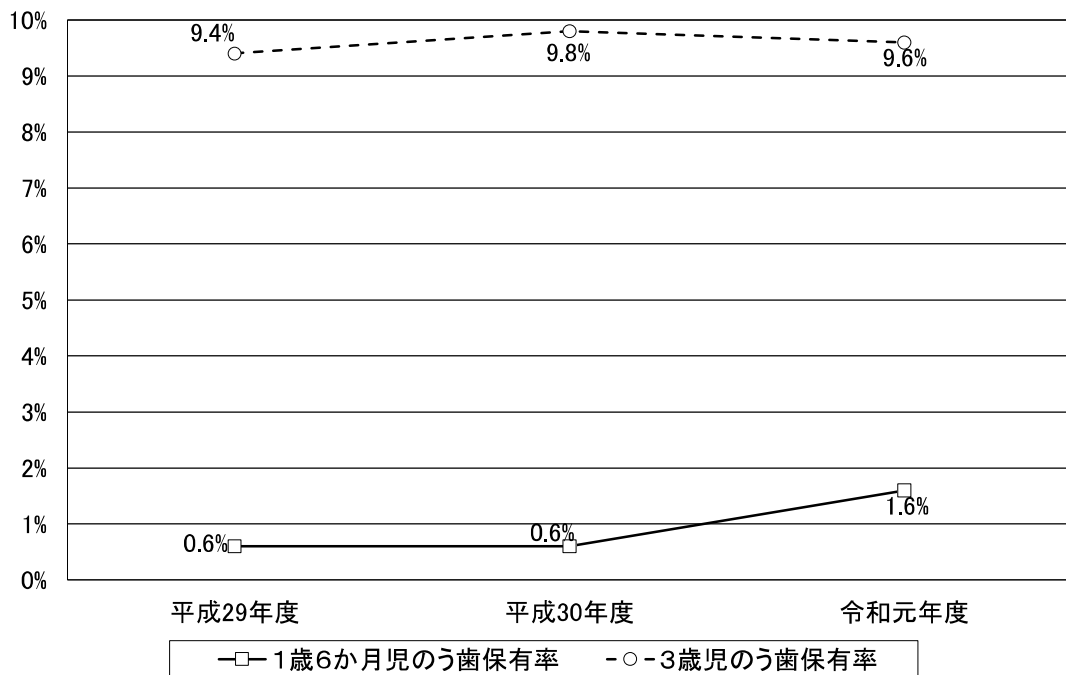
【低出生体重児出生率の推移】

低出生体重児出生率は年々上昇傾向にあり、平成26～30年では出生千対102.5となっており、埼玉県平均を上回っています。



【乳幼児のむし歯保有率】

1歳6か月児のむし歯保有率は令和元年度に0.6%から1.6%へと1ポイント増加しています。3歳児のむし歯保有率は概ね約10%以下で推移しています。



## 第2節 健康づくりに関するアンケート調査抜粋

この調査は、本計画策定のため、市民の健康状況を把握し、基礎資料とするために実施しました。

### (1) 調査期間

- ①令和元年12月5日（木）～令和元年12月20日（金）
- ②令和元年12月9日（月）～令和元年12月20日（金）
- ③令和2年1月～2月

### (2) 調査対象

- ①本庄市に在住している20歳以上の市民（無作為抽出）
- ②市立小学校5年生、市立中学校2年生
- ③期間内に実施した3歳児健康診査対象の保護者

### (3) 調査方法等

- 【調査対象①】郵送により送付し、返信用封筒にて回収
- 【調査対象②】教育委員会を通して配布し、回収
- 【調査対象③】郵送により送付し、3歳児健康診査会場にて回収

### (4) 配布数及び回収数

	配布数	回収数	回収率
20歳以上の市民	3,000	1,287	42.9%
小・中学生	517	481	93.0%
3歳児健康診査対象者	85	77	90.6%

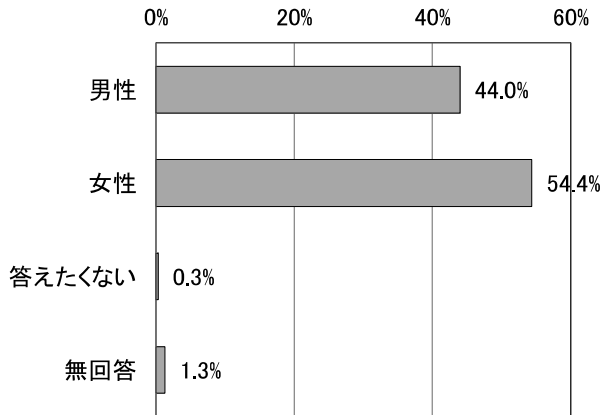
※令和2年度における3歳児健診は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となったため、配布数、回収数が少なくなっており、参考値となります。

(5) 市民調査結果抜粋

調査の回答者は、「女性」54.4%、「男性」44.0%となっています。

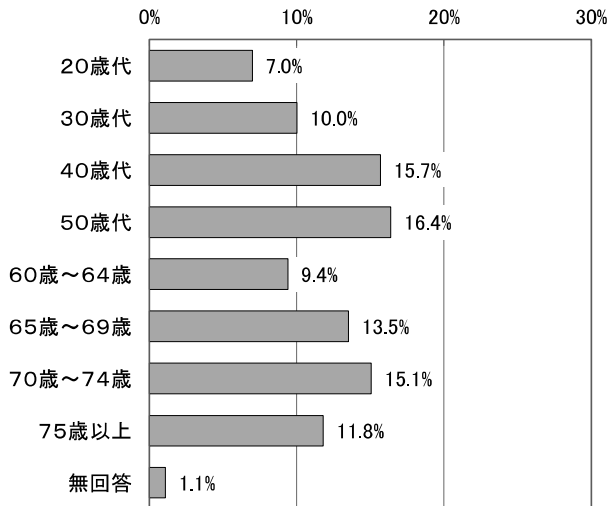
年齢については、「50歳代」が16.4%と最も高く、次いで「40歳代」が15.7%、「70～74歳」が15.1%となっています。

【男女別回答数】



項目	度数	構成比
男性	566	44.0%
女性	700	54.4%
答えたくない	4	0.3%
無回答	17	1.3%
合計	1,287	100.0%

【年代別回答数】

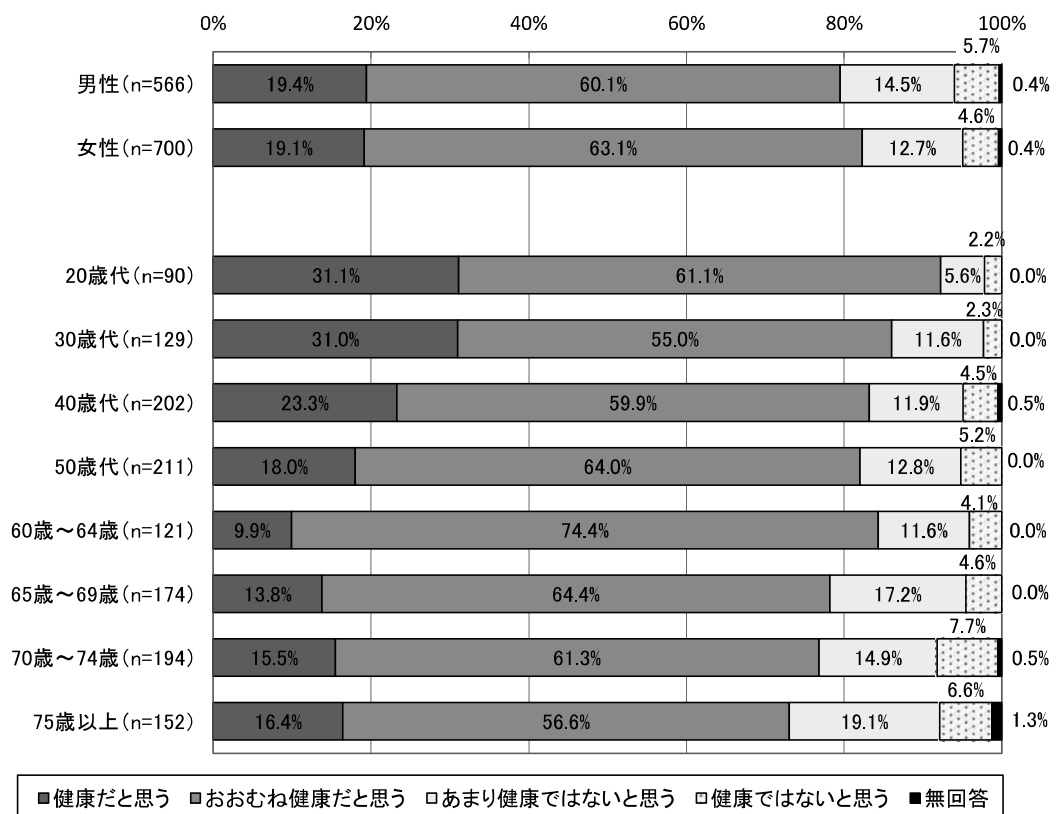
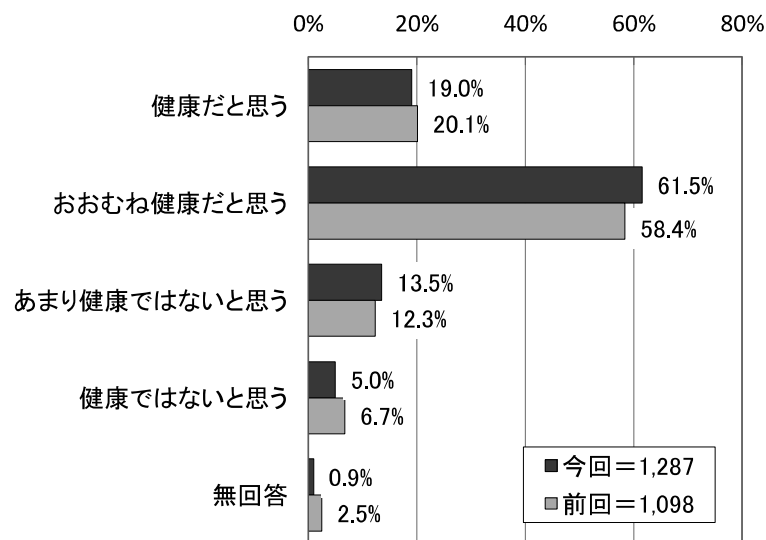


項目	度数	構成比
20歳代	90	7.0%
30歳代	129	10.0%
40歳代	202	15.7%
50歳代	211	16.4%
60歳～64歳	121	9.4%
65歳～69歳	174	13.5%
70歳～74歳	194	15.1%
75歳以上	152	11.8%
無回答	14	1.1%
合計	1,287	100.0%

1) あなたは、現在のご自分の健康状態についてどう思いますか。(アンケート調査 問6)

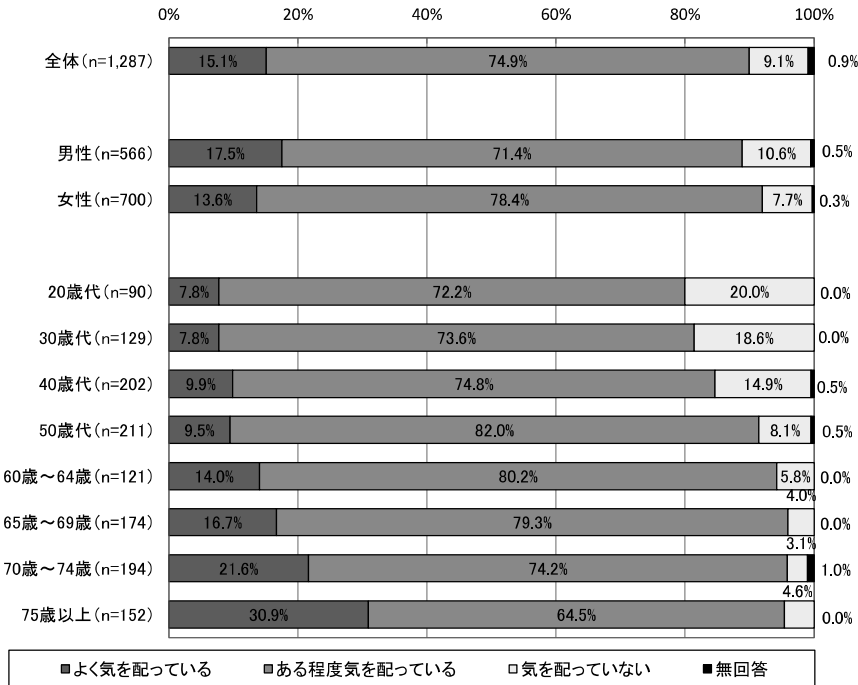
「おおむね健康だと思う」が61.5%と最も高く、「健康だと思う」と合わせて80.5%が「健康だと思う」と回答しています。前回調査結果(78.5%)に比べ、2ポイント増加しています。

「あまり健康ではないと思う」、「健康ではないと思う」を合わせて18.5%が「健康ではないと思う」と回答しています。



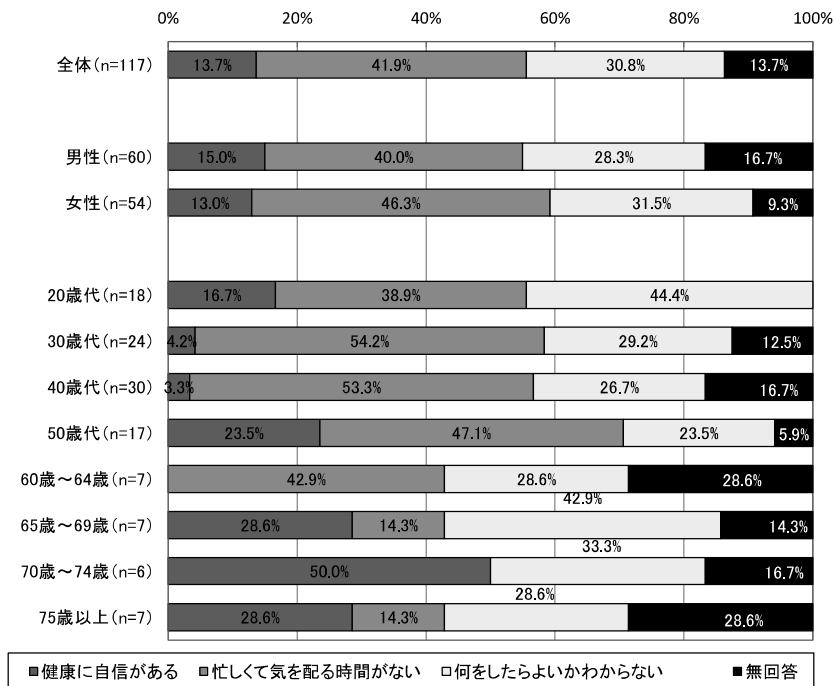
2) あなたは日頃より、ご自分の健康に気を配っていますか。(アンケート調査 問7)

健康への気配りについては、「ある程度気を配っている」が74.9%と最も高く、次いで「よく気を配っている」が15.1%、「気を配っていない」が9.1%となっています。年代が高くなるにつれ、気を配る人の割合が高くなっています。



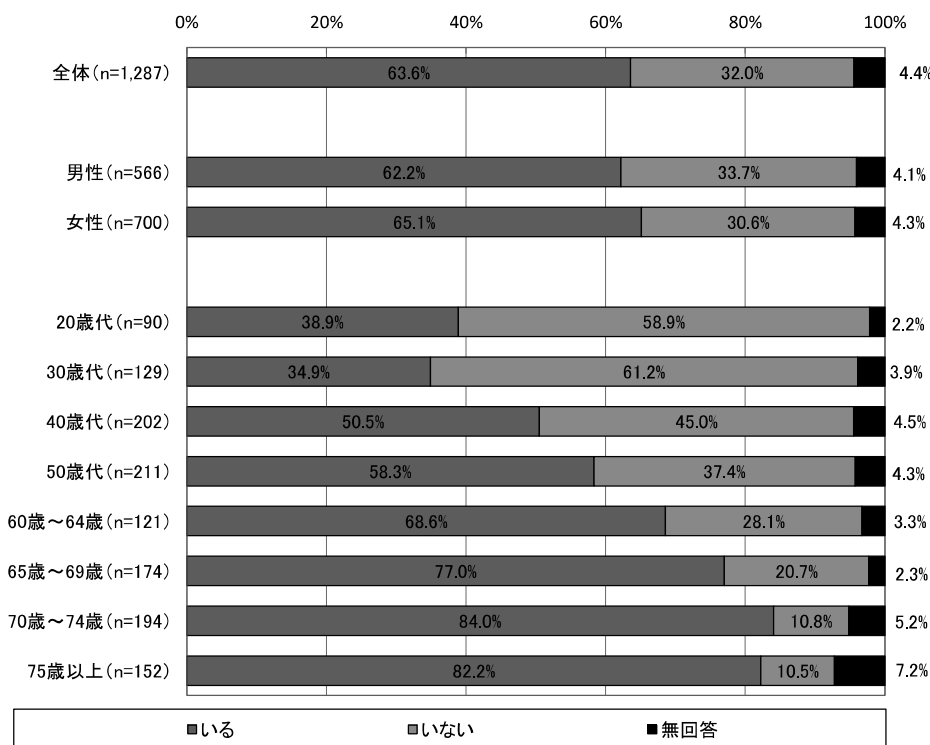
3) 健康に気を配っていない理由は何ですか。(アンケート調査 問7-2)

健康に気を配っていない理由については、「忙しくて気を配る時間がない」が41.9%と最も高く、次いで「何をしたらよいかわからない」が30.8%、「健康に自信がある」が13.7%となっています。



4) あなたは、かかりつけ医がいますか。(アンケート調査 問9)

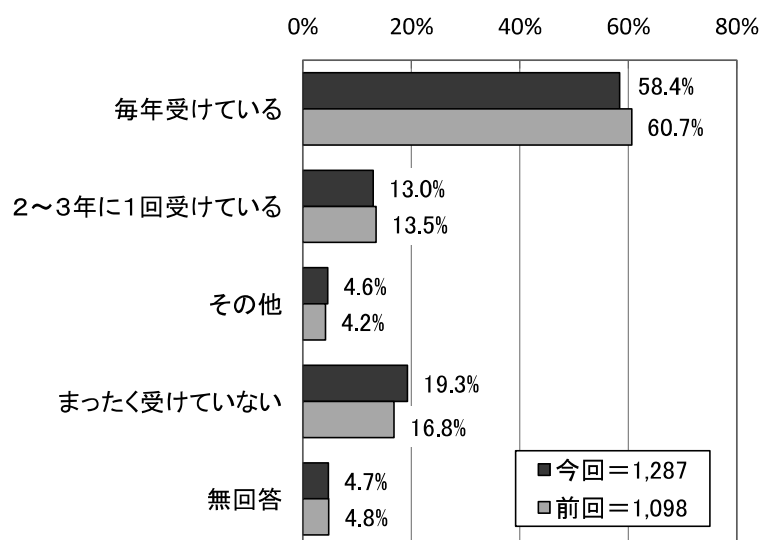
かかりつけ医の有無については、「いる」が63.6%、「いない」が32.0%となっています。



5) あなたは、定期的に健診（がん検診を除く）を受けていますか。(アンケート調査 問10)

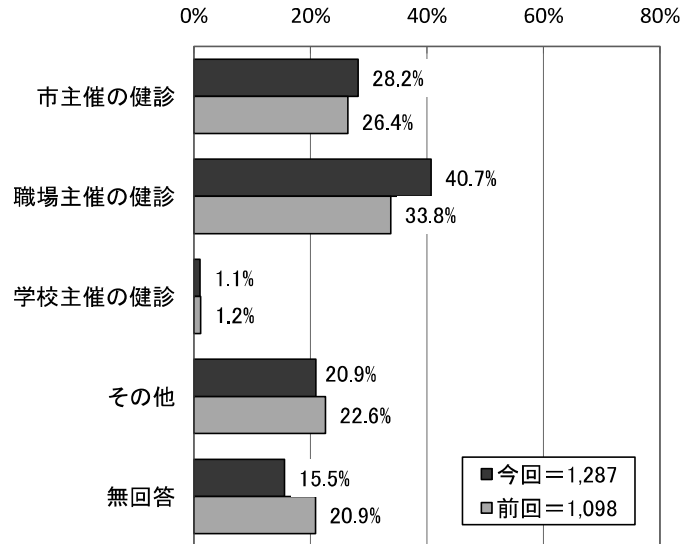
定期的な健診については、「毎年受けている」が58.4%と最も高く、次いで「2～3年に1回受けている」が13.0%となっています。

「まったく受けていない」との回答は19.3%で、前回調査結果より、2.5ポイント増加しています。



6) あなたは、どこで健診を受けていますか。(アンケート調査 問11)

健診を受けた場所については、「職場主催の健診」が40.7%と最も高く、次いで「市主催の健診」が28.2%となっています。

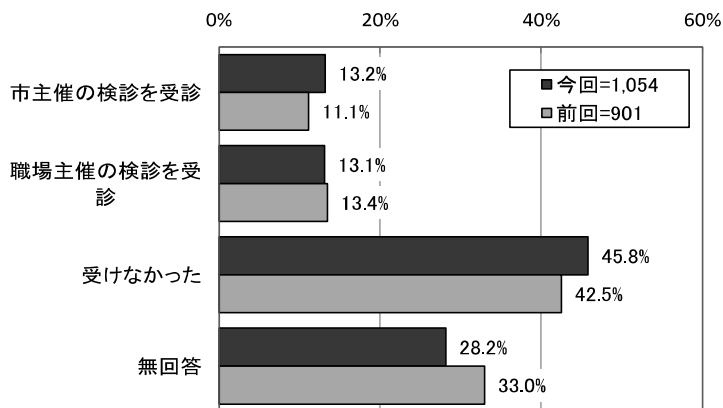


7) あなたは、以下のがん検診を過去1年以内で受けましたか。(アンケート調査 問12)

ア～カのがんについて、前回調査結果と比較すると、「受けなかった」人の割合と、「市主催の検診を受診」した人の割合が増加しています。

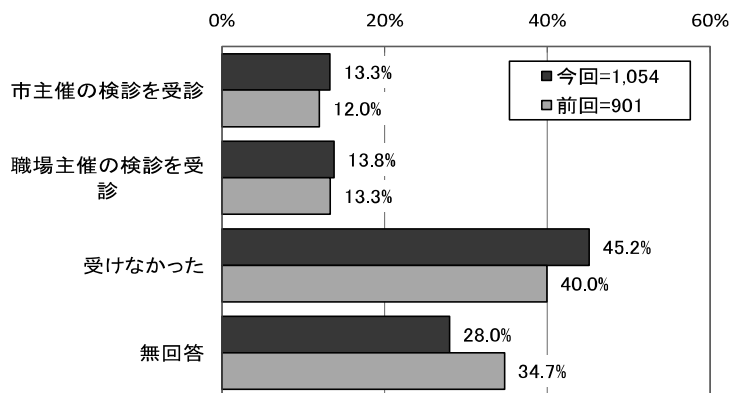
【ア. 胃がん】

胃がん検診については、「受けなかった」が45.8%と最も高く、次いで「市主催の検診を受診」が13.2%、「職場主催の検診を受診」が13.1%となっています。



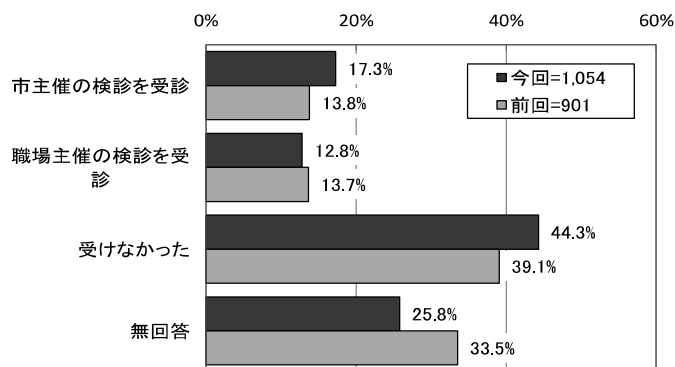
【イ. 肺がん】

肺がん検診については、「受けなかった」が45.2%と最も高く、次いで「職場主催の検診を受診」が13.8%、「市主催の検診を受診」が13.3%となっています。



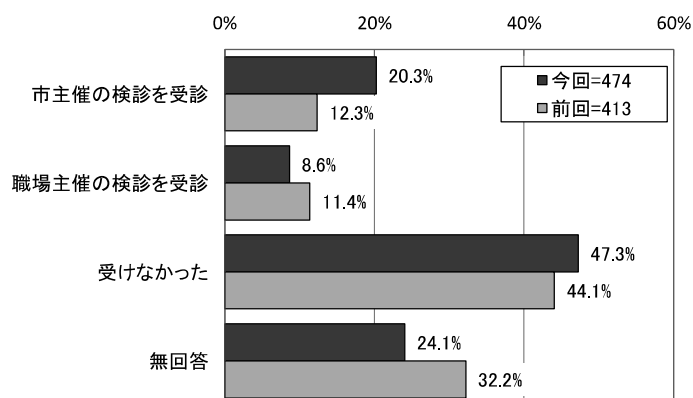
【ウ. 大腸がん】

大腸がん検診については、「受けなかった」が44.3%と最も高く、次いで「市主催の検診を受診」が17.3%、「職場主催の検診を受診」が12.8%となっています。



【エ. 前立腺がん】

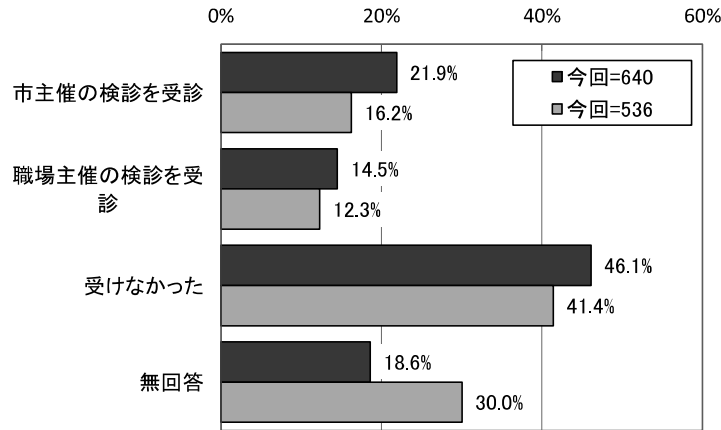
前立腺がんについては、「受けなかった」が47.3%と最も高く、次いで「市主催の検診を受診」が20.3%、「職場主催の検診を受診」が8.6%となっています。





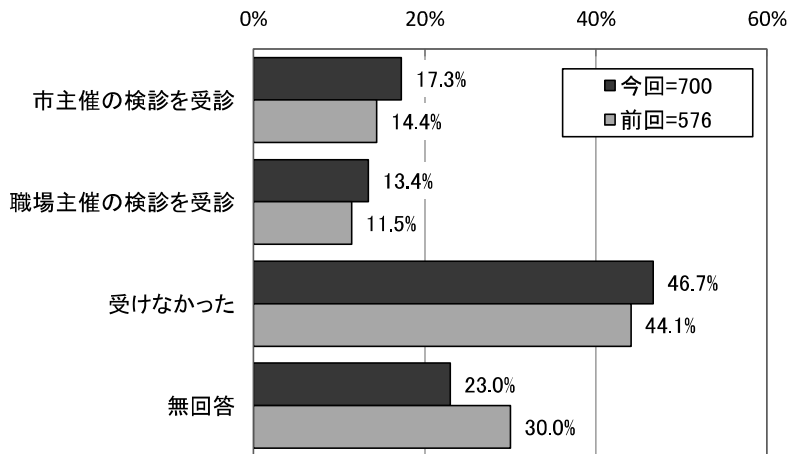
【オ. 乳がん（過去2年以内に）】

乳がん検診については、「受けなかった」が46.1%と最も高く、次いで「市主催の検診を受診」が21.9%、「職場主催の検診を受診」が14.5%となっています。



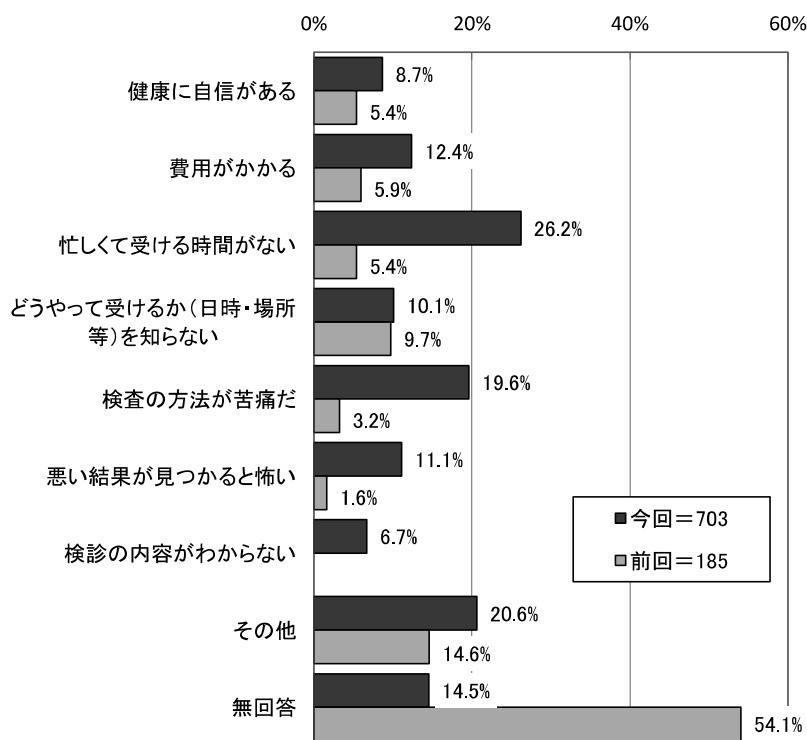
【カ. 子宮がん（過去2年以内に）】

子宮がん検診については、「受けなかった」が46.7%と最も高く、次いで「市主催の検診を受診」が17.3%、「職場主催の検診を受診」が13.4%となっています。

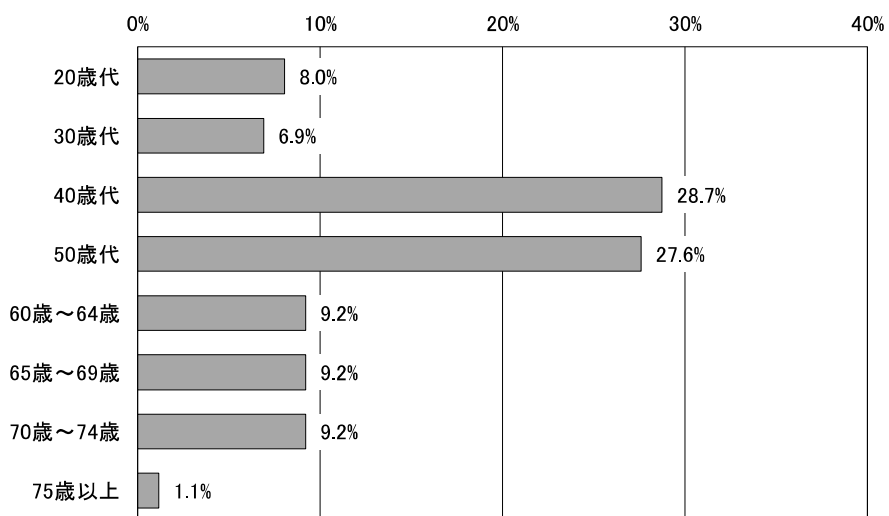


**8) がん検診を受診しなかった理由はなんですか。(アンケート調査 問14)**

がん検診を受診しなかった理由については、「忙しくて受ける時間がない」が26.2%と最も高く、次いで「検査の方法が苦痛だ」が19.6%、「費用がかかる」が12.4%となっています。40・50代で「費用がかかる」と回答した人の割合が、高くなっています。



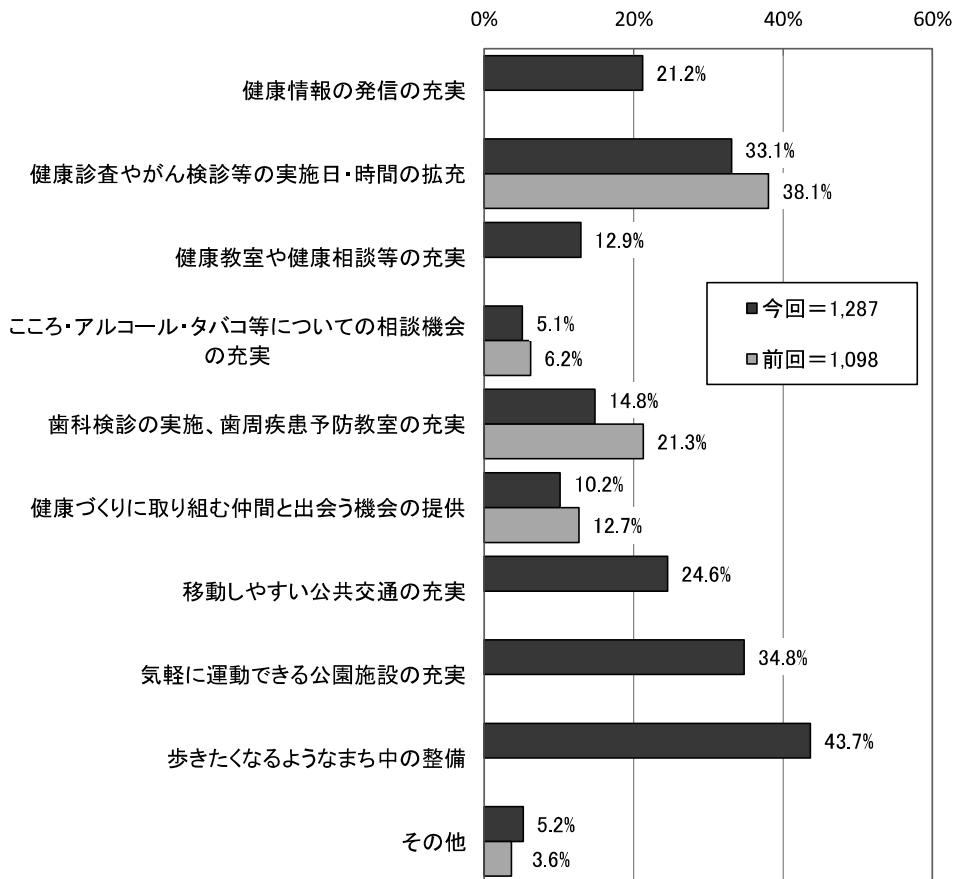
■ 「がん検診を受診しなかった理由で「費用がかかる」と回答した人」と「年代」のクロス表



N=87

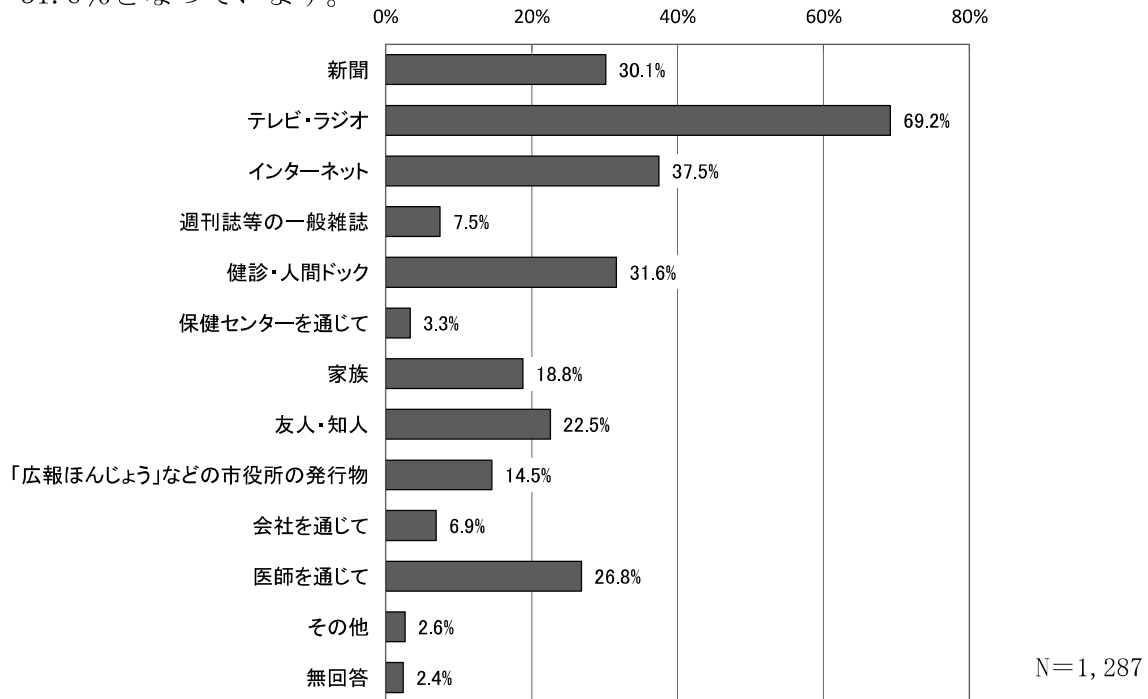
9) あなたは、健康づくりを推進するため、本庄市でどのようなことに取り組んでほしいですか。(アンケート調査 問15)

健康づくりの推進のために、取り組んでほしいことについては、「歩きたくなるようなまち中の整備」が43.7%と最も高く、次いで「気軽に運動できる公園施設の充実」が34.8%、「健康診査やがん検診等の実施日・時間の拡充」が33.1%となっています。



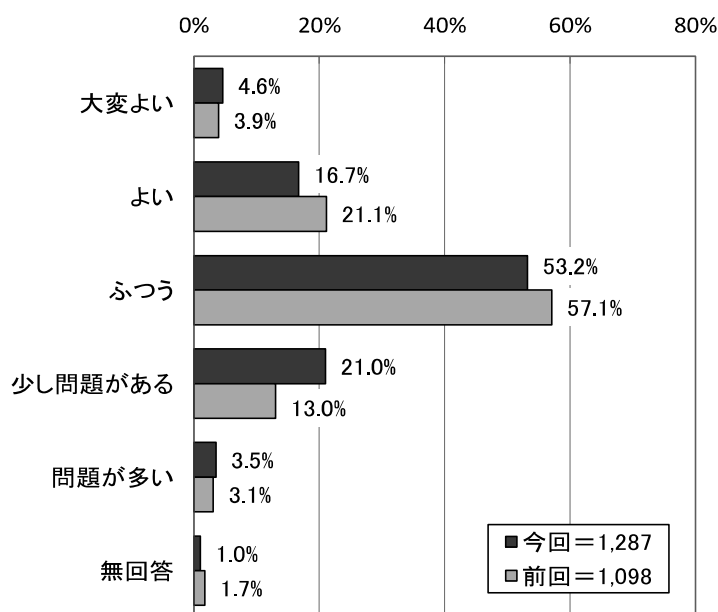
10) あなたは、健康についての知識や情報を、何から得ていますか。(アンケート調査 問17)

健康についての知識や情報を何から得ているかについては、「テレビ・ラジオ」が69.2%と最も高く、次いで「インターネット」が37.5%、「健診・人間ドック」が31.6%となっています。



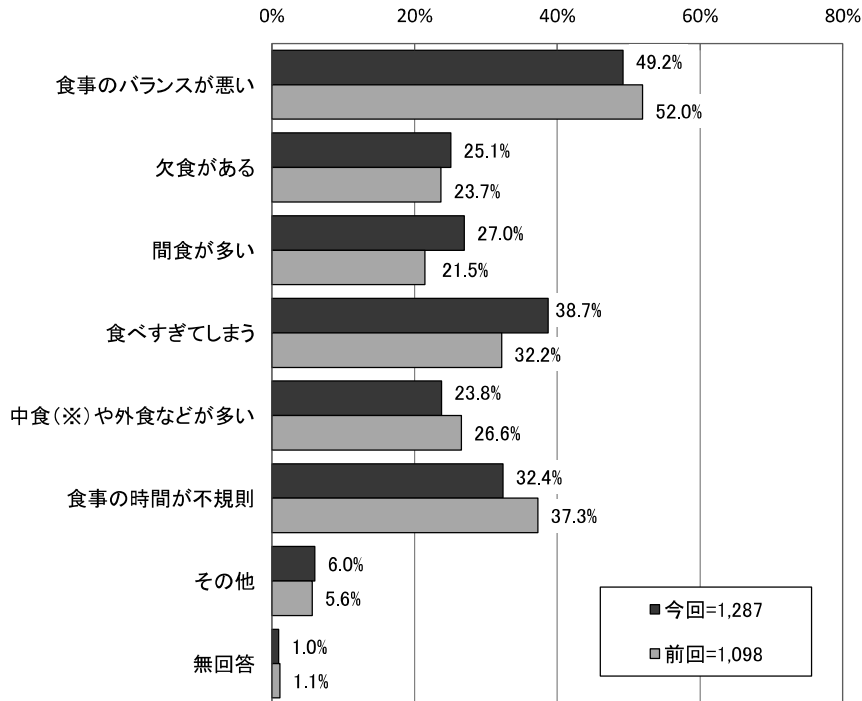
11) 自分の食生活についてどのように思いますか。(アンケート調査 問20)

自分の食生活については、「ふつう」が53.2%と最も高く、次いで「少し問題がある」が21.0%、「よい」が16.7%となっています。前回調査結果と比べると、「ふつう」が3.9ポイント、「よい」が4.4ポイント減少し、「少し問題がある」が8ポイント増加しています。



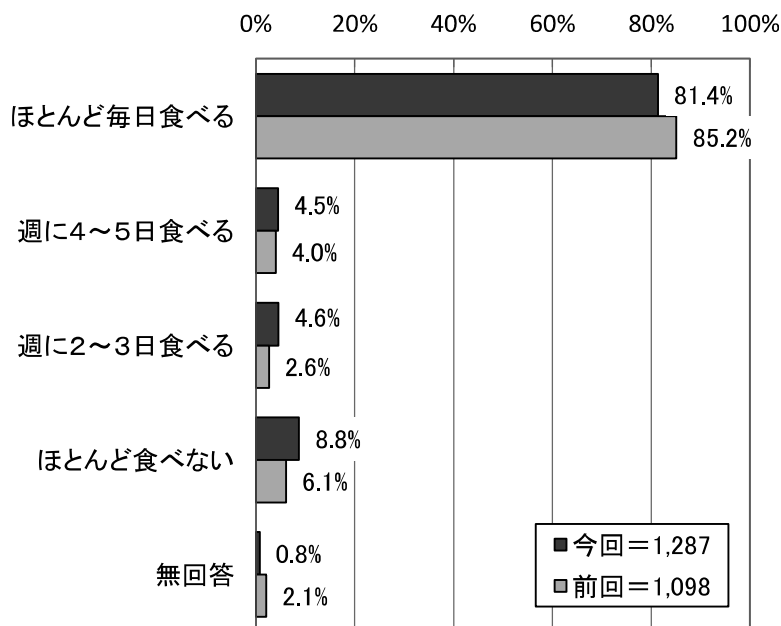
12) あなたの食生活の問題点はどのようなものですか。(アンケート調査 問20-1)

食生活の問題点については、「食事のバランスが悪い」が49.2%と最も高く、次いで「食べすぎてしまう」が38.7%、「食事の時間が不規則」が32.4%となっています。



13) あなたは、ふだん朝食を食べますか。(アンケート調査 問21)

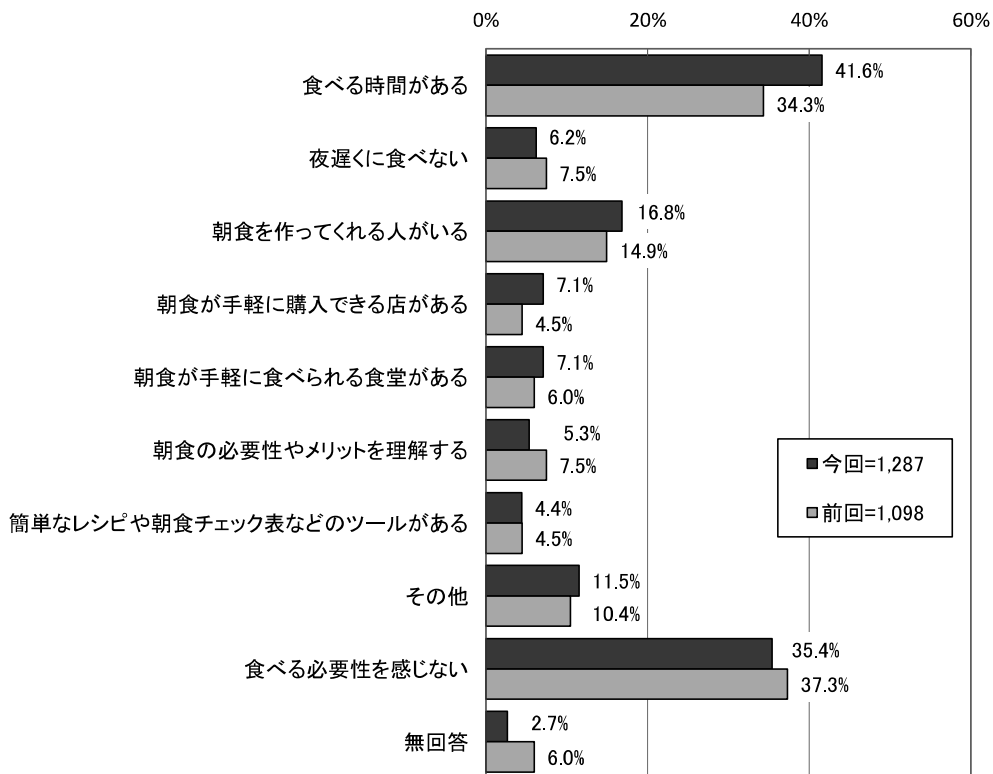
朝食については、「ほとんど毎日食べる」が81.4%と最も高く、次いで「ほとんど食べない」が8.8%、「週に2～3日食べる」が4.6%となっています。



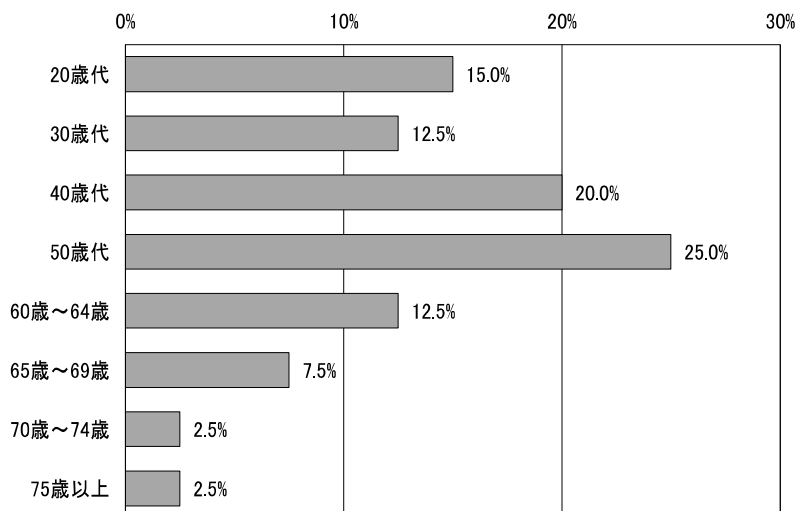
14) どのような条件があれば、朝食を摂れるようになると思いますか。(アンケート調査 問21-1)

朝食を摂れるようになる条件については、「食べる時間がある」が41.6%と最も高く、次いで「朝食を作ってくれる人がいる」が16.8%となっています。

「食べる必要性を感じない」との回答は35.4%となっており、年代別では、40・50歳代で20%以上となっています。



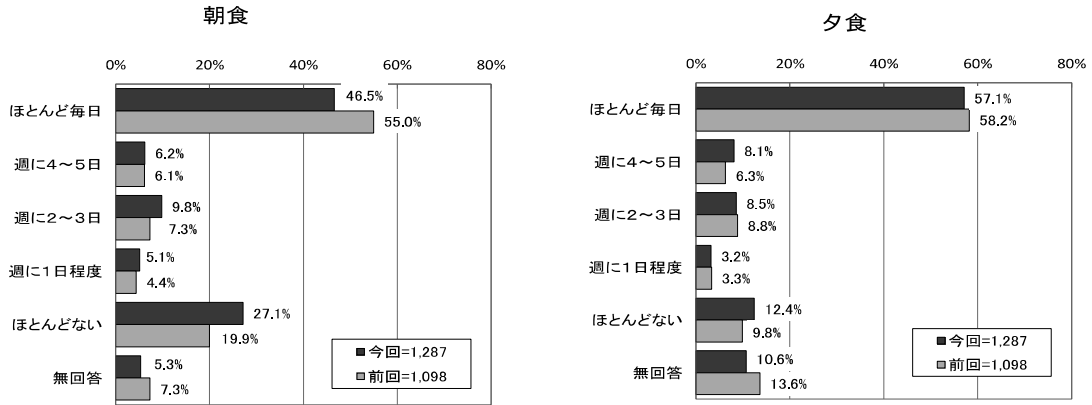
■ 「朝食を「食べる必要がない」と回答した人と「年代」のクロス表



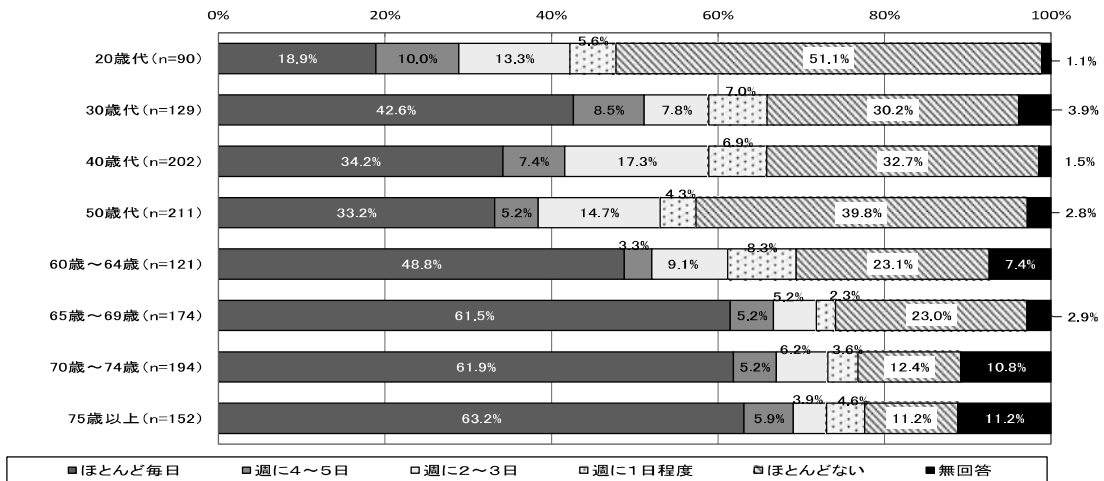
N=40

15) あなたは、朝食・夕食を家族と一緒に食べることはどのくらいありますか。(アンケート調査 問22)

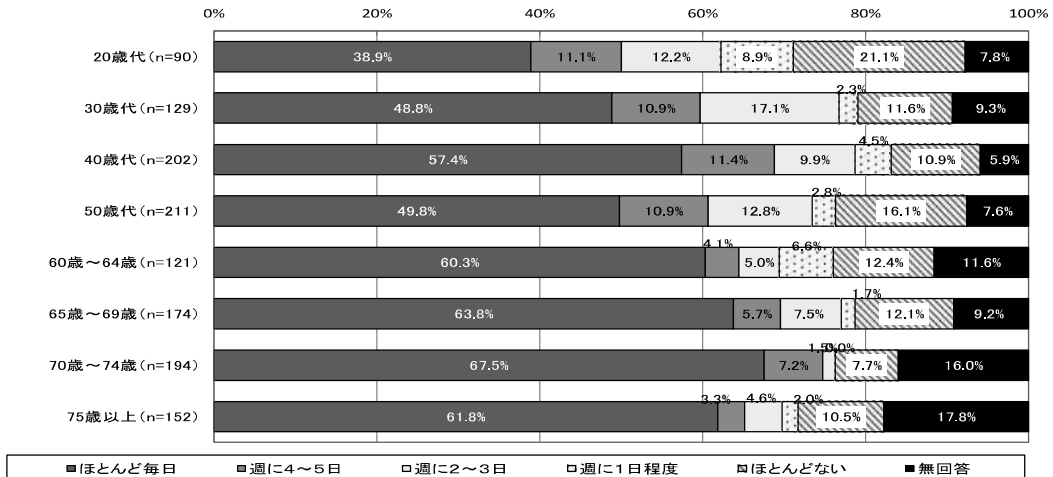
朝食では、「ほとんど毎日」が46.5%と最も高く、次いで「ほとんどない」が27.1%、「週に2～3日」が9.8%となっています。夕食では、「ほとんど毎日」が57.1%と最も高く、次いで「ほとんどない」が12.4%、「週に2～3日」が8.5%となっています。



■ 「朝食・夕食を家族と一緒に食べることはどのくらいありますか」と「年代」のクロス表【朝食】

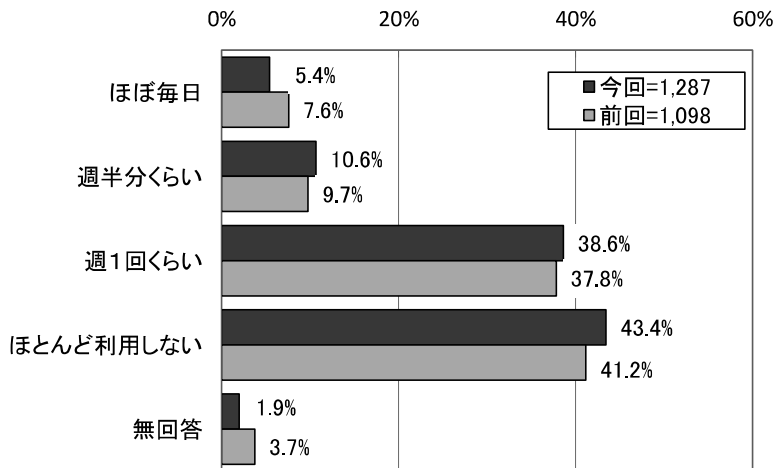


【夕食】



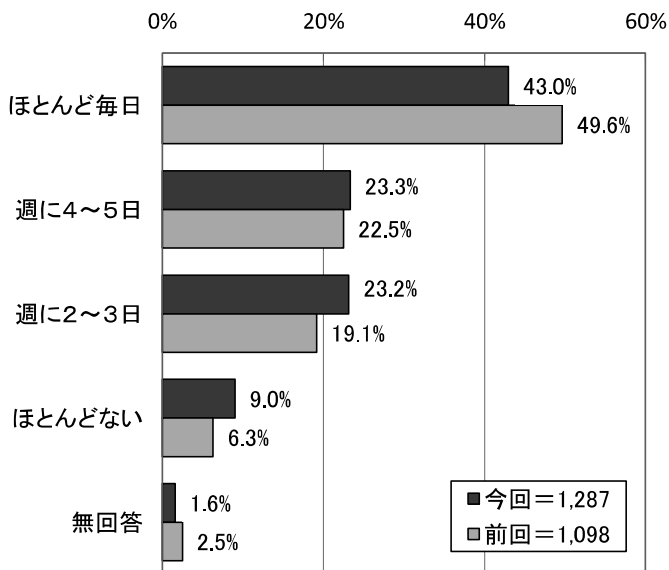
16) あなたは、普段レストランなどで外食したり、コンビニエンスストアの弁当、ハンバーガーなどのファーストフードを食べていますか。(アンケート調査 問23)

外食等については、「ほとんど利用しない」が43.4%と最も高く、次いで「週1回くらい」が38.6%、「週半分くらい」が10.6%となっています。



17) あなたは、主食・主菜・副菜を3つそろえて食べることが1日に2回以上あるのは、週に何日ありますか。(アンケート調査 問24)

主食・主菜・副菜を3つそろえて食べることが週に何日あるかについては、「ほとんど毎日」が43.0%と最も高く、次いで「週に4～5日」が23.3%、「週に2～3日」が23.2%となっています。前回調査結果と比べると、「ほとんど毎日」が6.6ポイント減少しています。

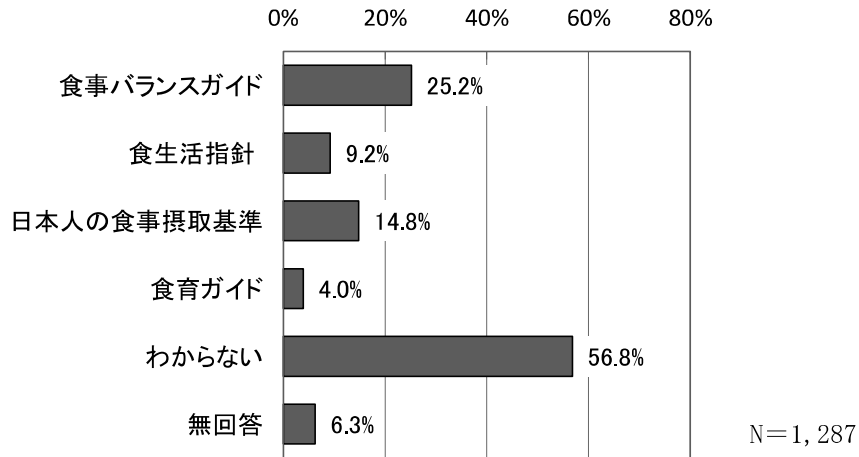




18) あなたは、日頃の健全な食生活を実践するため、どのような指針等を知っていますか。  
 (アンケート調査 問 25)

健全な食生活を実践するために知っている指針等については、「食事バランスガイド」が25.2%と最も高く、次いで「日本人の食事摂取基準」が14.8%となっています。

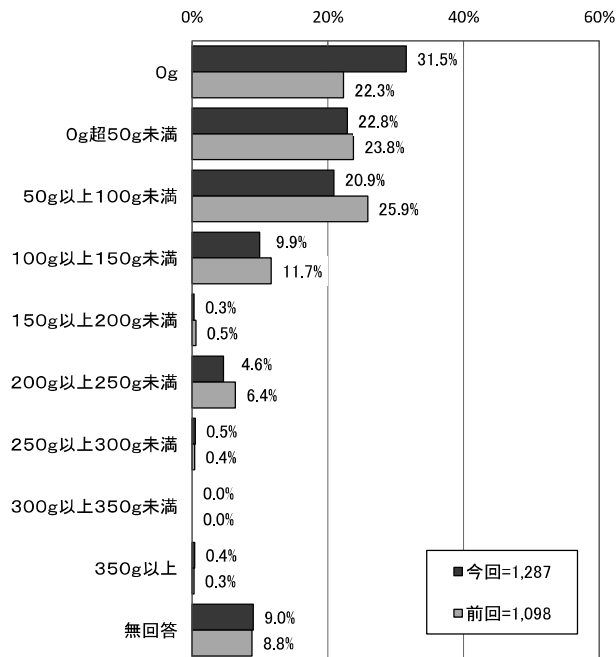
「わからない」との回答は、56.8%となっています。



19) あなたは、ふだんの食事で一日に野菜料理をどれくらい食べていますか。朝食、昼食、夕食においてそれぞれ該当するものに○をつけてください。(アンケート調査 問 26)

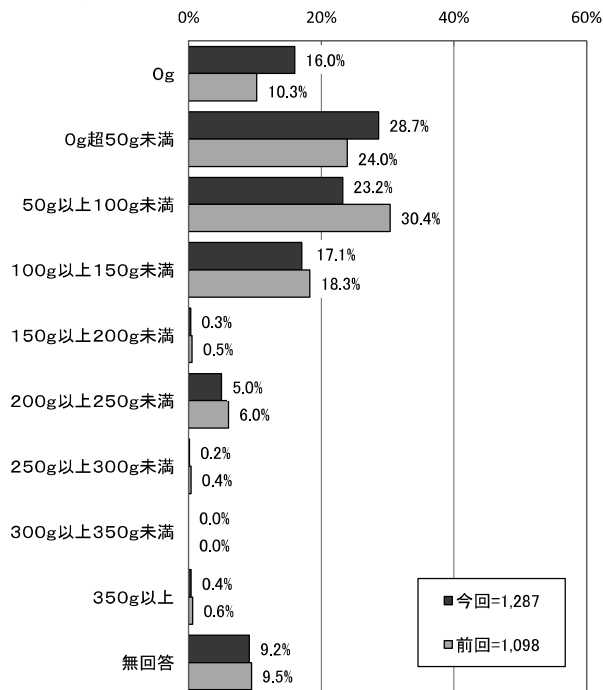
【朝食】

朝食での野菜摂取量は、「0g」が31.5%と最も高く、次いで「0g超50g未満」が22.8%、「50g以上100g未満」が20.9%となっています。前回調査結果と比べると、全く食べていない人の割合が増加しています。



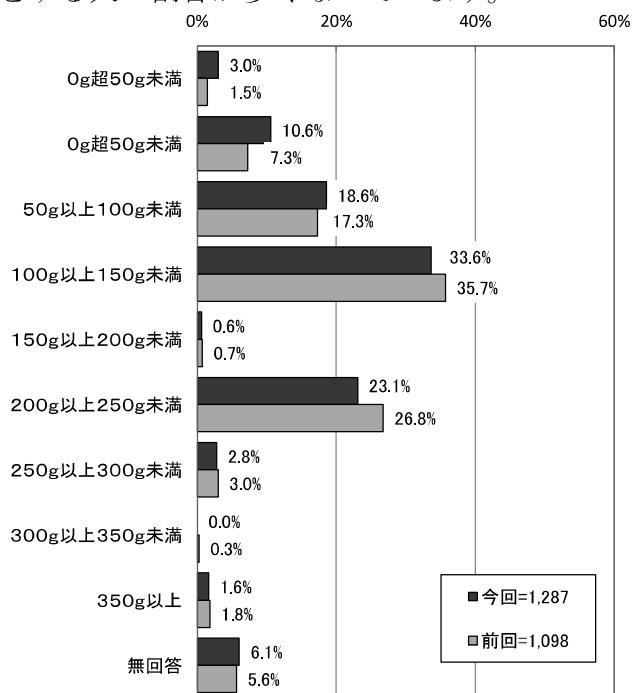
【昼食】

昼食での野菜摂取量は、「0g超50g未満」が28.7%と最も高く、次いで「50g以上100g未満」が23.2%、「100g以上150g未満」が17.1%となっています。前回調査結果と比べると、全く食べていない人の割合が増加しています



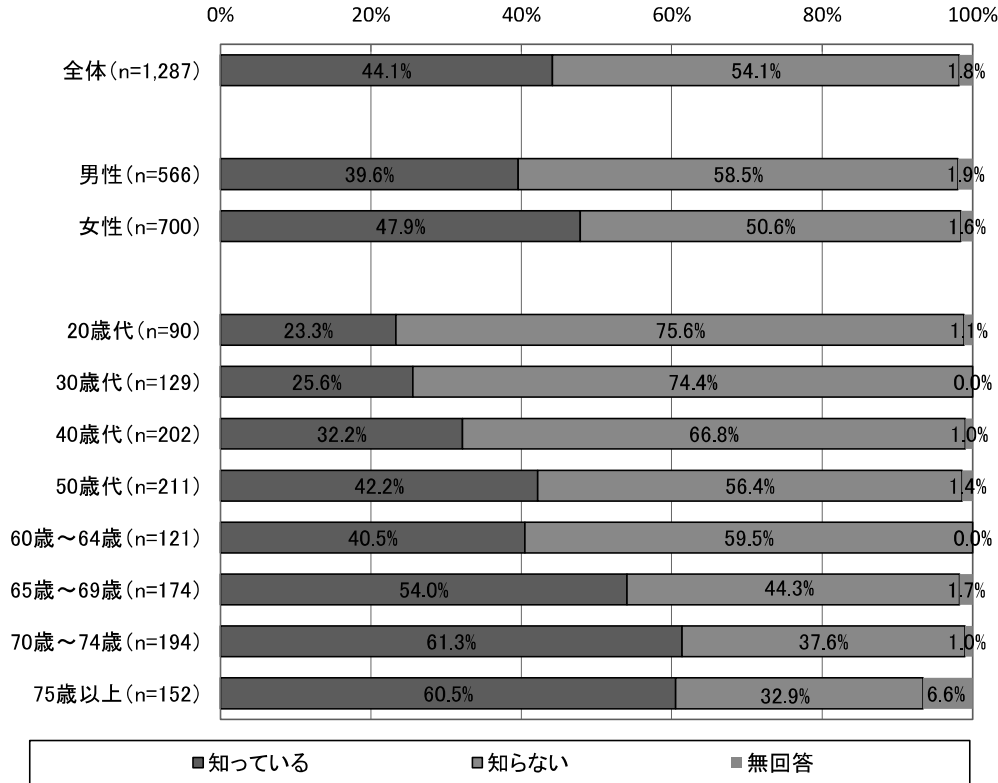
【夕食】

夕食での野菜摂取量は、「100g超150g未満」が33.6%と最も高く、次いで「200g以上250g未満」が23.1%、「50g以上100g未満」が18.6%となっています。朝食、昼食に比べ、野菜摂取をする人の割合が多くなっています。



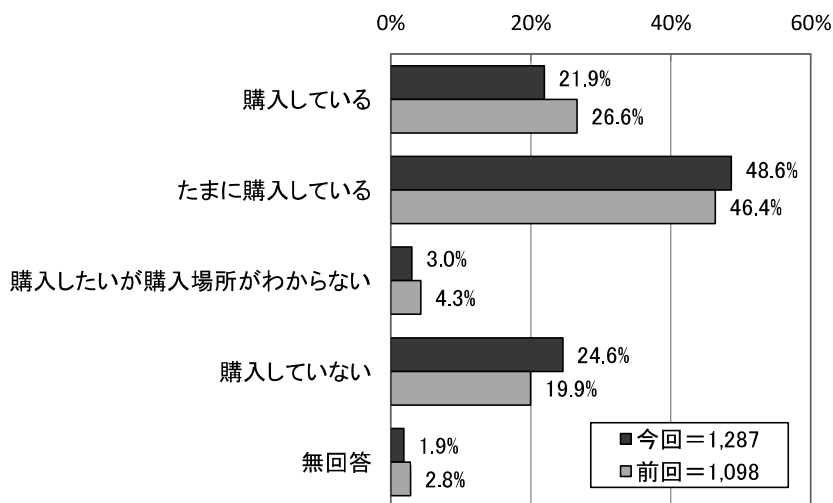
20) 1日の適正塩分量が成人の場合、男性が8.0グラム未満、女性が7.0グラム未満であることを知っていますか。(アンケート調査 問29)

1日の適正塩分量については、「知らない」が54.1%、「知っている」が44.1%となっています。



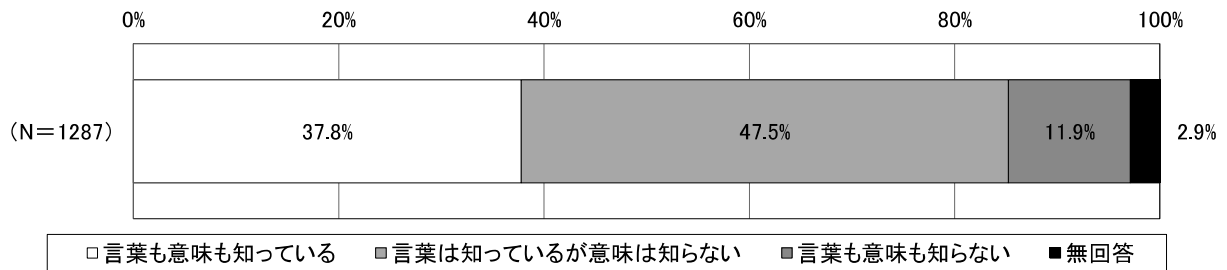
21) あなたは、地産地消の取り組みとして「本庄産農産物」を意識して購入していますか。(アンケート調査 問32)

「本庄産農産物」を意識して購入しているかについては、「たまに購入している」が48.6%と最も高く、次いで「購入していない」が24.6%、「購入している」が21.9%となっています。



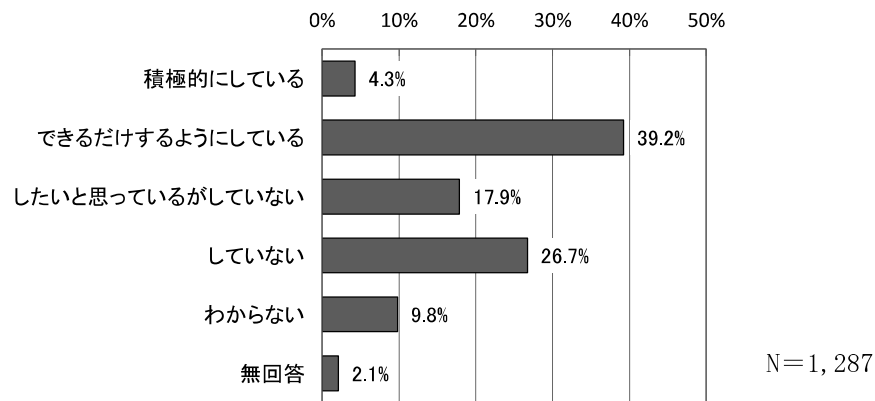
22) 「食育」という言葉やその意味を知っていますか。(アンケート調査 問34)

「食育」については、「言葉は知っているが意味は知らない」が47.5%、「言葉も意味も知っている」が37.8%、「言葉も意味も知らない」が11.9%となっています。



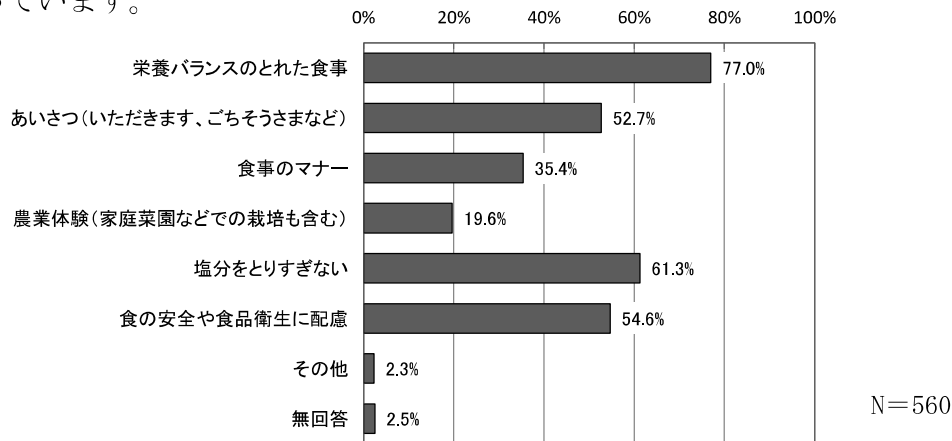
23) 日頃、「食育」を実践していますか。(アンケート調査 問36)

食育の実践については、「できるだけするようにしている」が39.2%と最も高く、次いで「していない」が26.7%、「したいと思っているがしていない」が17.9%となっています。



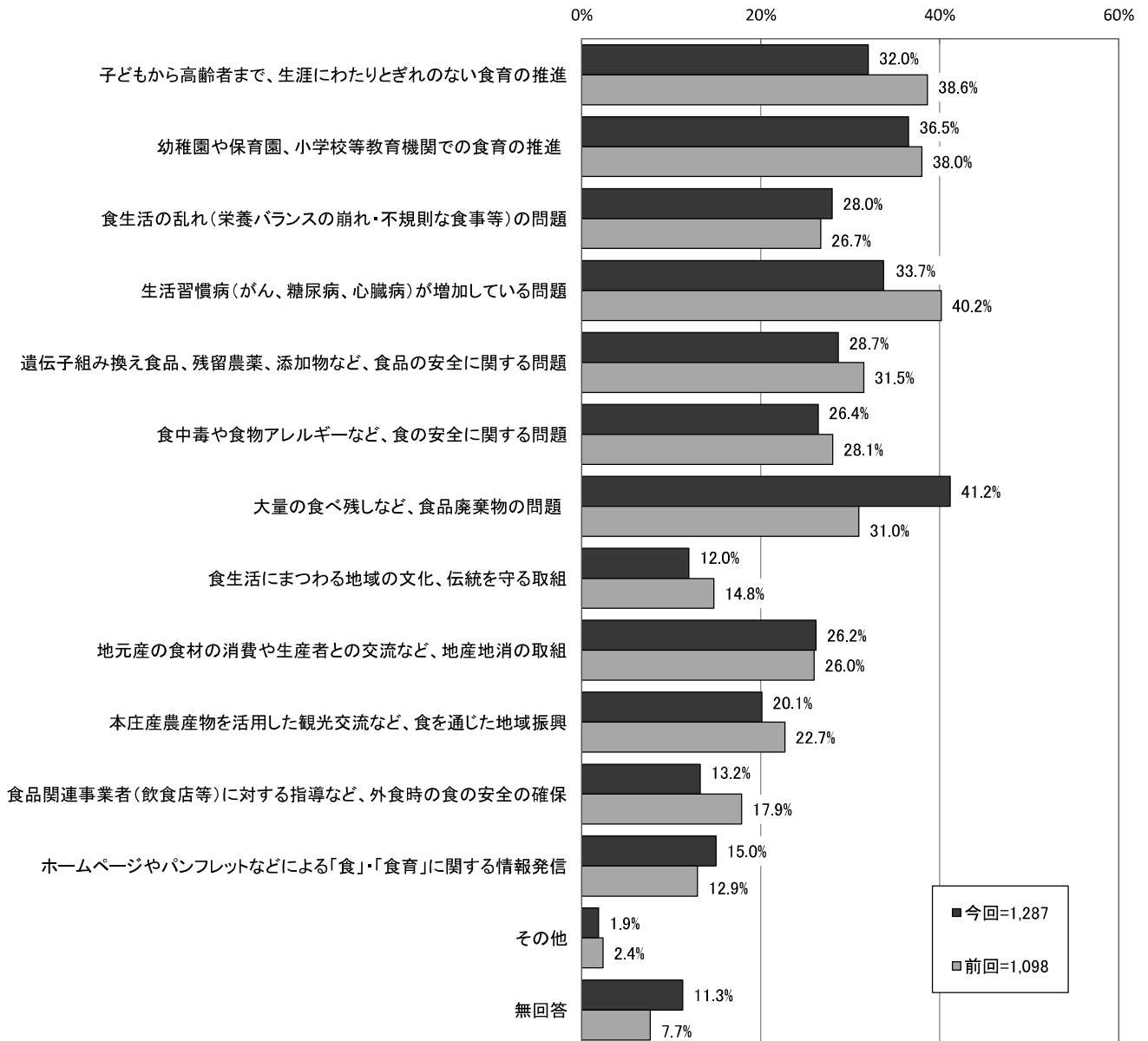
24) 食育についてどのようなことを行っていますか。(アンケート調査 問36-1)

食育で実践していることについては、「栄養バランスのとれた食事」が77.0%と最も高く、次いで「塩分をとりすぎない」が61.3%、「食の安全や食品衛生に配慮」が54.6%となっています。



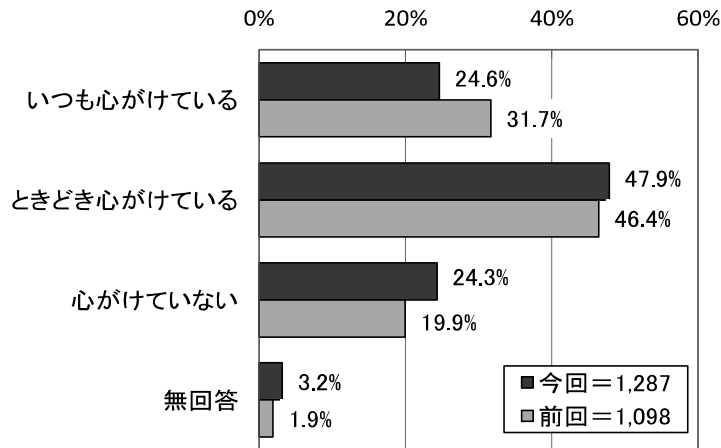
25) あなたは、健全で豊かな食生活の実現に向けて「食育」を推進するために、本庄市でどのようなことに重点的に取り組んでほしいですか。(アンケート調査 問37)

食育の推進のために、本庄市で取り組んでほしいことについては、「大量の食べ残しなど、食品廃棄物の問題」が41.2%と最も高く、次いで「幼稚園や保育園、小学校等教育機関での食育の推進」が36.5%、「生活習慣病（がん、糖尿病、心臓病）が増加している問題」が33.7%となっています。



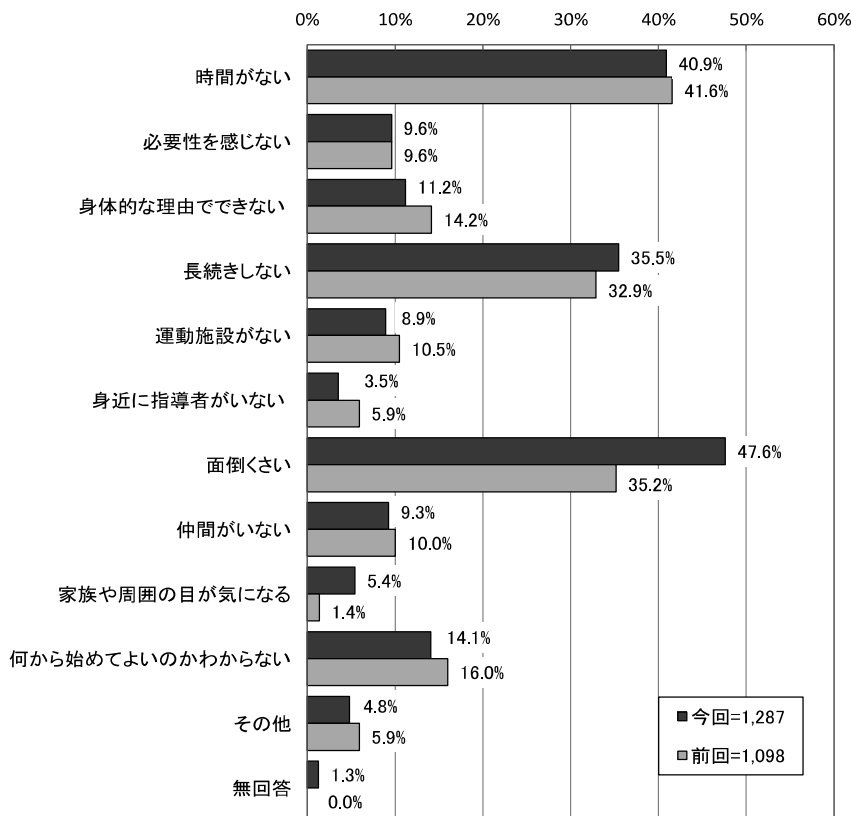
26) あなたは、仕事以外に意識的に体を動かすなど、運動を心がけていますか。(アンケート調査 問38)

意識的に体を動かすなど、運動を心がけているかについては、「ときどき心がけている」が47.9%、「いつも心がけている」が24.6%、「心がけていない」が24.3%となっています。前回調査結果と比べて、「いつも心がけている」人が7.1ポイント減少し、「心がけていない」人の割合が4.4ポイント増加しています。



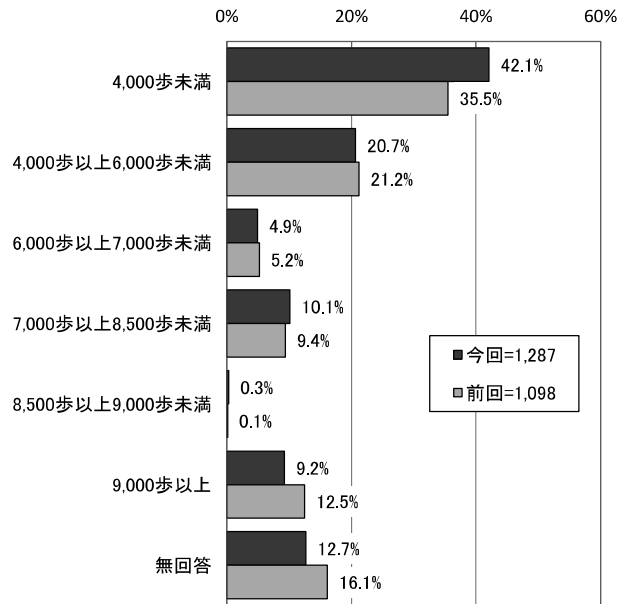
27) 運動を心がけていない理由は何ですか。(アンケート調査 問38-1)

運動を心がけていない理由については、「面倒くさい」が前回調査結果と比べて、12.4ポイント増加し、47.6%と最も高く、次いで「時間がない」が40.9%、「長続きしない」が35.5%となっています。

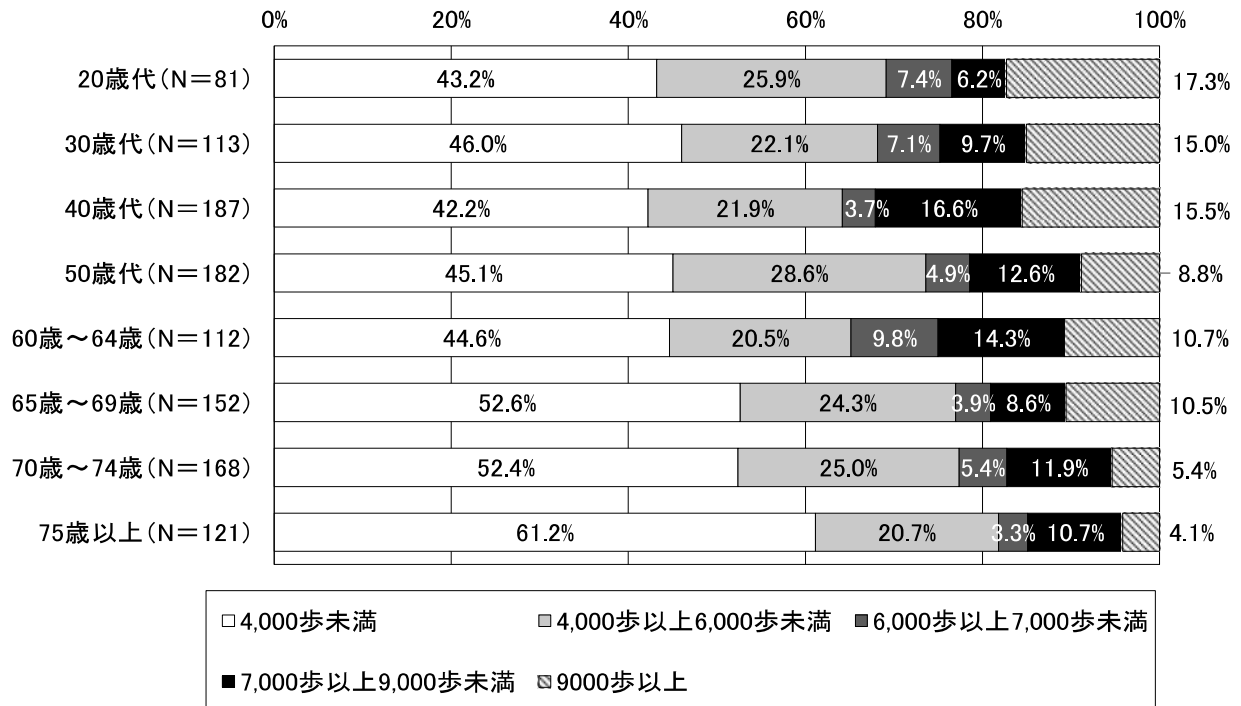


28) あなたは、1日平均何歩くらい歩きますか。(アンケート調査 問40)

1日の平均歩数については、「4,000歩未満」が42.1%と最も高く、次いで「4,000歩以上6,000歩未満」が20.7%、「7,000歩以上8,500歩未満」が10.1%となっています。年代が高い人の方が、「4,000歩未満」の割合が多くなっています。

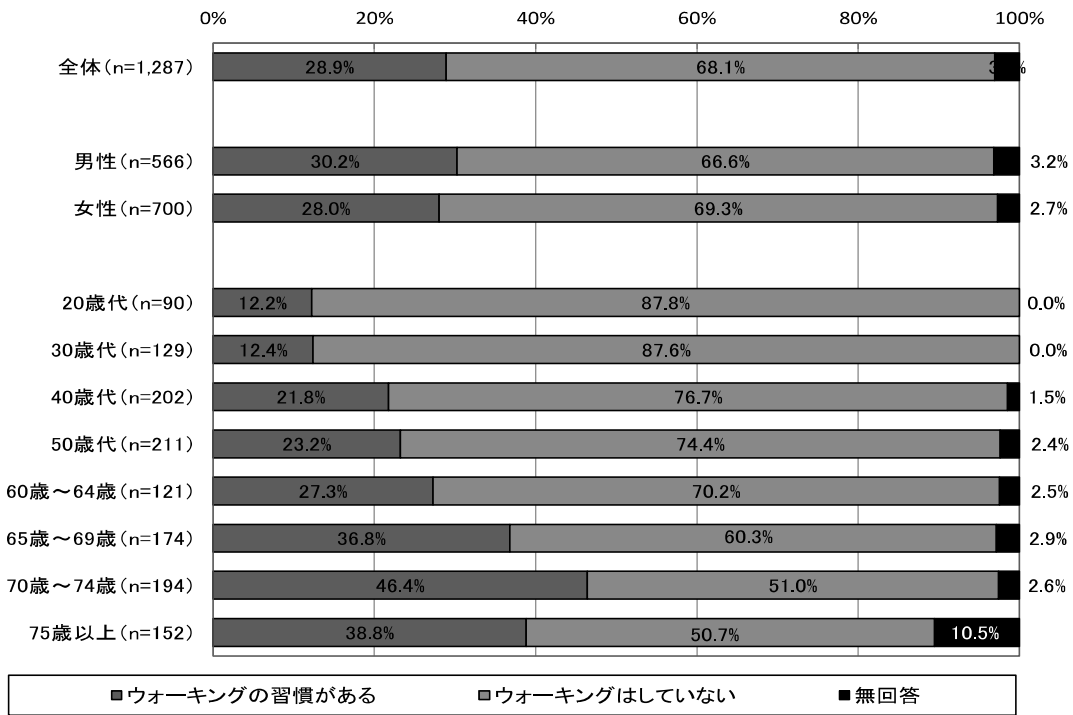


■ 1日の歩数と年代のクロス表



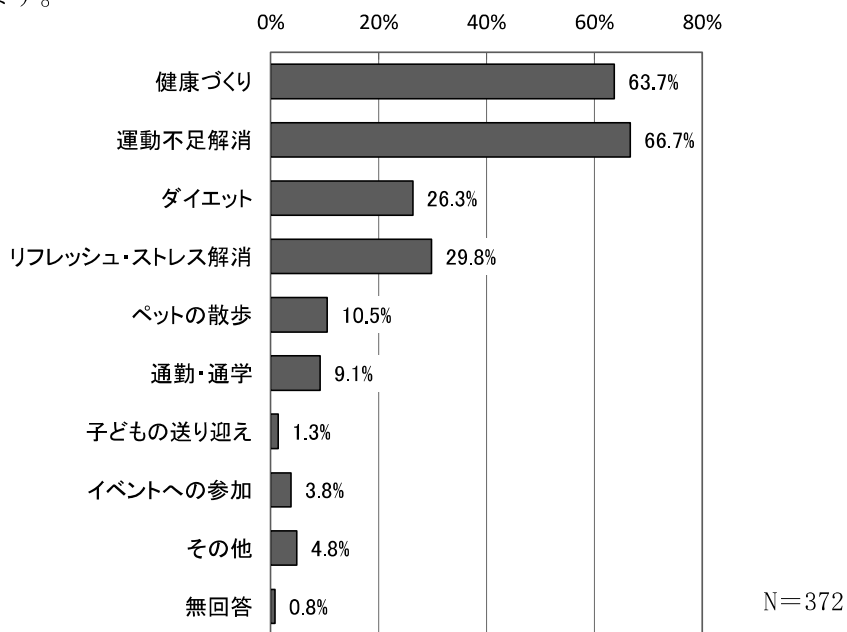
**29) あなたは、ウォーキングの習慣がありますか。(アンケート調査 問43)**

ウォーキングの習慣については、「ウォーキングはしていない」が68.1%、「ウォーキングの習慣がある」が28.9%となっています。年代が高くなると、「ウォーキングの習慣がある」人の割合が高くなっています。



**30) ウォーキングをしようと思ったきっかけはなんですか。(アンケート調査 問43-1)**

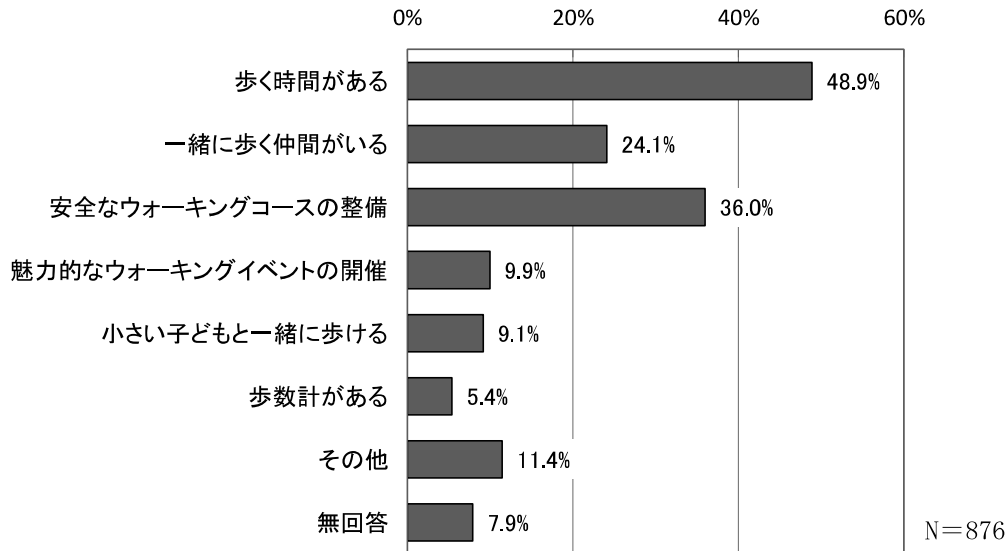
ウォーキングをしようと思ったきっかけについては、「運動不足解消」が66.7%と最も高く、次いで「健康づくり」が63.7%、「リフレッシュ・ストレス解消」が29.8%となっています。





31) どのような条件があれば、ウォーキングの習慣が定着すると思いますか。(アンケート調査 問 43-2)

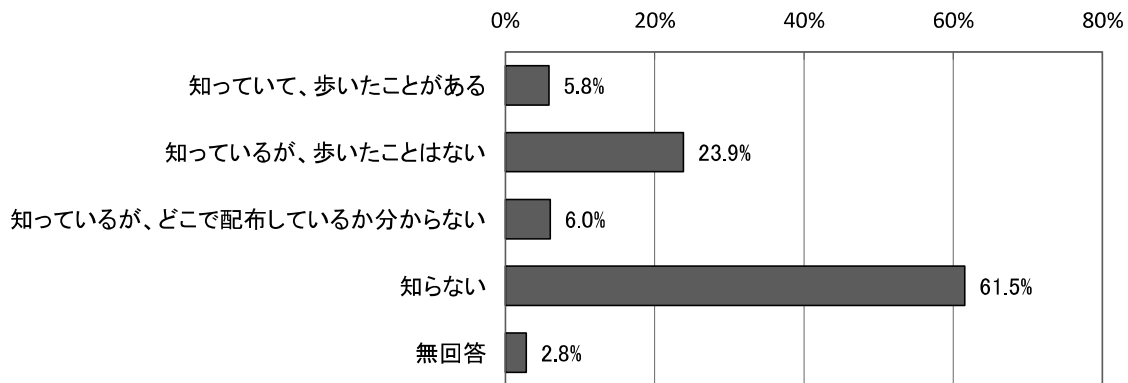
ウォーキングの習慣が定着するための条件については、「歩く時間がある」が48.9%と最も高く、次いで「安全なウォーキングコースの整備」が36.0%、「一緒に歩く仲間がいる」が24.1%となっています。



32) あなたは、本庄ウォーキングマップを知っていますか。(アンケート調査 問 44)

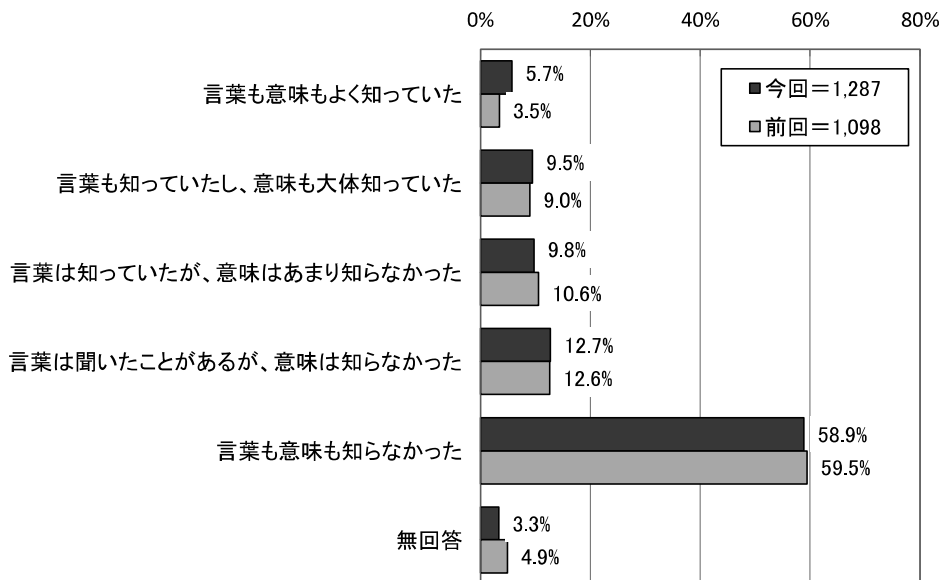
本庄ウォーキングマップの認知度については、「知らない」が61.5%と最も高く、次いで「知っているが、歩いたことはない」が23.9%、「知っているが、どこで配布しているか分からない」が6.0%となっています。

また、「知っていて、歩いたことがある」との回答は、5.8%となっています。



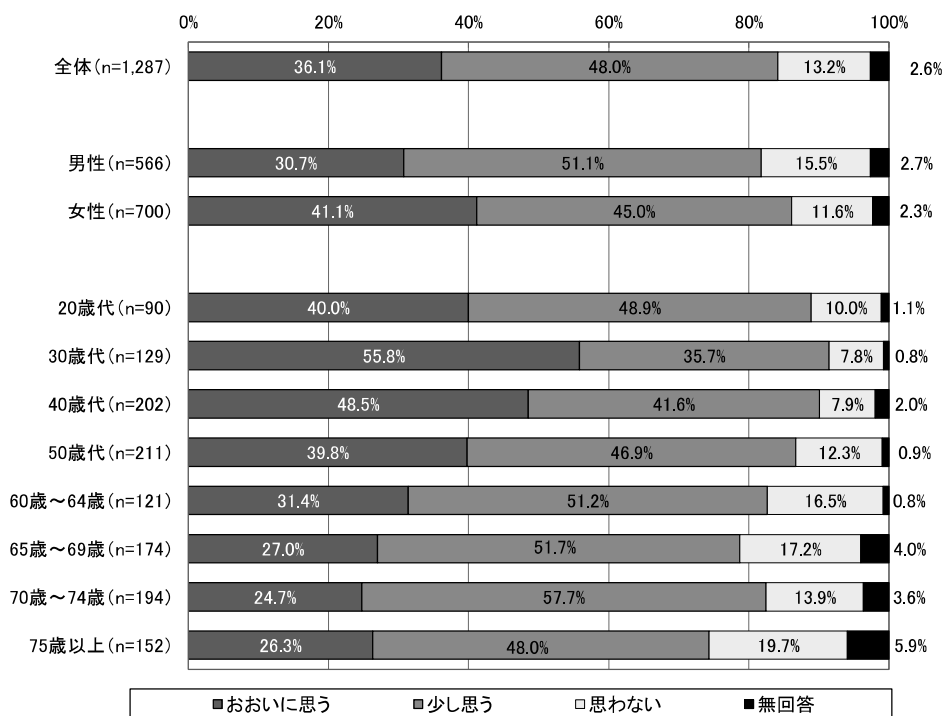
33) あなたは、ロコモティブシンドローム（運動器症候群）という言葉やその意味を知っていましたか。（アンケート調査 問45）

ロコモティブシンドローム（運動器症候群）の認知度については、「言葉も意味も知らなかった」が58.9%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らなかった」が12.7%、「言葉は知っていたが、意味はあまり知らなかった」が9.8%となっています。



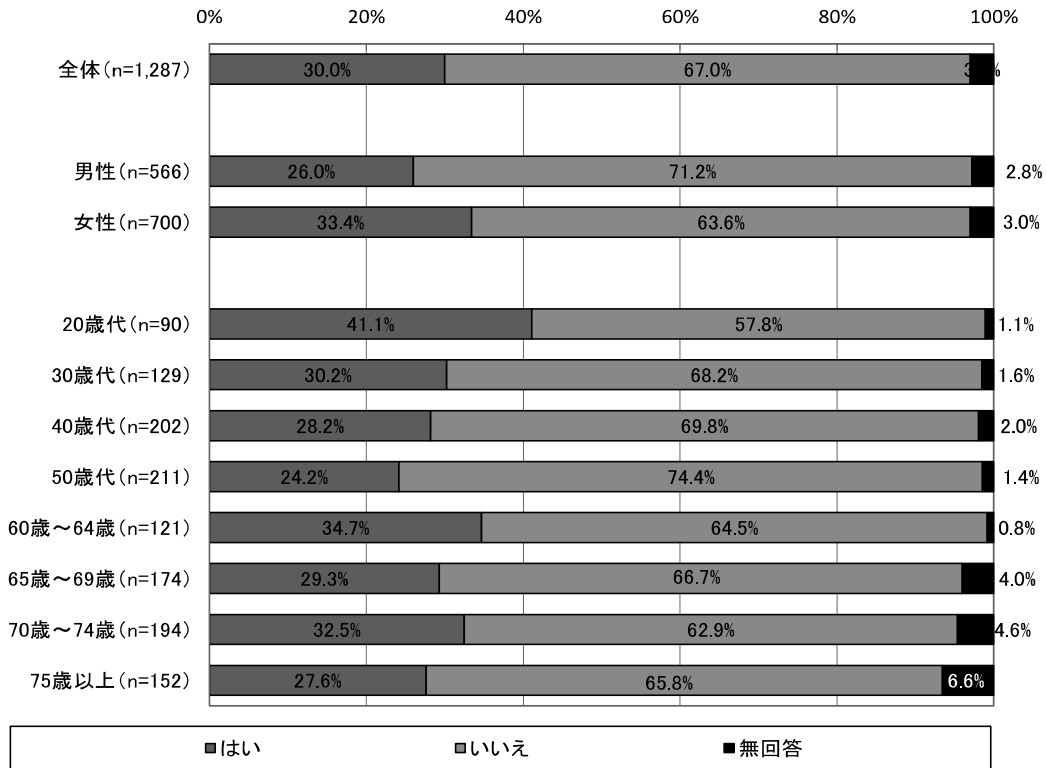
34) 今の日常生活は、運動が不足していると思いますか。（アンケート調査 問46）

現在、運動不足だと思うかについては、「少し思う」が48.0%、「おおいに思う」が36.1%、「思わない」が13.2%となっています。



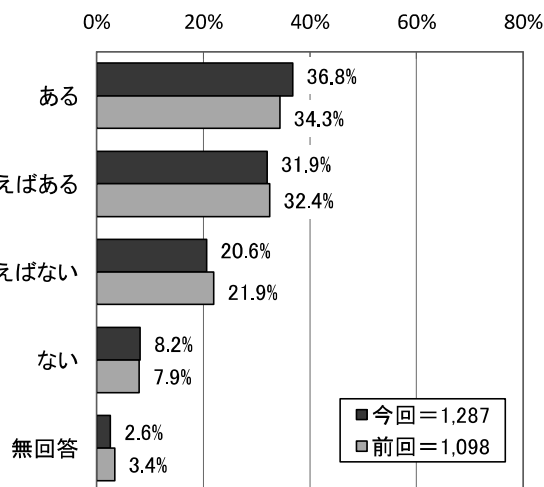
35) 運動しようと思ったとき、いっしょに運動する仲間はいませんか。(アンケート調査 問47)

いっしょに運動する仲間がいるかについては、「いいえ」が67.0%、「はい」が30.0%となっています。



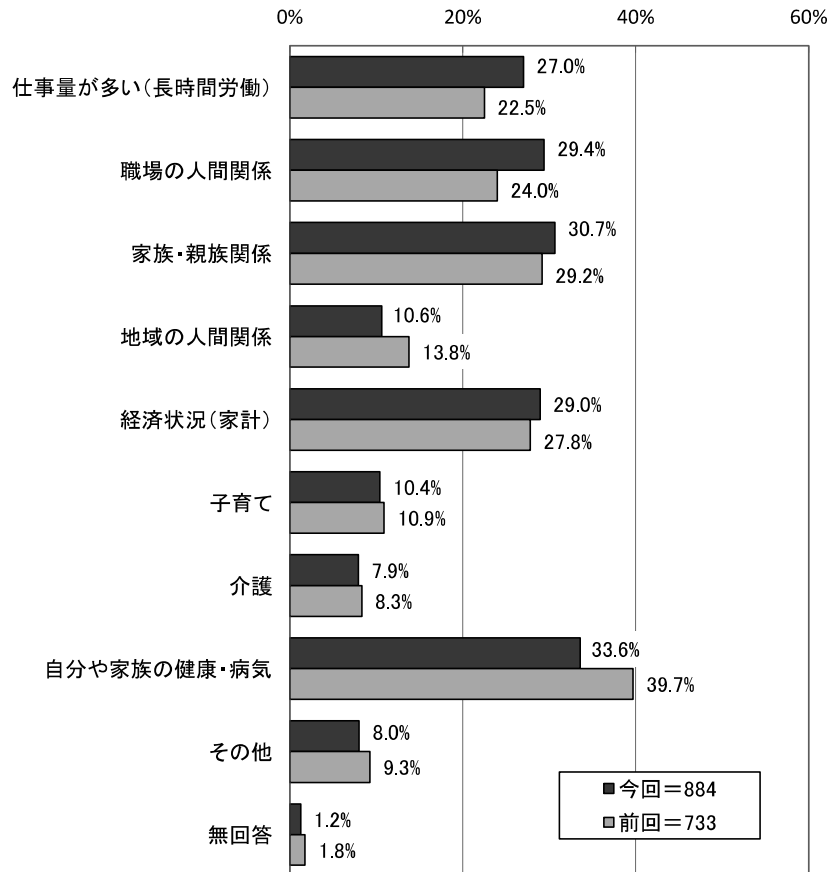
36) あなたは、日常生活の中でストレス（不安、悩み、イライラなど）を感じることはありませんか。(アンケート調査 問48)

日常生活の中でのストレスについては、「ある」が36.8%と最も高く、「どちらかといえばある」と合わせて、68.7%の方が「ストレスがある」と回答しています。「どちらかといえばない」、「ない」を合わせて、28.8%の方が「ストレスはない」と回答しています。前回調査結果と比べると、「ストレスがある」人が2.0ポイント増加しています。



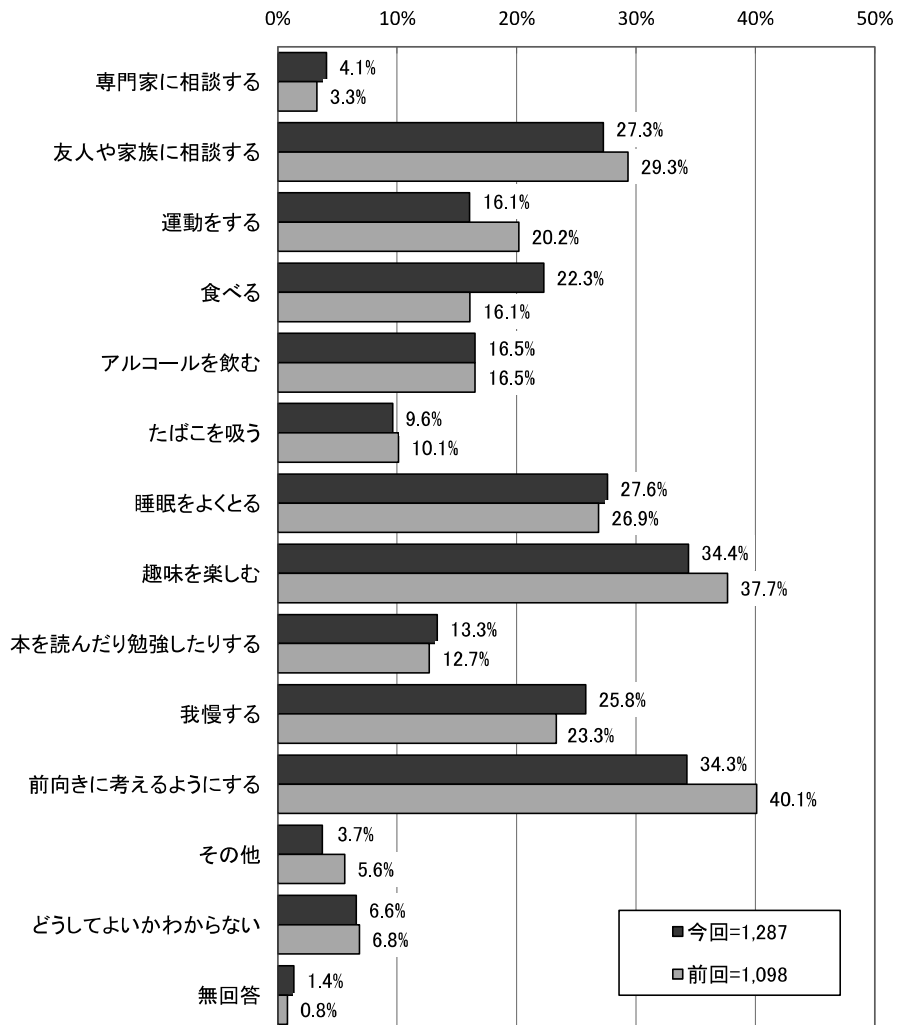
37) ストレスの原因は何だと思えますか。(アンケート調査 問48-1(1))

ストレスの原因については、「自分や家族の健康・病気」が33.6%と最も高く、次いで「家族・親族関係」が30.7%、「職場の人間関係」が29.4%となっています。前回調査結果と比べると、「仕事量が多い(長時間労働)」が4.5ポイント、「職場の人間関係」が5.4ポイント増加しています。



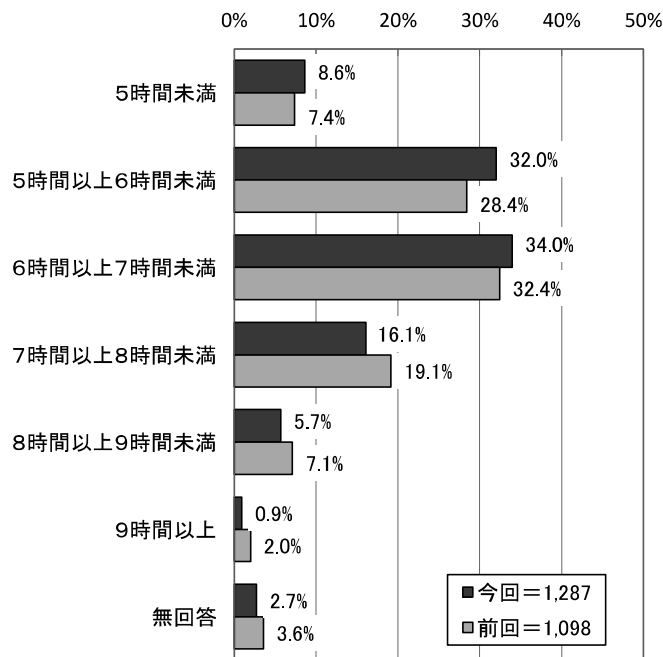
38) そのストレスをどのように解消していますか。(アンケート調査 問48-1 (2))

ストレスの解消法については、「趣味を楽しむ」が34.4%と最も高く、次いで「前向きに考えるようにする」が34.3%、「睡眠をよくとる」が27.6%となっています。



**39) あなたの1日の平均睡眠時間は何時間くらいですか。(アンケート調査 問49)**

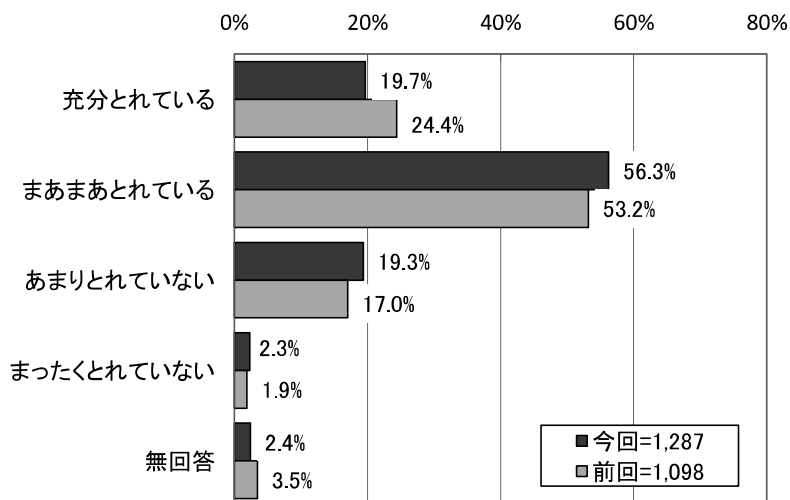
1日の平均睡眠時間については、「6時間以上7時間未満」が34.0%と最も高く、次いで「5時間以上6時間未満」が32.0%、「7時間以上8時間未満」が16.1%となっています。前回調査結果と比べると、睡眠時間が減少の傾向が見られます。



**40) ここ1ヶ月間、あなたは睡眠で休養が充分とれていますか。(アンケート調査 問50)**

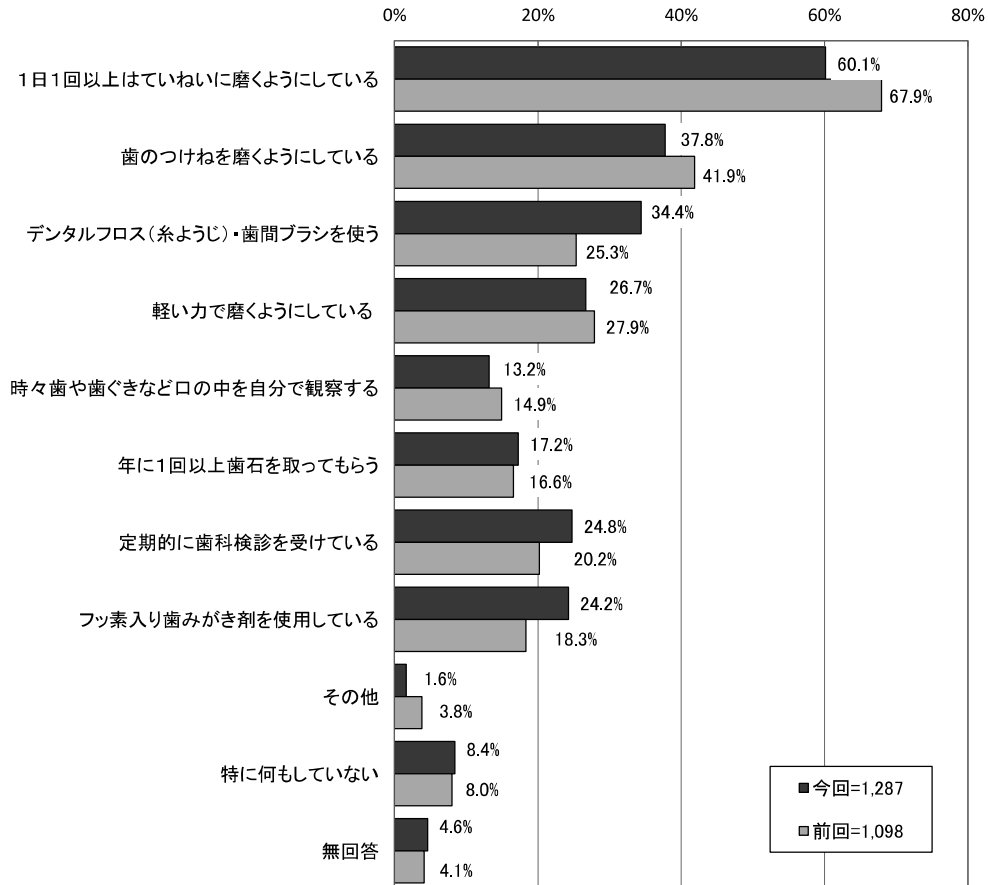
ここ1ヶ月間、睡眠で休養が充分とれているかについては、「まあまあとれている」が56.3%と最も高く、「充分とれている」と合わせて、76.0%の方が「睡眠で休養がとれている」と回答しています。

「あまりとれていない」、「まったくとれていない」を合わせて、21.6%の方が「睡眠で休養がとれていない」と回答しています。



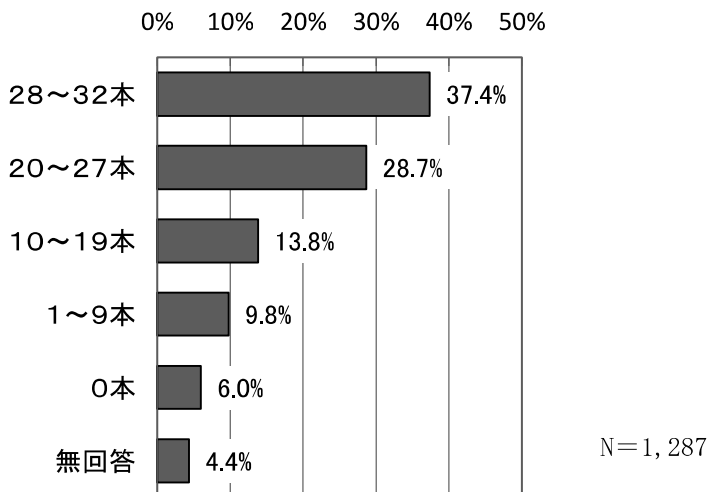
41) あなたが歯や歯ぐきの健康のためにしていることは何ですか。(アンケート調査 問51)

歯や歯ぐきの健康のためにしていることについては、「1日1回以上はていねいに磨くようにしている」が60.1%と最も高く、次いで「歯のつけねを磨くようにしている」が37.8%、「デンタルフロス(糸ようじ)・歯間ブラシを使う」が34.4%となっています。



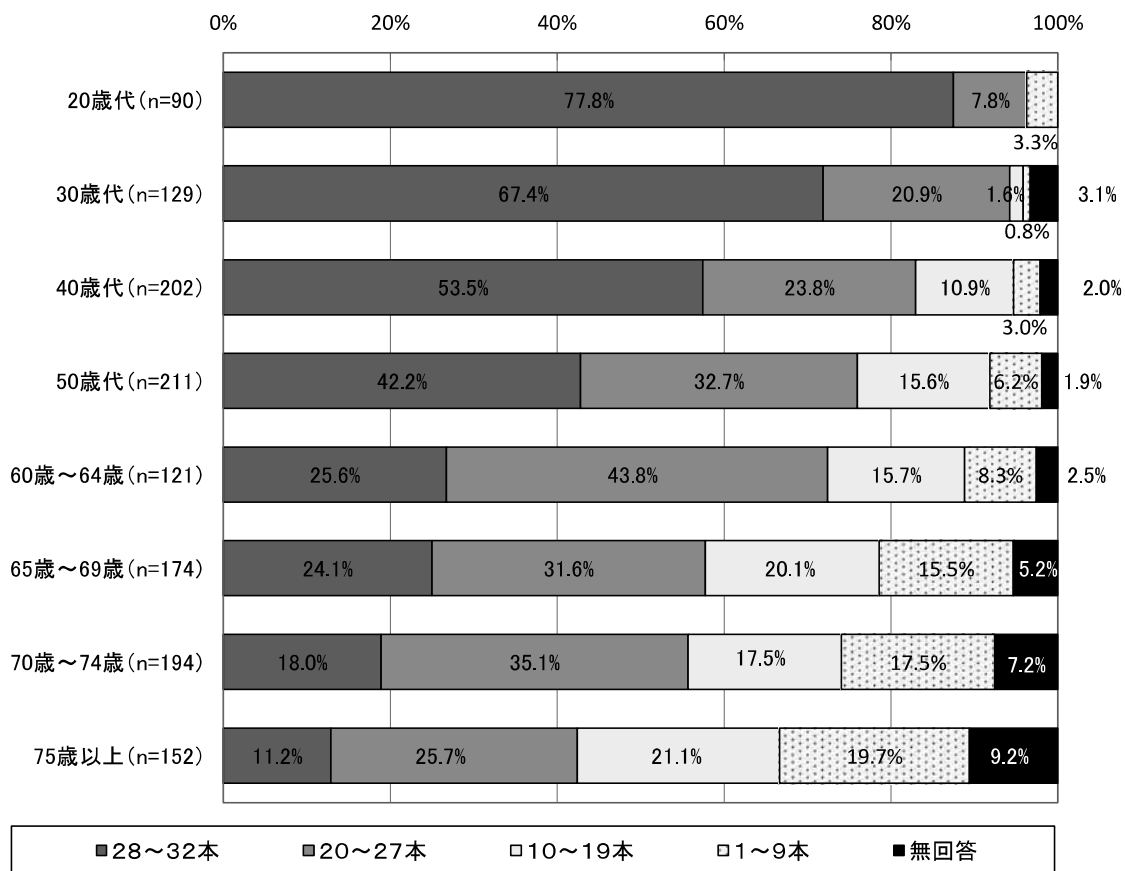
42) 現在、自分の歯（入れ歯、差し歯でないもの）は何本ありますか。（アンケート調査 問52）

自身の歯の本数については、「28～32本」が37.4%と最も高く、次いで「20～27本」が28.7%、「10～19本」が13.8%となっています。



※参考:親しらずが全部（4本）あると、32本になります。

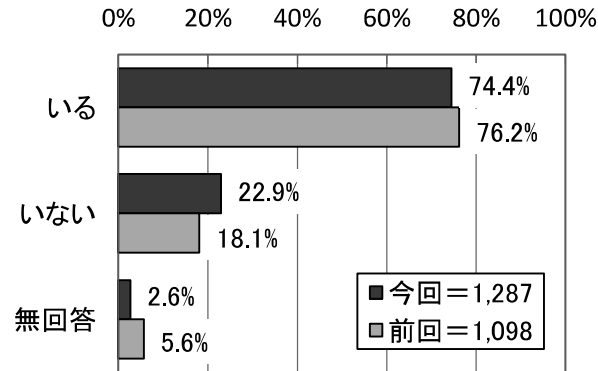
■自分の歯の本数と年代のクロス表





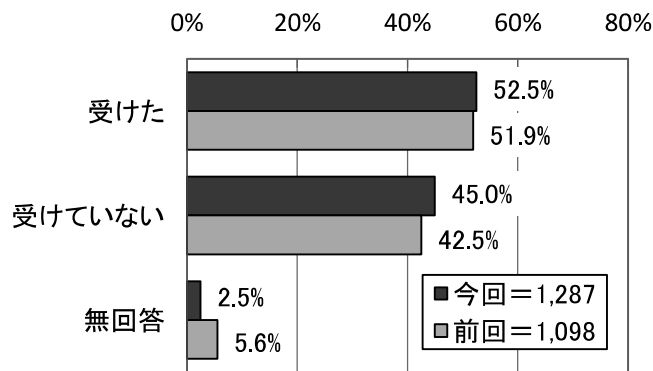
43) あなたは、かかりつけの歯科医がいますか。(アンケート調査 問53)

かかりつけの歯科医については、「いる」が74.4%、「いない」が22.9%となっています。前回調査結果と比べると、「いない」人が4.8ポイント増加しています。



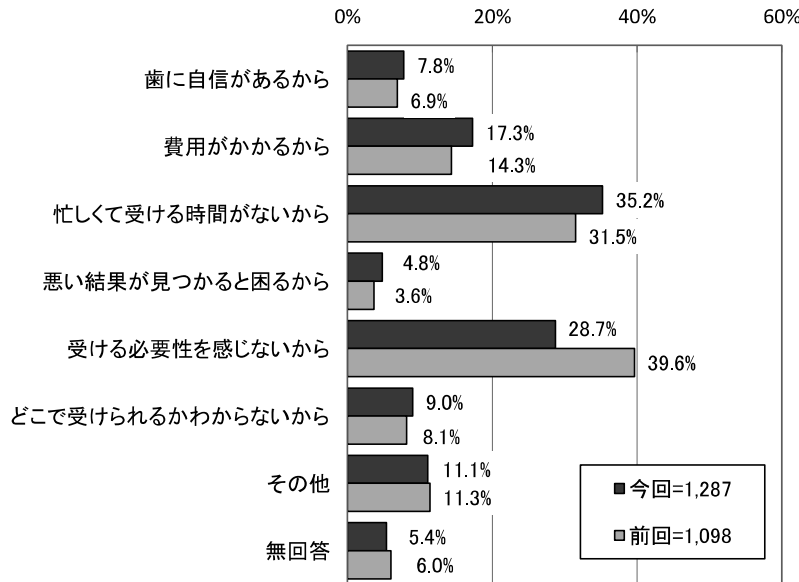
44) あなたはこの一年間に、歯科検診を受けましたか。(アンケート調査 問54)

この一年間の歯科検診の受診については、「受けた」が52.5%、「受けていない」が45.0%となっています。前回調査結果と比べると、「受けていない」人が2.5ポイント増加しています。



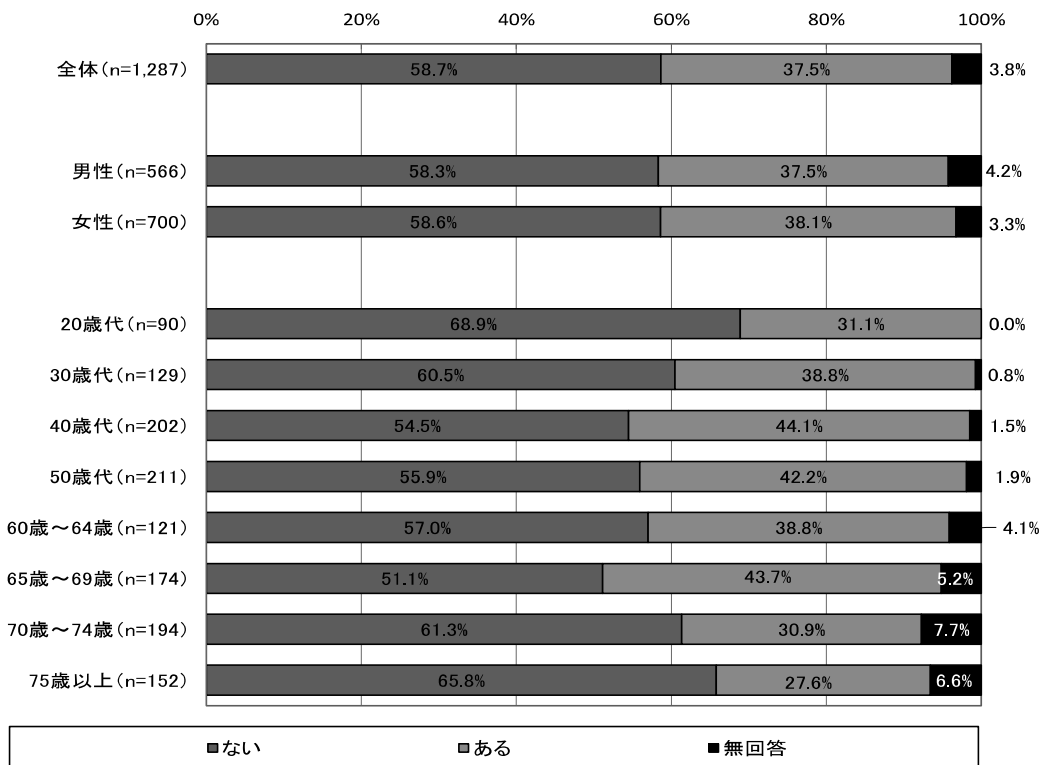
45) 検診を受けない理由はなんですか。(アンケート調査 問54-1)

歯科検診を受けていない理由については、「忙しくて受ける時間がないから」が35.2%と最も高く、次いで「受ける必要性を感じないから」が28.7%、「費用がかかるから」が17.3%となっています。



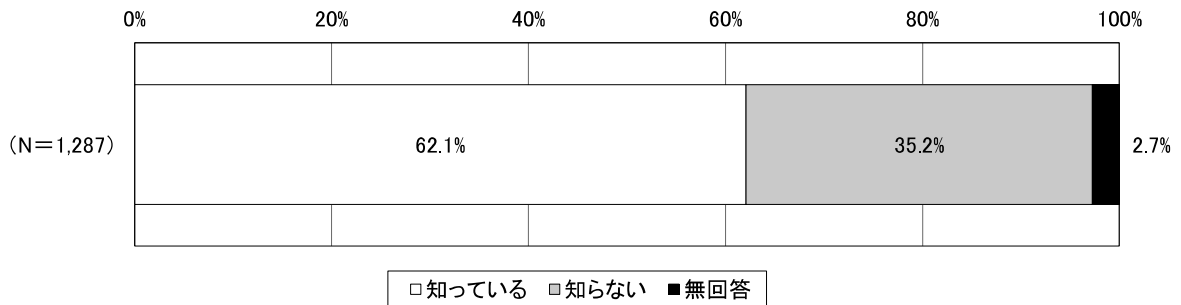
46) あなたは、歯周病の自覚症状がありますか。(歯周病の自覚症状とは、歯茎が赤く腫れる、歯茎から血が出る、歯がしみる等となります) (アンケート調査 問56)

歯周病の自覚症状については、「ない」が58.7%、「ある」が37.5%となっています。



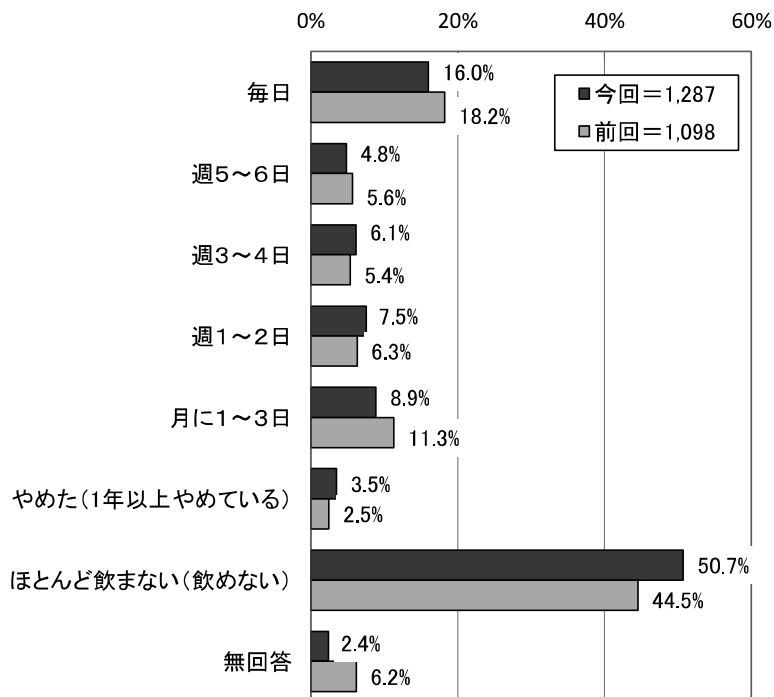
47) 「8020 (ハチマルニマル) 運動」は、80歳になっても20本以上の自分の歯を保つという運動です。あなたは「8020 運動」をご存じでしたか。(アンケート調査 問57)

「8020 運動」の認知度については、「知っている」が62.1%、「知らない」が35.2%となっています。



48) 酒やビールなどのアルコール類を、どのくらいの頻度で飲みますか。(アンケート調査 問58)

アルコール類の摂取については、「ほとんど飲まない(飲めない)」が50.7%と最も高く、次いで「毎日」が16.0%、「月に1~3日」が8.9%となっています。前回調査結果と比べると、「毎日」が2.2ポイント減少し、「ほとんど飲まない(飲めない)」が6.2ポイント増加しています。

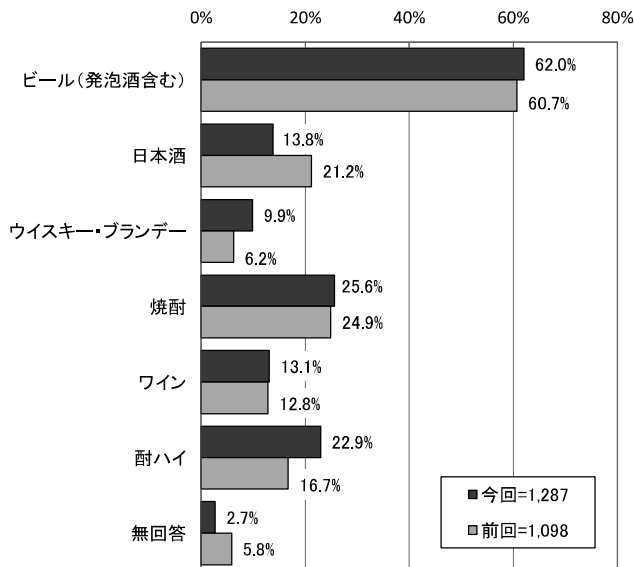


49) お酒を飲む日は1日あたり、どのような種類のアルコールをどれくらいの量飲みますか。それぞれ飲む量を記載してください。(アンケート調査 問58-1)

飲んでいるお酒の種類については、「ビール（発泡酒含む）」が62.0%と最も高く、次いで「焼酎」が25.6%、「酎ハイ」が22.9%となっています。

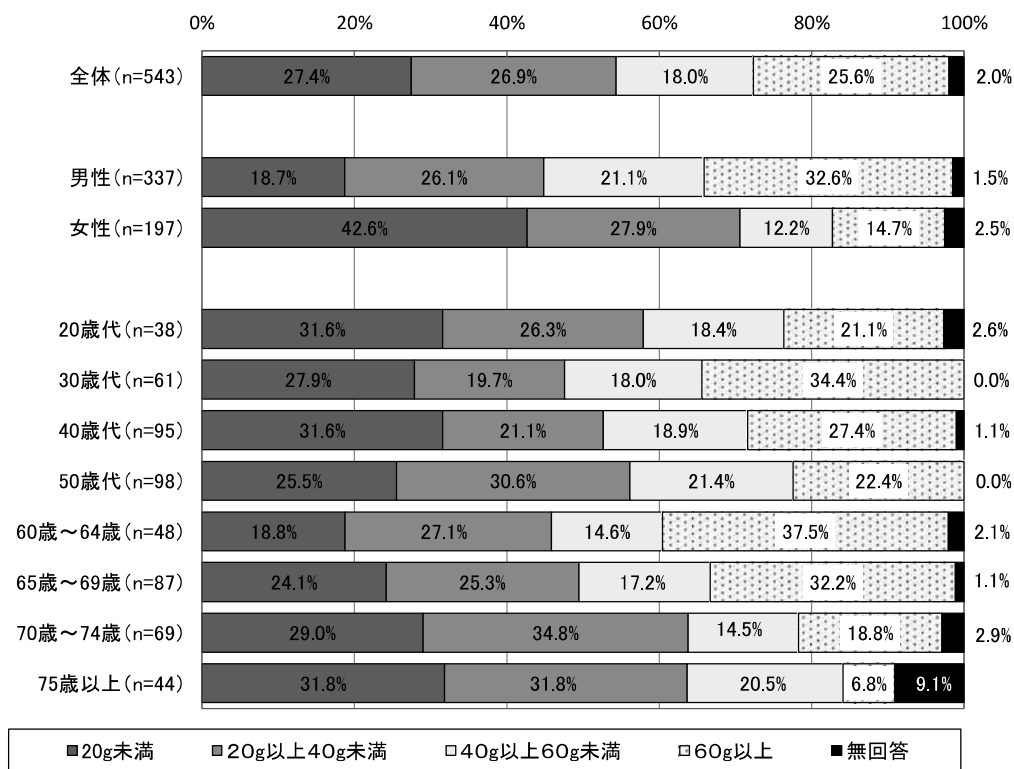
アルコールの種類と飲酒量でアルコール量を算出すると、「20g未満」が27.4%と最も高く、次いで「20g以上40g未満」が26.9%となっています。

【お酒の種類】



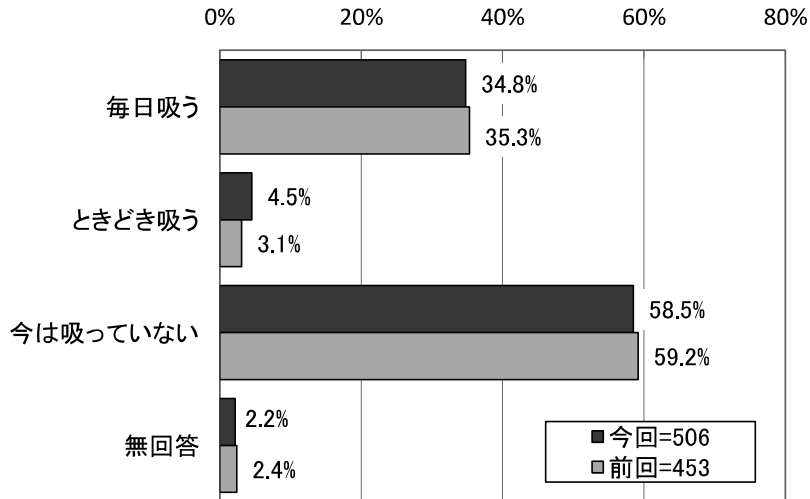
※アルコール量の目安については、103ページを参照してください。

■ アルコール量と性別・年代別のクロス表



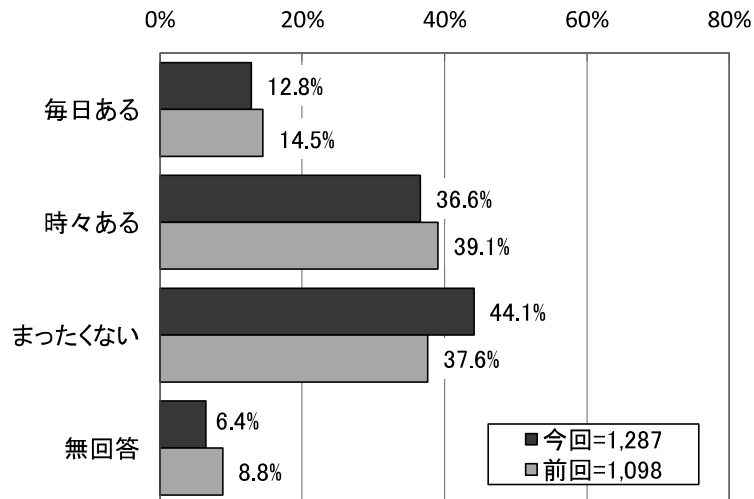
50) 現在（この1ヶ月）、あなたはたばこを吸っていますか。（アンケート調査 問59-1）

現在の喫煙の状況については、「今は吸っていない」が58.5%、「毎日吸う」が34.8%、「ときどき吸う」が4.5%となっています。



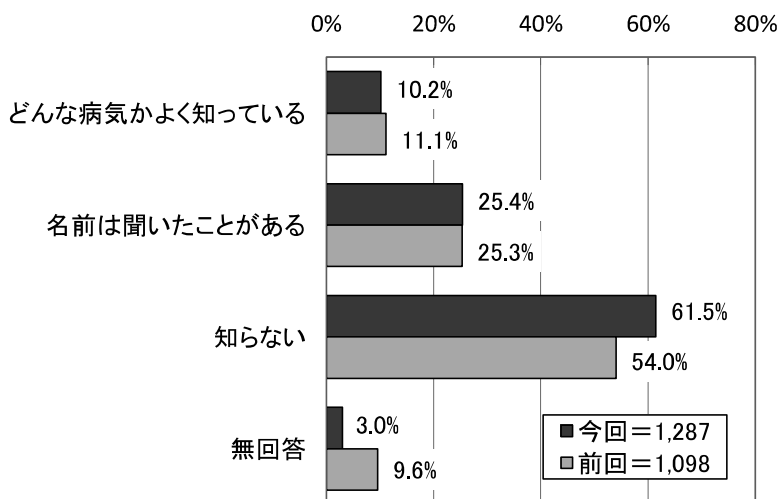
51) あなたは、家族や他人のたばこの煙を吸う機会がありますか。（アンケート調査 問60）

家族や他人のたばこの煙を吸う機会があるかについては、「まったくない」が44.1%、「時々ある」が36.6%、「毎日ある」が12.8%となっています。前回調査結果と比べると、「まったくない」人の割合が6.5ポイント増加しています。



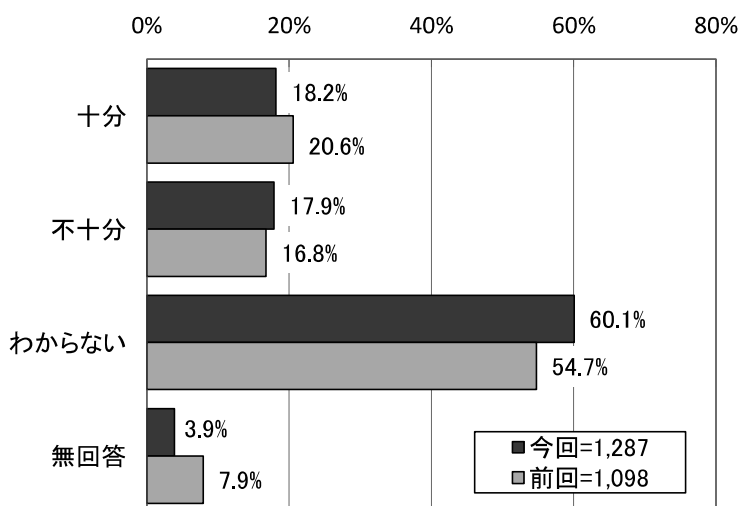
52) COPD（慢性閉塞性肺疾患）について知っていますか。（アンケート調査 問 62）

COPD の認知度については、「知らない」が 61.5%、「名前は聞いたことがある」が 25.4%、「どんな病気かよく知っている」が 10.2%となっています。前回調査結果と比べると、「知らない」人の割合が 7.5 ポイント増加しています。



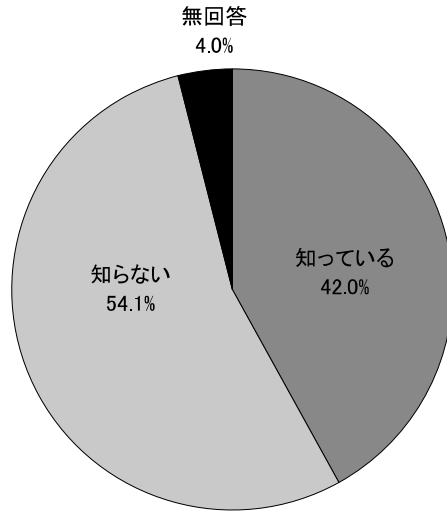
53) 市内の公共施設の禁煙・分煙施設の取組状況についてどう思いますか。（アンケート調査 問 63）

市内の公共施設での禁煙・分煙施設の取組状況については、「わからない」が 60.1%、「十分」が 18.2%、「不十分」が 17.9%となっています。



54) 受動喫煙防止法が成立し、2020年4月から全面実施されることを知っていますか。(アンケート調査 問65)

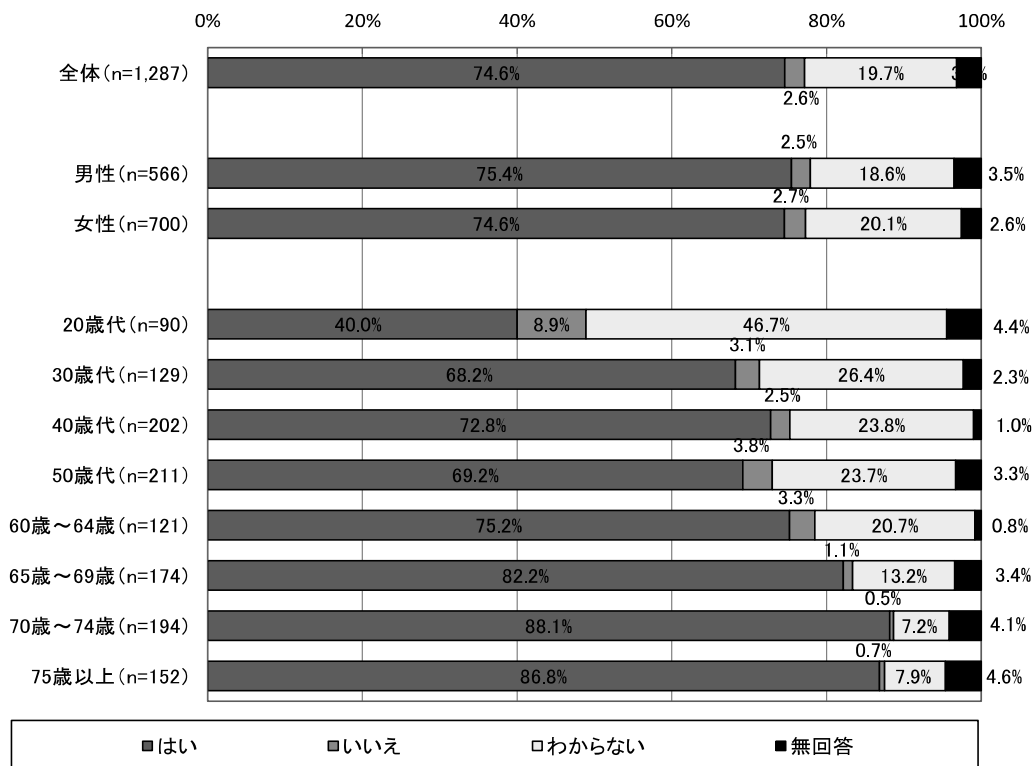
2020年4月から受動喫煙防止法が全面実施されることについては、「知らない」が54.1%、「知っている」が42.0%となっています。



N=1,287

55) これからも本庄市にお住まいになりたいと思いますか。(アンケート調査 問70)

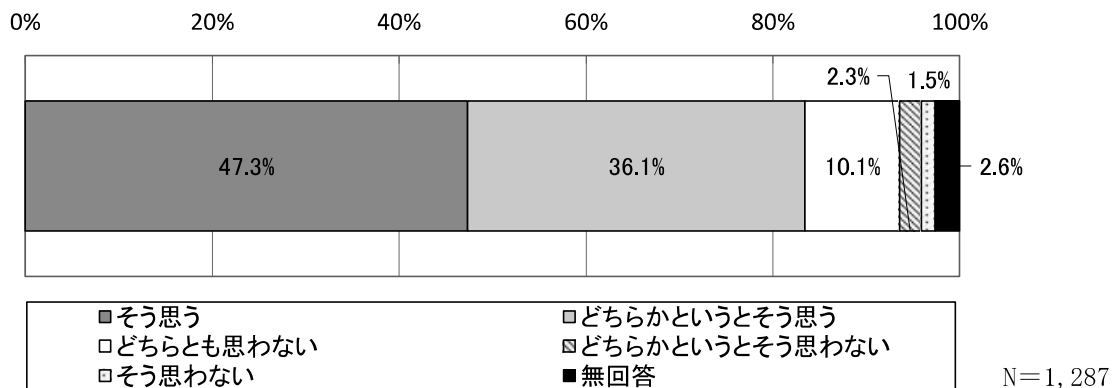
今後も本庄市に住みたいと思うかについては、「はい」が74.6%、「わからない」が19.7%、「いいえ」が2.6%となっています。



**56) 近所づきあいは大切だと思いますか。(アンケート調査 問71)**

近所づきあいは大切だと思うかについては、「そう思う」が47.3%と最も高く、「どちらかというと思う」と合わせて、83.4%の方が「近所づきあいは大切だと思う」と回答しています。

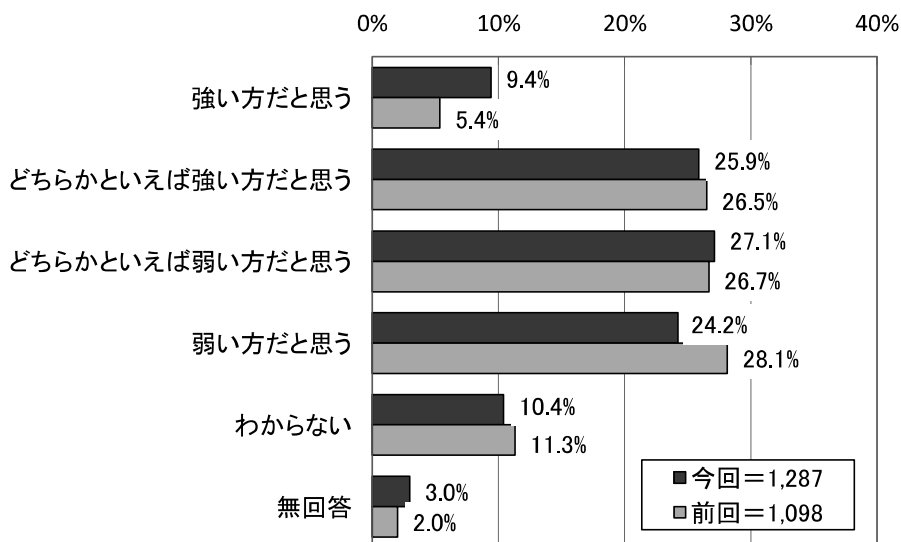
「どちらかというと思わない」、「そう思わない」を合わせて、3.8%の方が「近所づきあいは大切だと思わない」と回答しています。



**57) あなたにとって、ご自分と地域の人たちとのつながりは強い方だと思いますか。(アンケート調査 問72)**

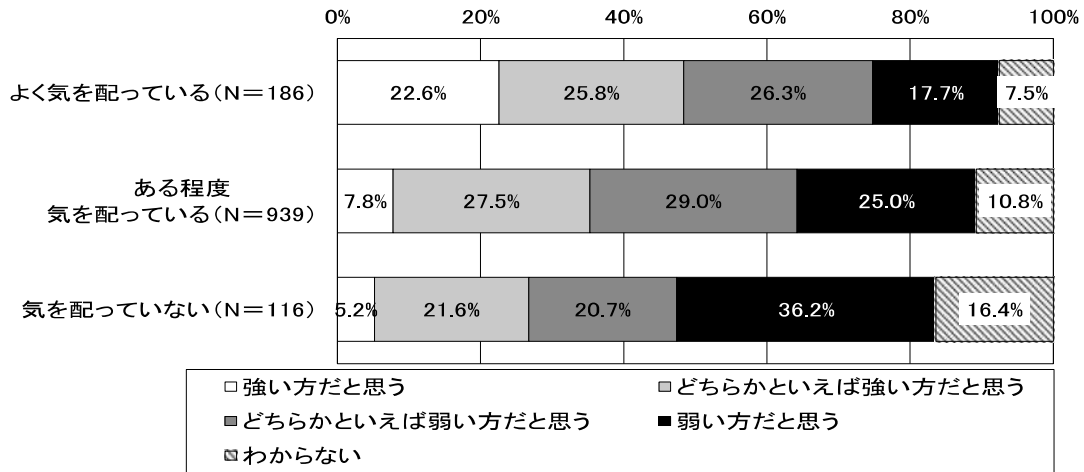
自身の地域とのつながりについては、「どちらかといえば弱い方だと思う」が27.1%と最も高く、「弱い方だと思う」と合わせて、51.3%の方が「地域とのつながりが弱い」と回答しています。

「強い方だと思う」、「どちらかといえば強い方だと思う」を合わせて、35.3%の方が「地域とのつながりは強い」と回答しています。前回調査結果と比べると、「強い方だと思う」が3.4ポイント増加しています。





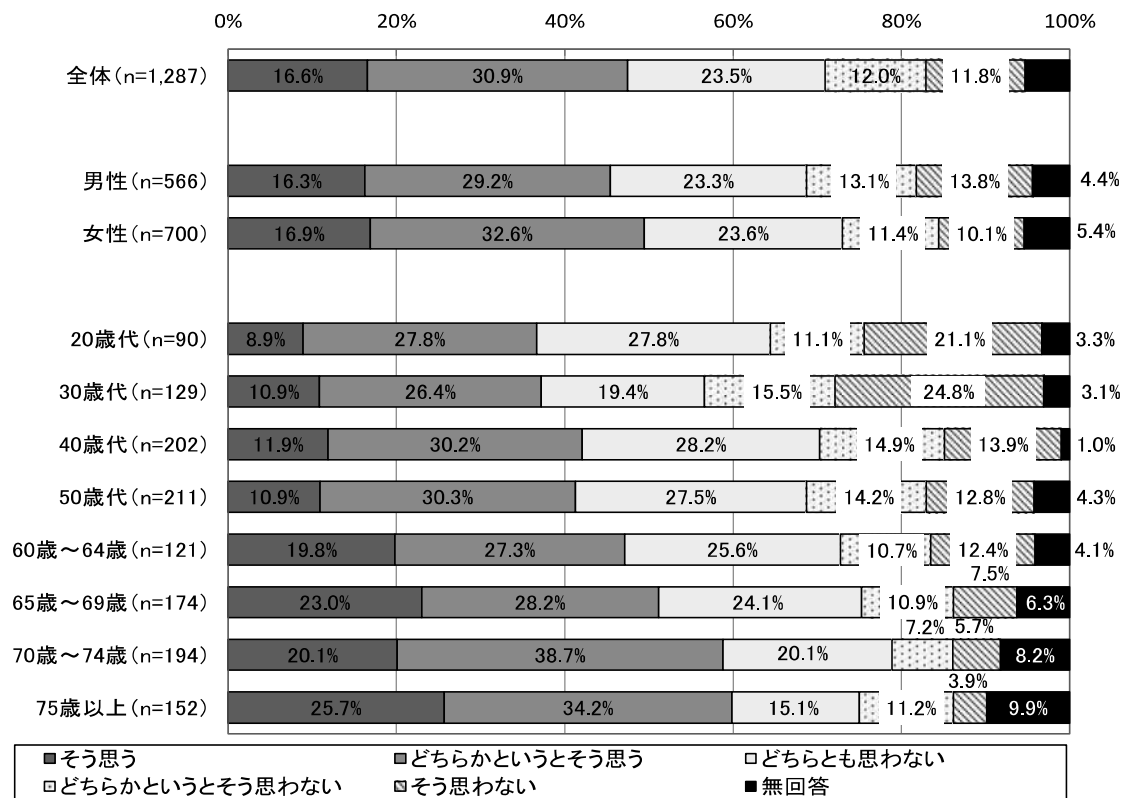
■「健康に気を配っているか」と「自分と地域のつながりは強い方だと思うか」のクロス表  
 「健康に気を配っている」人ほど、地域とのつながりが強い方だと思う人の割合が高くなっています。



58) いざというとき、地域の中にあなたを助けてくれる人はいると思いますか。(アンケート調査 問73)

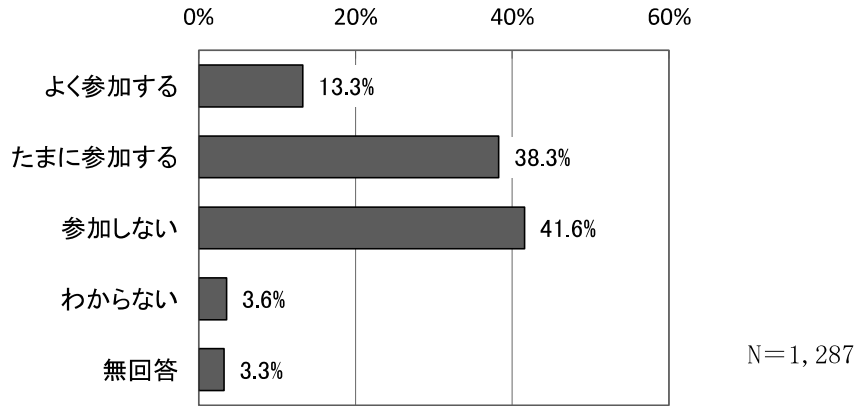
「どちらかというともう思う」が30.9%と最も高く、「そう思う」と合わせて、47.5%の方が「助けてくれる人がいる」と回答しています。

「どちらかというともう思わない」、「そう思わない」を合わせて、23.8%の方が「助けてくれる人がいない」と回答しています。



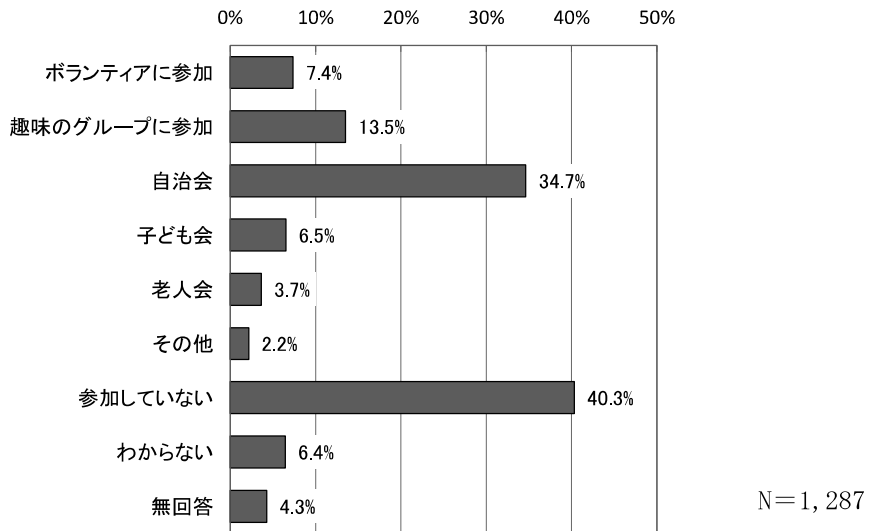
**59) 市や地域のお祭り、行事などに参加していますか。(アンケート調査 問74)**

市や地域のお祭り、行事などの参加については、「参加しない」が41.6%と最も高く、次いで「たまに参加する」が38.3%、「よく参加する」が13.3%となっています。



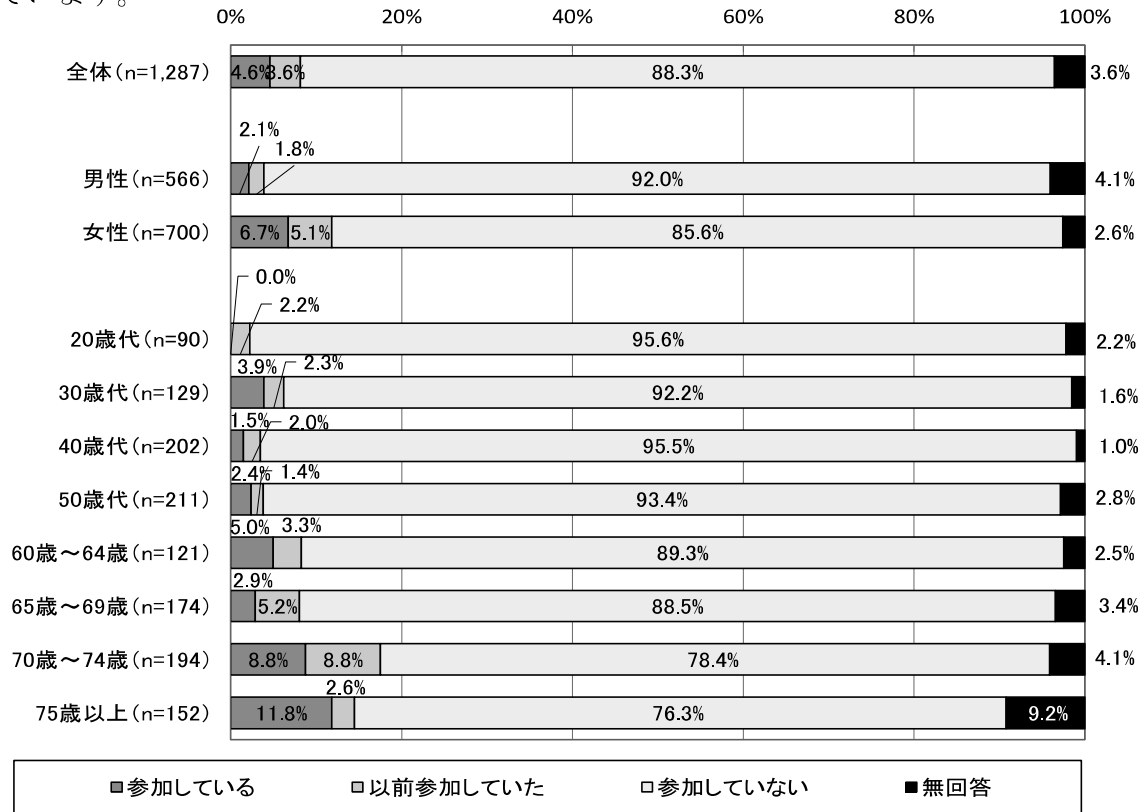
**60) 地域との関わりをもっていますか。(アンケート調査 問75)**

地域ともっている関わりについては、「自治会」が34.7%と最も高く、次いで、「趣味のグループに参加」が13.5%、「ボランティアに参加」が7.4%となっています。「参加していない」との回答は40.3%となっています。



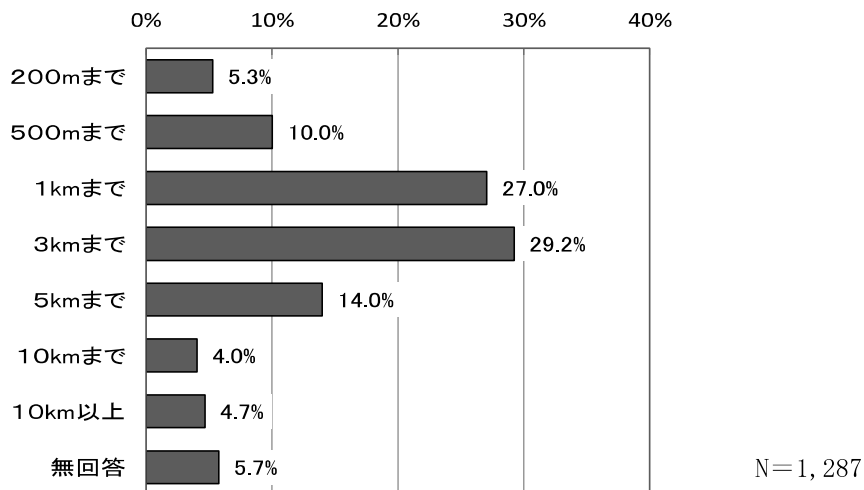
61) あなたは、健康づくりチャレンジポイント事業「はにぼんチャレンジ」に参加していますか。(アンケート調査 問77)

健康づくりチャレンジポイント事業「はにぼんチャレンジ」に参加については、「参加していない」が88.3%、「参加している」が4.6%、「以前参加していた」が3.6%となっています。



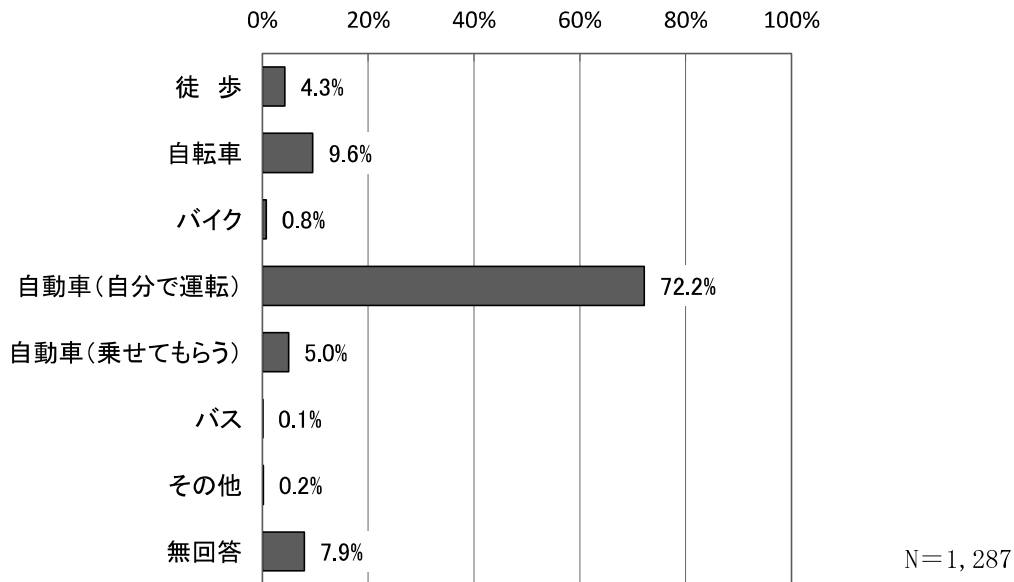
62) あなたは、自宅からどのくらいの距離まで歩いて行動できますか。(アンケート調査 問78)

自宅から歩いて行動できる距離については、「3kmまで」が29.2%と最も高く、次いで「1kmまで」が27.0%、「5kmまで」が14.0%となっています。



63) あなたの市内での主な移動手段は何ですか。(アンケート調査 問79)

市内での主な移動手段については、「自動車(自分で運転)」が72.2%と最も高く、次いで「自転車」が9.6%、「自動車(乗せてもらう)」が5.0%となっています。



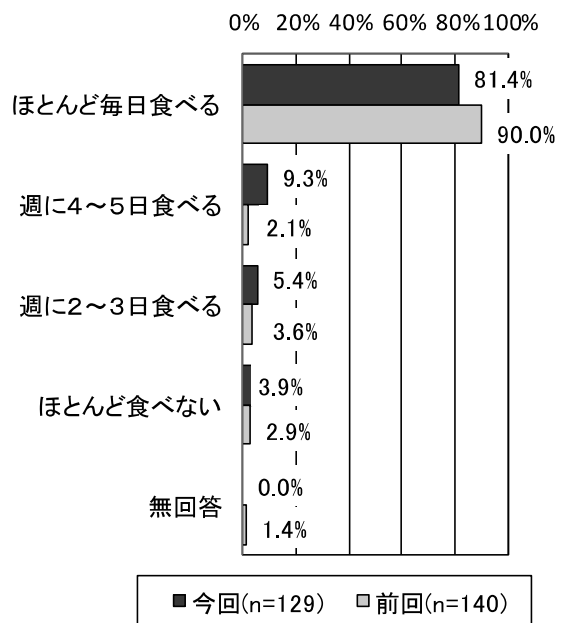
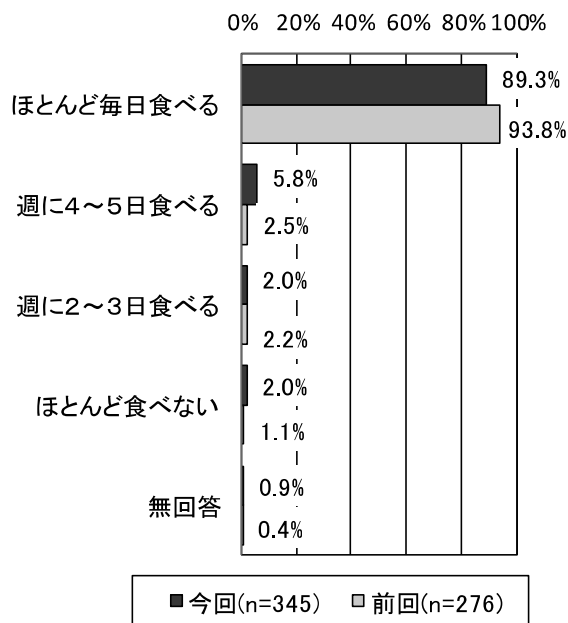
(6) 小中学生調査抜粋

1) あなたは、ふだん朝食を食べますか。(アンケート調査 問8)

前回調査と比較すると「ほとんど毎日食べる」という回答が小中学生ともに減少しています。

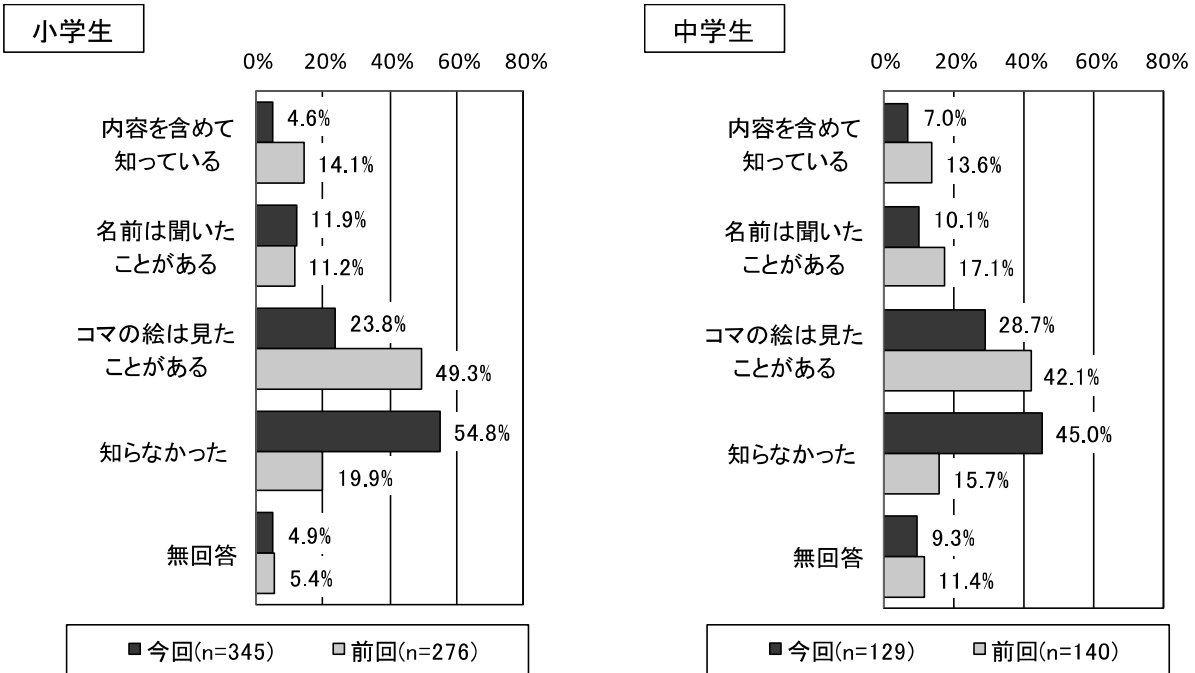
小学生

中学生



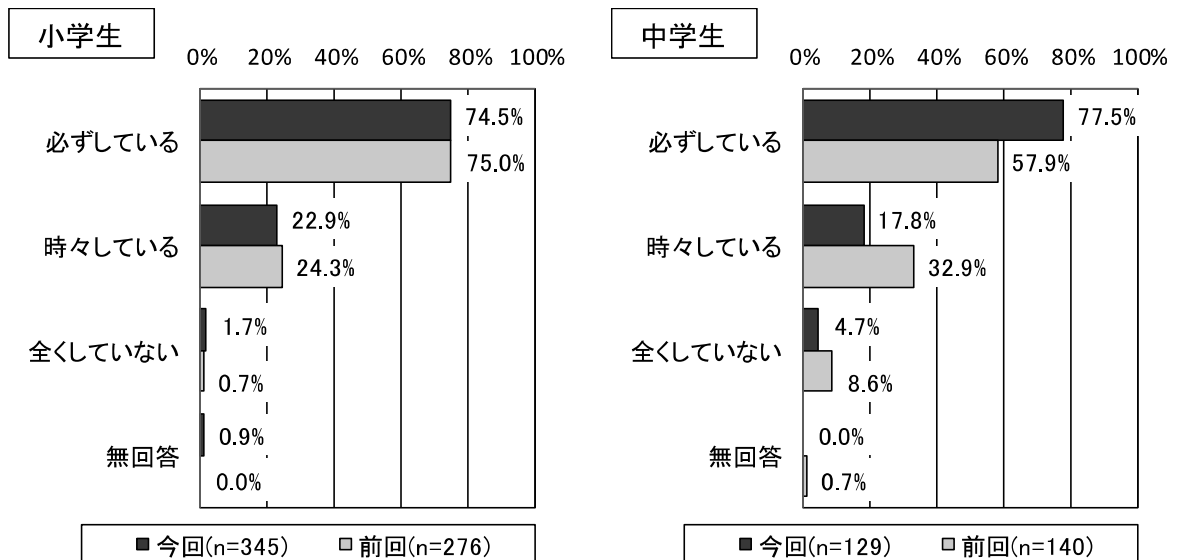
2) あなたは、「食事バランスガイド」を知っていますか。(アンケート調査 問15)

小中学生ともに、「知らなかった」という回答が増加しており、小学生では34.9ポイント、中学生では、29.3ポイント増加しています。



3) あなたは、食事のときに「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをしていますか。(アンケート調査 問16)

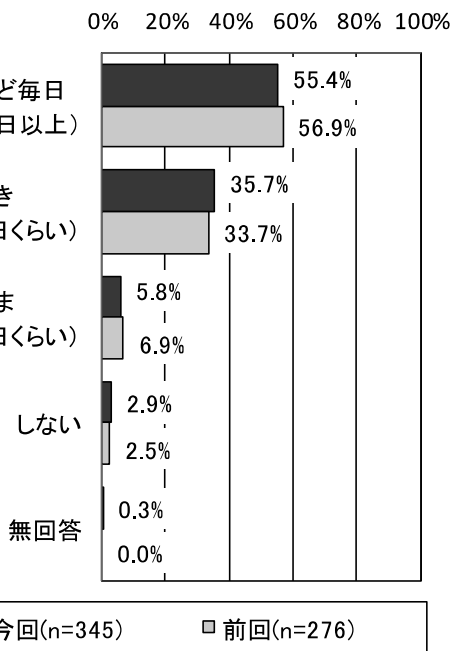
「必ずしている」という回答が、小学生はほぼ同数に対し、中学生が19.6ポイント増加しています。



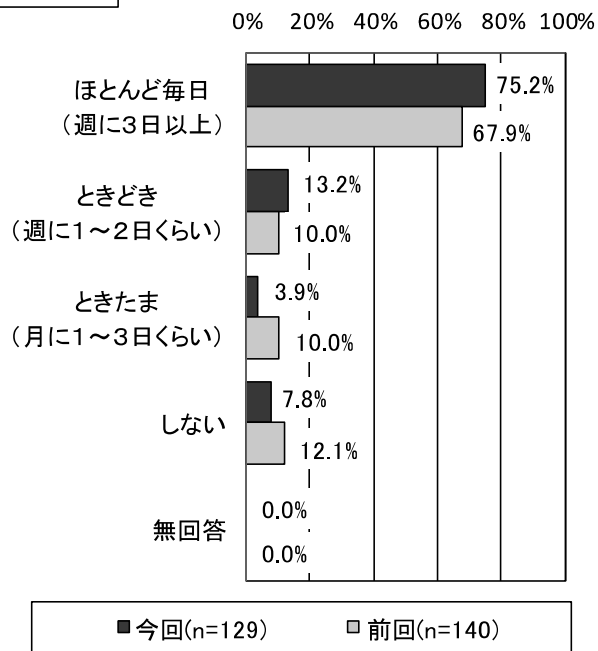
4) あなたは、運動やスポーツをどのくらいしていますか。(学校の体育の授業をのぞきます) (アンケート調査 問21)

「ほとんど毎日」という回答は、小学生で1.5ポイント減少していますが、中学生では7.3ポイント増加しています。

小学生



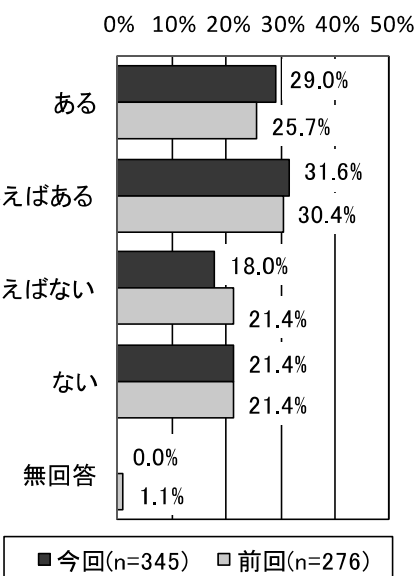
中学生



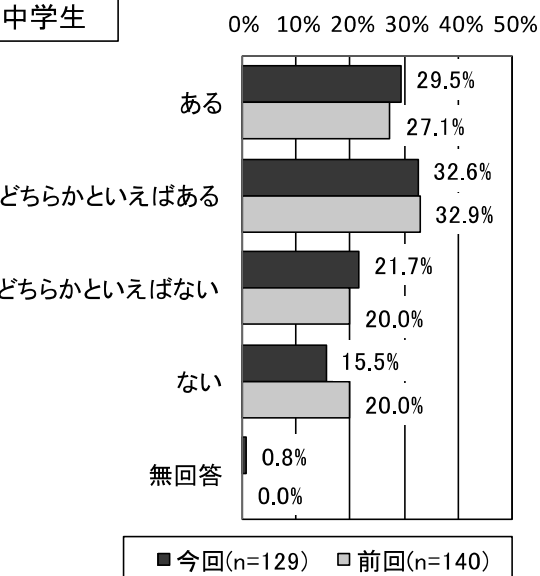
5) あなたは、ふだんストレス (不安、悩み、イライラなど) を感じることはありませんか。(アンケート調査 問23)

「ある」という回答は、小学生で3.3ポイント、中学生で2.4ポイント増加しています。

小学生

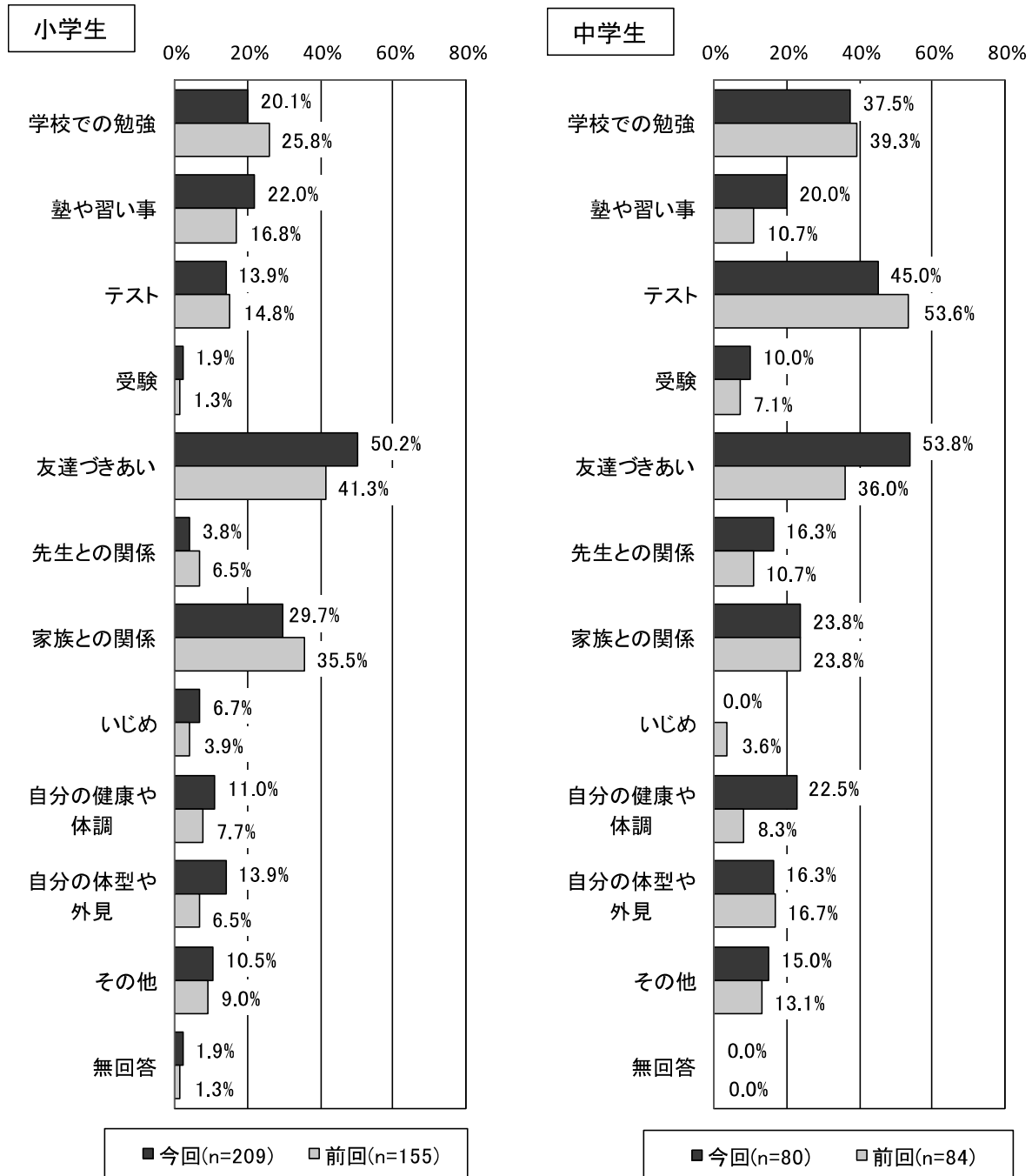


中学生



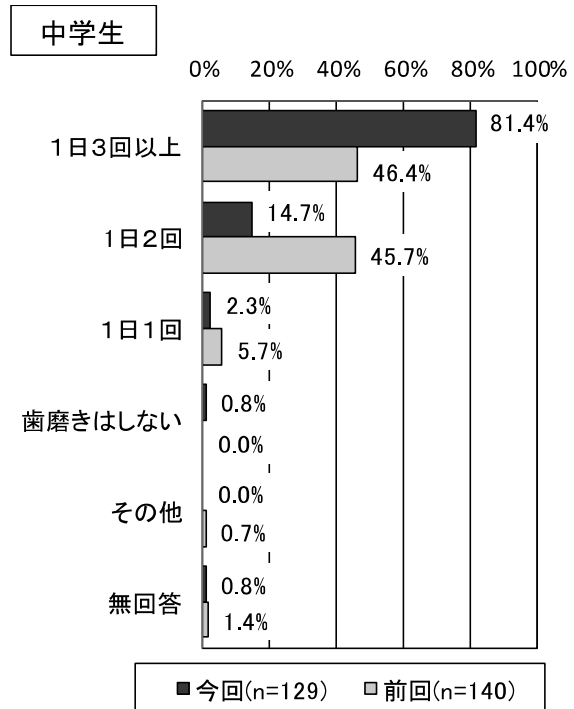
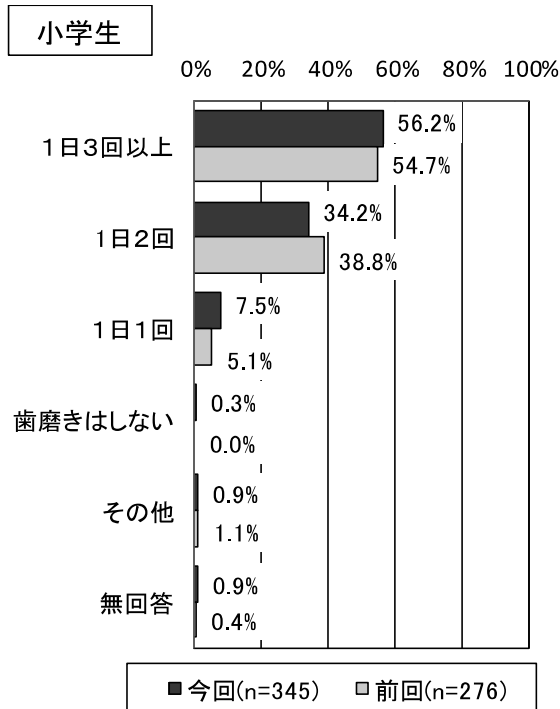
6) ストレスを感じる原因はなんですか。(アンケート調査 問23-1(1))

全体的にみると、小中学生ともに、「塾や習い事」、「友達づきあい」、「自分の健康や体調」という回答が増加し、小学生は「学校での勉強」、「家族との関係」、中学生では「学校での勉強」、「テスト」という回答が減少しています。



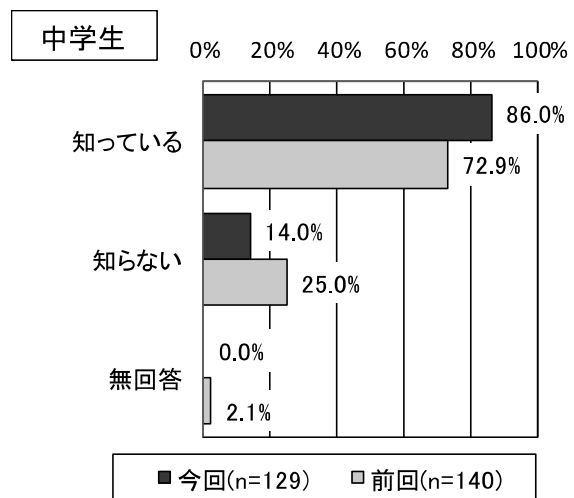
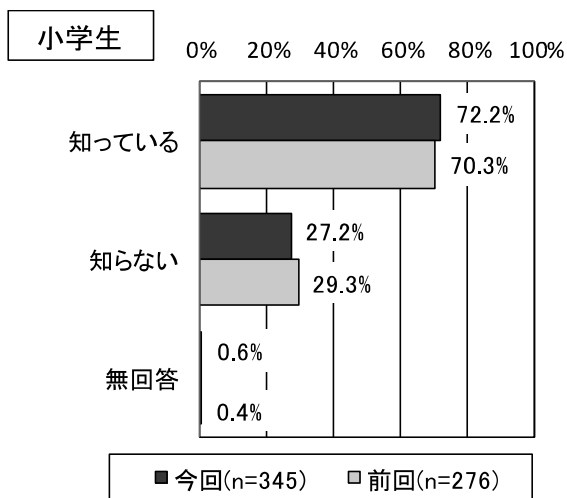
7) あなたは、1日何回歯磨きをしますか。(アンケート調査 問29)

「1日3回以上」という回答は中学生で35ポイント増加しています。



8) あなたは、歯と口の健康が、からだ全体の健康に大きな影響があることを知っていますか。(アンケート調査 問31)

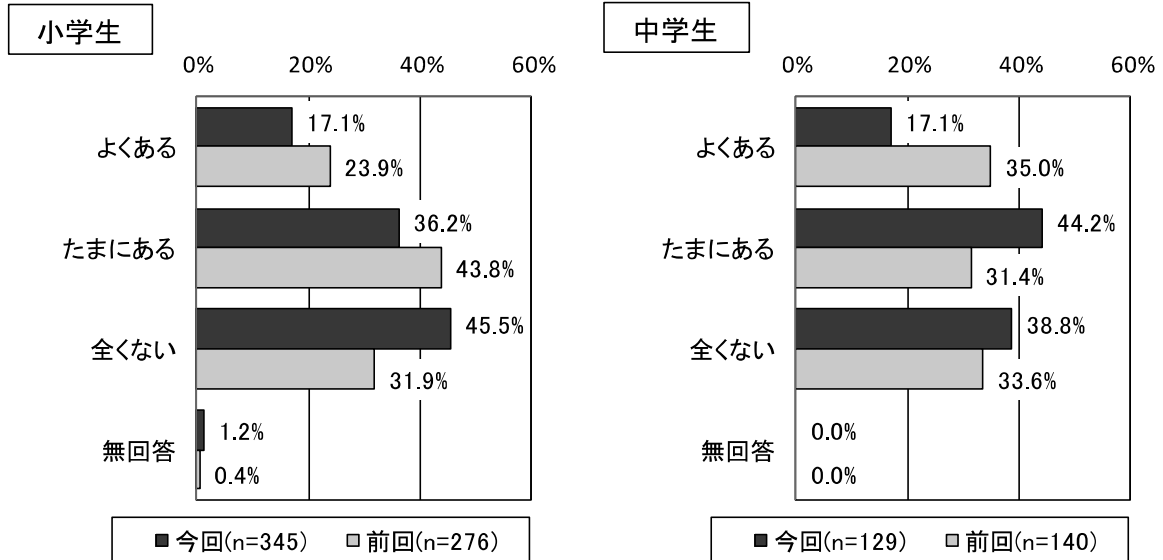
小中学生ともに、「知っている」という回答が増加し、「知らない」という回答が減少しています。





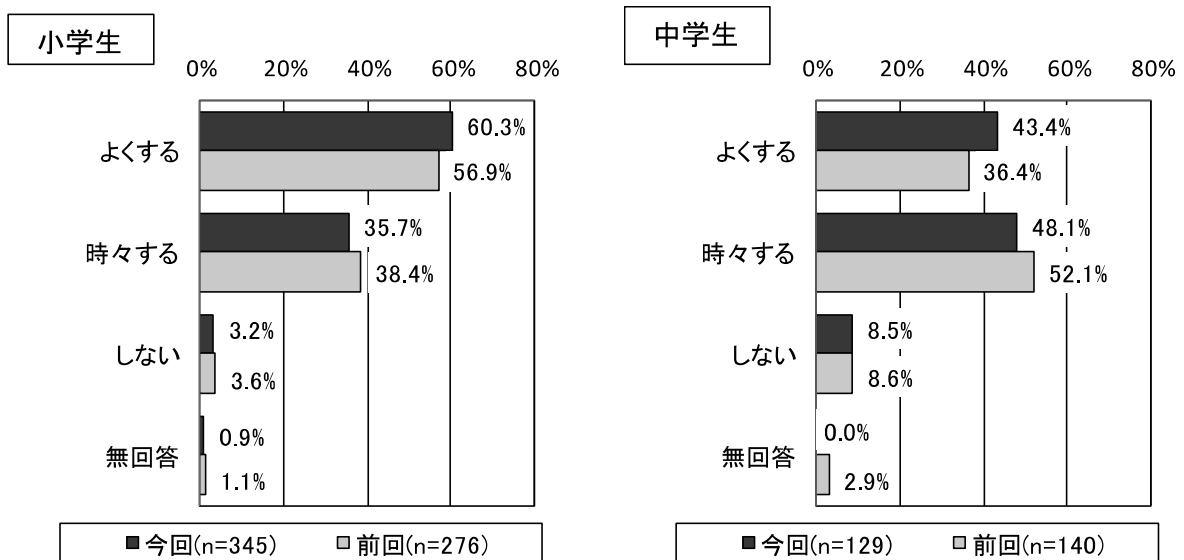
9) あなたは、家族や他の人が吸うたばこの煙を吸う機会がありますか。(アンケート調査 問36)

小中学生ともに「よくある」という回答は減少しています。特に、中学生では、17.9ポイント減少しています。



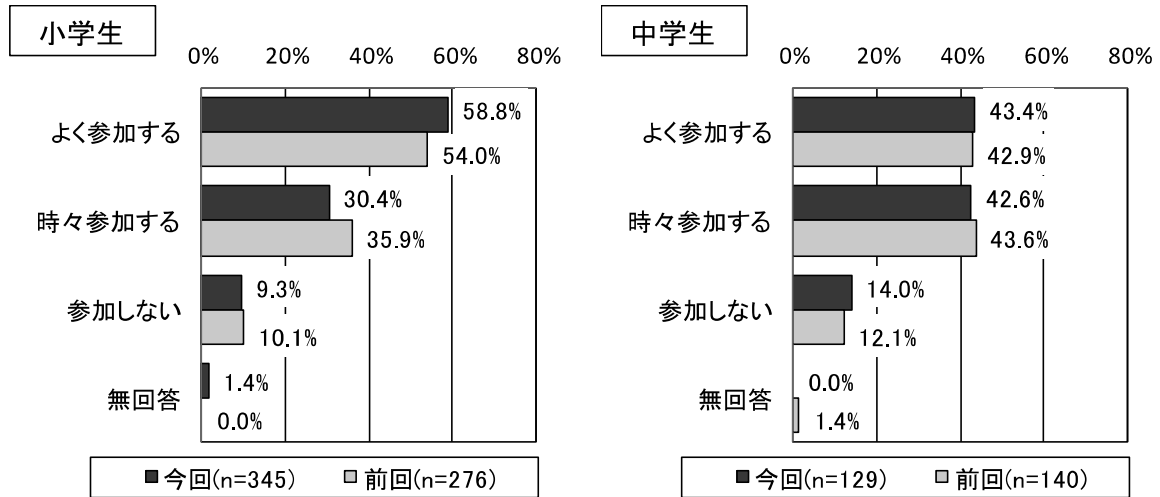
10) あなたは、地域・近所の人にあいさつをしていますか。(アンケート調査 問41)

小中学生ともに、「よくする」という回答が増加しています。



11) あなたは地域の行事（お祭りなど）に参加しますか。（アンケート調査 問42）

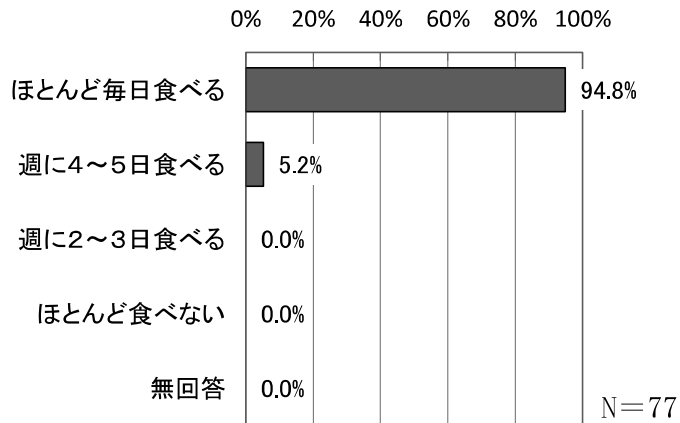
小中学生ともに、「よく参加する」という回答がやや増加していますが、「時々参加する」という回答は減少しています。「よく参加する」と「時々参加する」という回答を合わせると、小学生では、0.7ポイント、中学生では0.5ポイント減少しています。



(7) 3歳児健康診査対象者調査抜粋

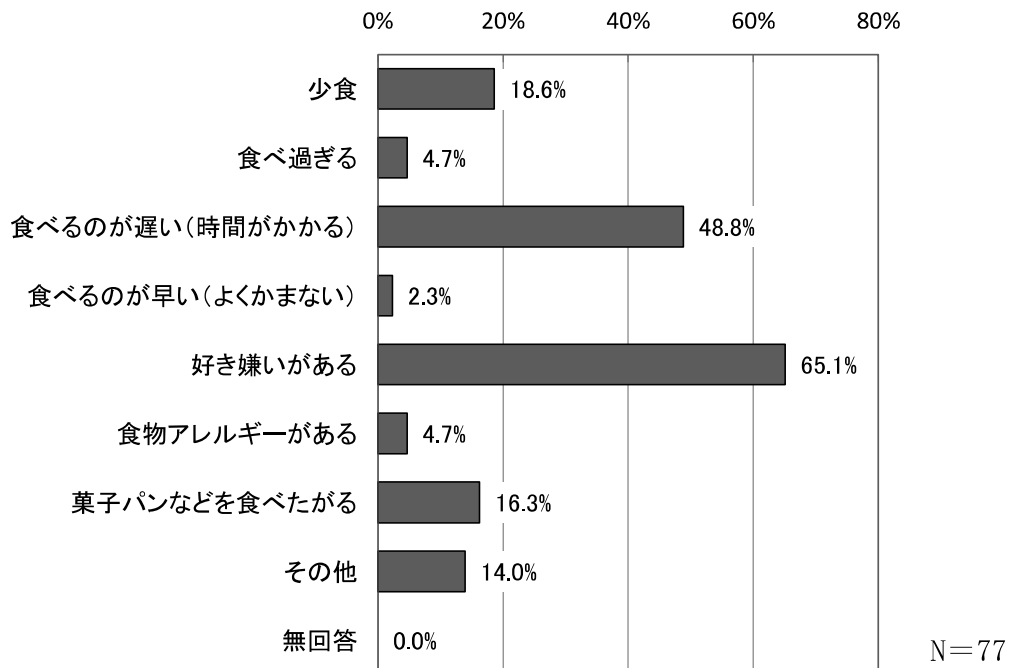
1) お子様は、朝食を食べていますか。(アンケート調査 問8)

朝食については、「ほとんど毎日食べる」が94.8%と最も高く、次いで「週に4～5日食べる」が5.2%となっています。



2) どんなことに困っていますか。(アンケート調査 問13-1)

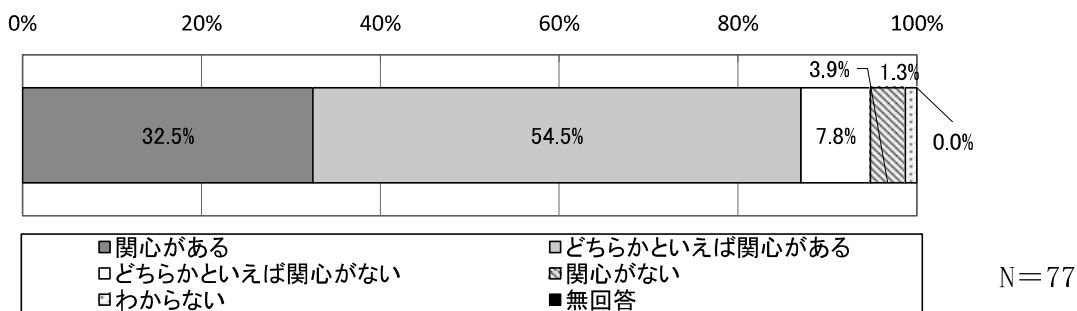
食事での困りごとの内容については、「好き嫌いがある」が65.1%と最も高く、次いで「食べるのが遅い(時間がかかる)」が48.8%、「少食」が18.6%となっています。



**3) あなたは、「食育」に関心がありますか。(アンケート調査 問18)**

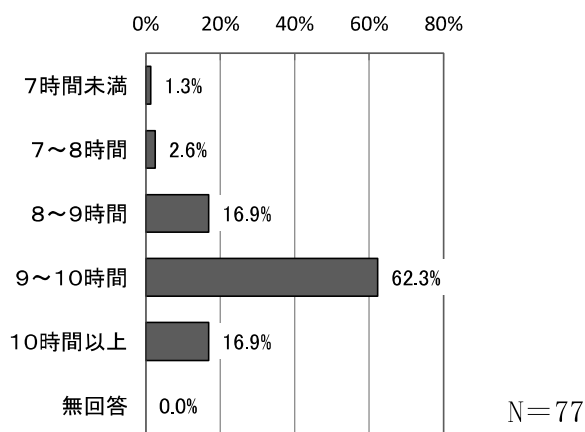
「食育」への関心度については、「どちらかといえば関心がある」が54.5%と最も高く、「関心がある」と合わせて87.0%の方が「関心がある」と回答しています。

「どちらかといえば関心がない」、「関心がない」を合わせて11.7%の方が「関心がない」と回答しています。



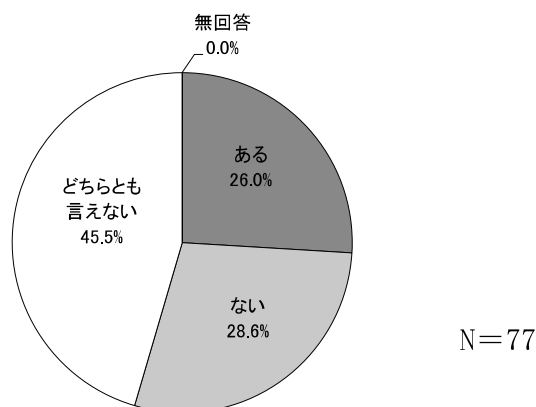
**4) お子様は、何時間寝ていますか。(アンケート調査 問23)**

睡眠時間については、「9～10時間」が62.3%と最も高く、次いで「8～9時間」、「10時間以上」がともに16.9%となっています。



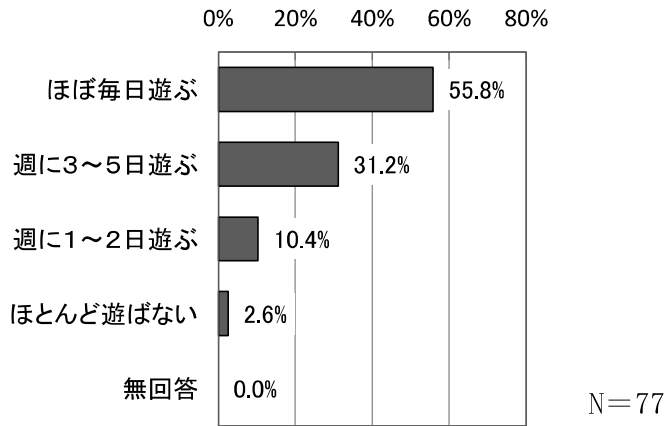
**5) 子育てに自信が持てないということがありますか。(アンケート調査 問25)**

子育てに対して自信が持てないことがあるかについては、「どちらとも言えない」が45.5%と最も高く、次いで「ない」が28.6%、「ある」が26.0%となっています。



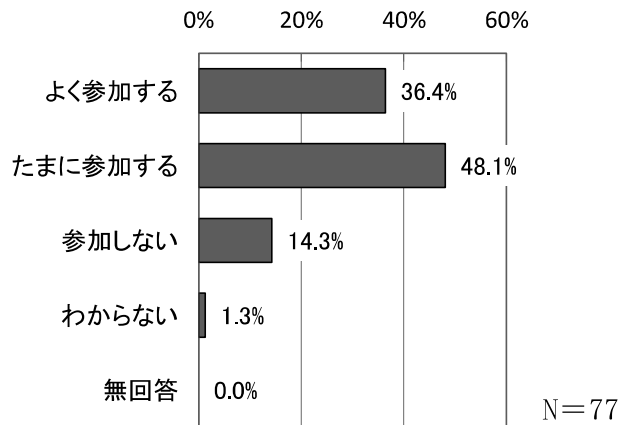
6) お子様は、外遊びをしますか。(アンケート調査 問28)

外遊びについては、「ほぼ毎日遊ぶ」が55.8%と最も高く、次いで「週に3～5日遊ぶ」が31.2%、「週に1～2日遊ぶ」が10.4%となっています。



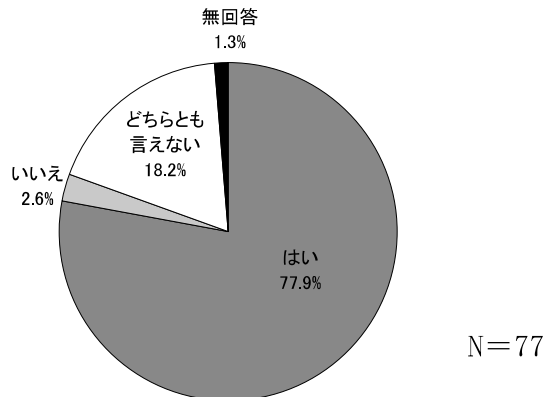
7) お子様と一緒に地域のお祭りや行事などに参加していますか。(アンケート調査 問34)

地域の行事への参加については、「たまに参加する」が48.1%と最も高く、次いで「よく参加する」が36.4%、「参加しない」が14.3%となっています。



8) 今後、この地域で子育てをしたいと思えますか。(アンケート調査 問35)

今後も本庄市で子育てをしたいと思うかについては、「はい」が77.9%、「どちらとも言えない」が18.2%、「いいえ」が2.6%となっています。



### 第3節 関係団体ヒアリング調査結果抜粋

#### (1) 調査期間

令和2年5月22日（金）～令和2年5月29日（金）

#### (2) 調査対象

健康づくり関連事業を実施している22団体

#### (3) 調査方法等

ヒアリング票を郵送により送付し、返信封筒にて回収

#### (4) 回収数 19団体

#### (5) 調査結果概要

##### ①活動関連分野内容について（重複回答可能）

- ・身体活動・運動…12団体（63.2%）
- ・食育（食文化含む）…6団体（31.6%）
- ・食の安全…5団体（26.3%）
- ・地産地消・農業体験交流…6団体（31.6%）
- ・休養・こころの健康…4団体（21.1%）
- ・歯と口腔の健康…3団体（15.8%）
- ・たばこ・アルコール…1団体（5.3%）
- ・生活習慣予防…3団体（15.8%）
- ・子どもの健全育成…10団体（52.6%）
- ・防災…2団体（10.5%）
- ・その他（ストレッチ体操クラブが有り）…3団体（15.8%）
- ・健康づくりに関する活動はしていない…2団体（10.5%）

※（ ）内の割合は、回答数（19件）に対する割合。

##### ②今後の活動の方向について

（健康づくりに関する今後の活動の方向性についてお教えてください。例：会員数、活動状況は現状維持、活動を拡大、活動は縮小等）

- ・活動状況は現状維持をしたい。
- ・活動を拡大したい。
- ・会員数（利用者・参加者数）を増やしたい。
- ・会員の健康増進をすすめたい。
- ・本庄市の依頼により指導のお手伝いが可能である。
- ・既存の活動に加え、より直接的に健康づくり・介護予防につながる活動・講座を開催出来たらいい。

## ③団体の課題等について

(健康づくりに関する活動を進める上での課題や問題点についてお教えてください。例：活動する場所がない。会員に若い人が入らない等)

- ・会員や指導者の高齢化が問題である。
- ・会員の中で実質活動できる人が少ない。
- ・指導員として指導するまでに練習、実戦経験等ある程度の時間を要する。
- ・教室等に若い人の参加者が少ない。
- ・活動を知ってもらう機会が少ない。
- ・活動資金不足が問題である。
- ・活動場所への交通手段の確保が問題である。

## ④行政との協働について

(健康づくりに関する行政との協働の活動を考えたときに必要なことについてお教えてください。例：行政に活動の場を提供してほしい。団体の広報をしてほしい等)

- ・講演や教室、体験学習の講師の紹介や派遣をしてほしい。
- ・指導者資格の取得に係る費用の補助、大会等で顕著な成績を収めた人への奨励金、事業拡大に伴う助成金等を充実してほしい。
- ・団体の活動や事業について広報してほしい。
- ・対話の場を創出してほしい。
- ・活動の場を提供してほしい。
- ・健康に関する統計等を公開してほしい。

## ⑤市民への広報について

(健康づくりの取り組みを市民に効果的に伝える方法についてお教えてください。例：市の広報誌に掲載する。市のホームページでアピールしてもらう等)

- ・市・社協等の広報紙、ホームページを活用する。
- ・本庄ケーブルテレビを活用する。
- ・はにぼんプラザにあるテレビで健康に関することを放送する。
- ・チラシを作成し、各戸配布する。
- ・市としての取り組みを中心に達成状況を把握し、チラシで進捗状況を一般市民に知らせていく。
- ・各種団体へ直接配布するなど、広報する。
- ・市役所の窓口で課に関係のある情報を必要に応じて配布する。
- ・その地域に住む人を対象にLINE やショートメールを流す。

⑥その他

(その他、ご意見がございましたらお聞かせください。)

- ・市民皆で取り組める、もっと楽しく、又、効果が出やすい体操を工夫すべき。楽しく取り組めることが一番大事だと思う。
- ・市民ホールの一画に市内のボランティア情報やイベント情報等が置けたら良いのではないか。
- ・子どもたちの夜型化や朝食欠食により基本的な生活習慣の乱れにより睡眠不足症候群などが社会問題となっている。
- ・子供が一人でスマートフォンやタブレット端末機の「画面」をながめて時間を過ごすことで、親子のふれあい、五感を使った体験、年齢に応じた体験、その段階的成長の時間が失われている。そこで、子供の成長に欠かせない外遊びを考えてみたらどうか。子どもたちの健康被害について検討が必要だと思う。行政が中心になり取り組んでいってもらいたいと思う。未就学児童の健康についても考えていく必要がある。



## 第4節 前計画の評価

## (1) 身体活動・運動

目標を達成したのは、「運動やスポーツを習慣的にしている子どもの割合の増加（週3日以上）」の女子でした。

「筋力アップ教室数の増加」、「ロコモティブシンドローム(運動器症候群)の認知度の向上」では、前回調査よりも数値が改善しました。

成果指標		対象	計画策定時 (H26)	目標値 (H32)	現状値 (R1)	達成評価
①	運動習慣のある人の割合の増加(1日30分以上の運動・スポーツを週2回以上、1年以上継続している人の増加)	20～64歳男性	39.6%	40.0%	16.9%	D
		20～64歳女性	38.6%	40.0%	14.8%	D
		65歳以上男性	65.5%	67.0%	29.4%	D
		65歳以上女性	57.6%	60.0%	28.9%	D
②	運動やスポーツを習慣的にしている子どもの割合の増加(週3日以上)	小学5年生男子	70.8%	75.0%	70.4%	D
		小学5年生女子	43.5%	45.0%	51.4%	A
③	日常生活における歩数の増加	20～64歳男性	6,322歩	9,000歩	5,272歩	D
		20～64歳女性	5,917歩	8,500歩	5,241歩	D
		65歳以上男性	4,949歩	7,000歩	4,872歩	C
		65歳以上女性	3,865歩	6,000歩	3,558歩	D
④	筋力アップ教室数の増加	教室数	61箇所	85箇所	81箇所	B
⑤	ロコモティブシンドローム(運動器症候群)の認知度の向上	20歳以上	37.5%	80.0%	37.7%	B

## (2) 休養・こころの健康

目標を達成したのは、「巡回相談の実施回数の増加」でした。

「ゲートキーパーの増加」では、前回調査よりも数値が改善しました。

成果指標		対象	計画策定時 (H26)	目標値 (H32)	現状値 (R1)	達成評価
①	睡眠による休養が十分に取れていない人の割合の減少	20歳以上	19.2%	15.0%	21.6%	D
②	ゲートキーパーの増加	20歳以上	186人	500人	433人	B
③	巡回相談の実施回数の増加	保育所、幼稚園、小学校	55回	90回	110回	A

## 【凡例】

A：目標を達成した項目。

B：目標は達成していないが、計画策定時（平成26年）より数値が向上している項目。

C：目標は達成していないが、計画策定時（平成26年）から数値に変化がない項目。

D：目標を達成していないが、計画策定時（平成26年）より数値が悪化している項目。

(3) 歯と口腔の健康

目標を達成したのは、「う歯（むし歯）のない幼児の割合の増加」でした。

「20本以上歯がある人の割合の増加」では、60歳以上、70歳以上ともに前回調査よりも数値が改善しました。

成果指標	対象	計画策定時 (H26)	目標値 (H32)	現状値 (R1)	達成評価
① う歯（むし歯）のない幼児の割合の増加	3歳児	84.3%	85.0%	88.8%	A
② 1人平均う歯数の減少	12歳児	1.09本	1.0本未満	1.12本	D
③ 過去1年間に歯科検診を受けている人の割合の増加	20歳以上	55.0%	65.0%	52.5%	D
④ かかりつけ歯科医を持っている人の割合の増加	20歳以上	76.2%	80.0%	74.4%	D
⑤ 20本以上歯がある人の割合の増加	60歳以上	57.7%	70.0%	61.4%	B
	70歳以上	37.3%	50.0%	46.0%	B

(4) たばこ

目標を達成した項目はありませんでした。

「受動喫煙者の割合の減少」では、20歳以上、小学生、中学生ともに前回調査よりも数値が改善しました。

成果指標	対象	計画策定時 (H26)	目標値 (H32)	現状値 (R1)	達成評価
① 喫煙者の割合の減少	20歳以上	14.1%	12.0%	15.5%	D
② 受動喫煙者の割合の減少	20歳以上	58.7%	行政機関:0% 医療機関:0% 職場:0% 家庭:3% 飲食店:15%	49.4%	B
	小学生	68.0%		53.3%	B
	中学生	66.4%		61.2%	B
③ COPD(慢性閉塞性肺疾患)の認知度の向上	20歳以上	40.3%	80.0%	35.6%	D
④ 市内公共施設の禁煙・分煙について十分と感じる人の割合の増加	20歳以上	20.6%	40.0%	18.2%	D

(5) アルコール

目標を達成した項目はありませんでした。

成果指標	対象	計画策定時 (H26)	目標値 (H32)	現状値 (R1)	達成評価
① 生活習慣病のリスクを高める飲酒をしている人の割合の減少	20歳以上男性	22.2%	13.0%	32.0%	D
	20歳以上女性	7.8%	6.4%	15.4%	D

## (6) 健康管理と疾病対策

目標を達成したのは、「BMIが25以上の肥満者の割合の減少」の女性、「20歳代～30歳代女性のやせ（BMIが18.5未満）の割合の減少」の30歳代女性、「全出生数中の低出生体重児の割合の減少」、「65歳健康寿命」の女性となっており、概ね女性の目標について達成した項目が多くなっています。

なお、指標の約半数で、前回調査より数値が改善しました。特に、特定健診、各種がん検診で数値が改善しました。

成果指標		対象	計画策定時 (H26)	目標値 (H32)	現状値 (R1)	達成評価	
①	BMIが25以上の肥満者の割合の減少	20歳代～60歳代男性	28.3%	28.0%	33.0%	D	
		40歳代～60歳代女性	20.1%	19.0%	17.5%	A	
②	30歳代男性の肥満(BMIが25以上)の割合の減少	30歳代男性	35.1%	28.0%	41.4%	D	
③	20歳代～30歳代女性のやせ(BMIが18.5未満)の割合の減少	20歳代女性	16.2%	20%未満を維持	22.8%	D	
		30歳代女性	17.3%	20%未満を維持	8.6%	A	
④	肥満傾向にある子どもの割合の減少	小学5年生男子	12.4%	12.0%	16.5%	D	
		小学5年生女子	8.2%	8.0%	8.2%	C	
⑤	低栄養傾向の高齢者の増加の抑制 (BMI20以下の高齢者)	高齢者	15.7%	17%以下を維持	18.1%	D	
⑥	全出生数中の低出生体重児の割合の減少	新生児	10.0%	減少傾向へ	9.6%	A	
⑦	特定健康診査受診率の向上	40歳～74歳	25.7%	60.0%	34.0%	B	
⑧	75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少	75歳未満	92.8人	73.9人	84.8人	B	
⑨	脳血管疾患・虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少 (10万人あたり)	脳血管疾患男性	62.5人	41.6人	48.3人	B	
		脳血管疾患女性	33.3人	24.7人	27.0人	B	
		虚血性心疾患男性	56.5人	31.8人	50.5人	B	
		虚血性心疾患女性	27.0人	13.7人	23.9人	B	
⑩	がん検診受診率の向上	胃がん検診	40歳以上男女	9.4%	40.0%	13.7%	B
		肺がん検診	40歳以上男女	11.1%	40.0%	18.4%	B
		大腸がん検診	40歳以上男女	10.3%	40.0%	18.7%	B
		乳がん検診	40歳以上女性	20.6%	50.0%	22.4%	B
		子宮頸がん検診	20歳以上女性	27.8%	50.0%	26.4%	D
	前立腺がん検診	40歳以上男性	9.8%	40.0%	26.6%	B	
⑪	65歳健康寿命	男性	16.36年	17.3年	17.18年	B	
		女性	19.57年	20.0年	20.26年	A	

(7) 食を通じた健康づくり

目標を達成したのは、「朝食を欠食する人の割合の減少」の30歳代男性、「朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数の増加」、「郷土料理「つみっこ」を知っている児童・生徒の割合の増加」の中学生、「地元産の食材を学校給食に使用する割合の増加」の中学校、「田んぼや畑での農作業体験のある児童・生徒の割合の増加」の中学生でした。

「郷土料理「つみっこ」を知っている児童・生徒の割合の増加」の小学生、「地元産の食材を学校給食に使用する割合」の給食センター管内では、前回調査より数値が改善しました。

成果指標	対象	計画策定時 (H26)	目標値 (H32)	現状値 (R1)	達成評価
① 食育への関心がある人の割合の増加	20歳以上	70.8%	90.0%	60.8%	D
② 朝食を欠食する人の割合の減少	小学生	1.1%	1.0%	2.0%	D
	中学生	2.9%	2.0%	3.9%	D
	20歳代男性	14.7%	15%以下	23.3%	D
	30歳代男性	16.9%	15%以下	14.7%	A
③ 主食・主菜・副菜のそろった食事を日に2回以上食べているのがほぼ毎日の人の割合の増加	20歳以上	50.9%	80.0%	43.0%	D
④ 1日の野菜摂取量の増加	20歳以上	283g	350g	258g	D
⑤ 食中毒予防の3原則を知っている人の割合の増加	20歳以上	44.1%	90.0%	38.2%	D
⑥ 朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数の増加	20歳以上	週10.0回	週10回以上を維持	週10.2回	A
⑦ 郷土料理「つみっこ」を知っている児童・生徒の割合の増加	小学生	84.8%	90.0%	85.5%	B
	中学生	93.6%	95.0%	96.9%	A
⑧ 地元産の食材を学校給食に使用する割合の増加	小学校	39.2%	30%以上	—	—
	中学校	38.3%	30%以上	40.5%	A
	給食センター管内	21.0%	30%以上	25.7%	B
⑨ 本庄市産農産物を意識して購入している人の割合の増加	20歳以上	73.0%	78.0%	70.5%	D
⑩ 田んぼや畑での農作業体験のある児童・生徒の割合の増加	小学生	97.1%	98.0%	89.9%	D
	中学生	81.4%	85.0%	88.4%	A

(8) 地域における健康づくり

目標を達成したのは、「健康長寿サポーターの増加」、「筋力アップ教室リーダーの増加」でした。

「地域とつながりが強い方だと思ふ人の割合の増加」では、前回調査より数値が改善しました。

成果指標	対象	計画策定時 (H26)	目標値 (H32)	現状値 (R1)	達成評価
① 地域の住民が行う健康づくりに関連する活動に参加している人の割合の増加	20歳以上	5.9%	38.0%	5.9%	C
② 地域とつながりが強い方だと思ふ人の割合の増加	20歳以上	32.5%	65.0%	35.3%	B
③ 食や健康に関するボランティアの増加	食生活改善推進員	96人	106人	77人	D
④ 健康長寿サポーターの増加	健康長寿サポーター	311人	361人	1,093人	A
⑤ 筋力アップ教室リーダーの増加	筋力アップ教室リーダー	81人	131人	143人	A

## (9) 総評

8つの分野において設定した74の指標のうち、目標を達成したのは14項目(18.9%)となっています。また、目標は達成していませんが、前回調査より数値が改善した項目は23項目(31.1%)となっており、約半数の項目において前回調査より数値が向上しています。

また、市が実施している事業の評価はほぼすべての事業が順調に実施していると評価されています。しかし、数値目標については、目標達成率が低い状況にあり、今後は、目標値を達成する項目を増加させるよう、エビデンスに基づいた健康づくりを推進していく必要があります。



